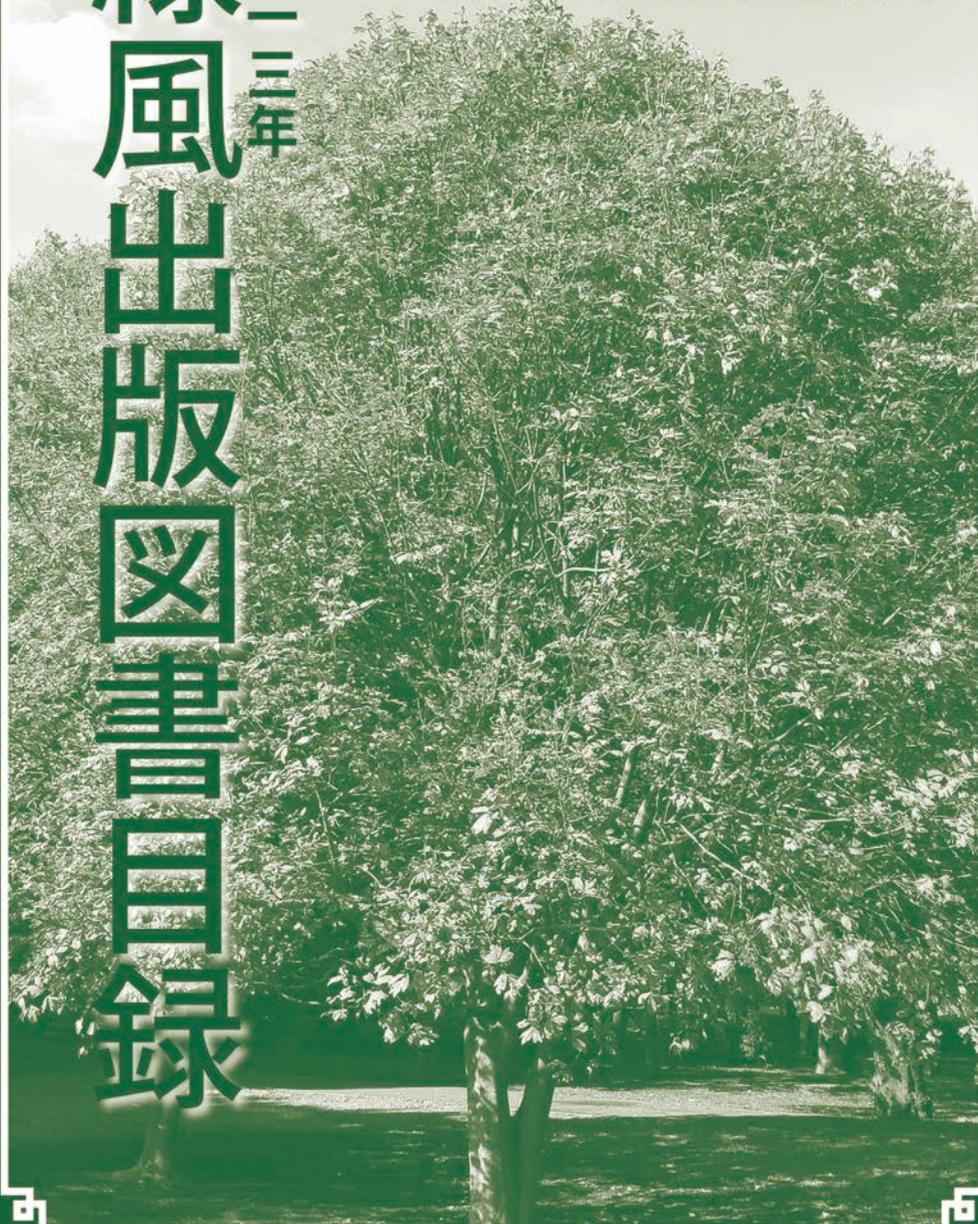


現代を探険する



緑風出版

二〇二三年
緑風出版図書目録



I 脱原発の社会を考える本

原発問題を考える



がれき処理・除染はこれでよいのか

熊本一規、辻芳徳共著
四六判並製 200頁 1900円
ISBN978-4-8461-1211-0 C0036

「東北がんばれ！ それってただ言葉だけだったのか？ 東北のがれきが処理されないのは他府県が搬入を拒否しているからだ」「放射能が怖いという無知から来る身勝手な言い分。自分だけ良ければいいのか」——震災がれきの広域処理で、反対する市民に投げつけられる政府・マスコミの非難のことは……。はたして本当にそうなのか？

IAEA（国際原子力機関）の安全基準に照らしても80倍も甘く基準緩和し、放射性廃棄物として厳格に保管・隔離されなければならない物を日本全国にばらまく広域処理は、国民の健康に脅威をもたらすだけだ。

そして、避難区域への住民の帰還推進で進められる除染事業。しかし放射性物質は除染によって減少することはない。がれき利権と除染利権に群がるゼネコンや原発関連業者。いま必要なのは放射性物質の隔離と住民の避難なのだ。本書は、問題点をていねいに解き明かす。
(2012/6)

【内容構成】

- はじめに
第1章 がれき広域処理とその仕組みづくり
第2章 がれき焼却は放射能汚染をもたらすか
第3章 放射性物質を汚染循環に入れる愚策
第4章 誰のための広域処理か
第5章 地元主体・被災者救済の復興を
付論 漁業権は誰のためにあるか
あとがき
資料
参考文献・参考資料



海の放射能汚染

湯浅一郎著
A5判上製 192頁 2600円
ISBN978-4-8461-1209-7 C0036

福島原発事故による海の放射能汚染は、世界三大漁場のひとつを確実に殺しつつある。命の母である海の汚染は膨大な範囲に及ぶと同時に、生態系と人類に対する影響は計り知れない。

本書は、福島原発事故による海の放射能汚染を最新のデータで解析、またピキニを初めとする大気圏核爆発、欧州や日本における平常時の再処理工場や原発による海洋の放射能汚染とその影響を、惑星海流と海洋生物の生活史から総括し、放射能汚染がいかに生態系と人類を脅かすかを明らかにする。海洋環境学の第一人者が自ら調べ上げたデータを基に

平易に説く労作。
(2012/6)

【内容構成】

- はじめに
第1章 放射能の放出源と環境中での挙動
第2章 福島原発事故による海洋の放射能汚染
—世界三大漁場を汚染する福島事態—
第3章 大気圏核爆発による海洋の放射能汚染
—惑星海流が運んだピキニ水爆マグロー—
第4章 平常時の再処理工場・原発による海洋の放射能汚染
—北東大西洋をけがす日本発の「死の灰」—
第5章 日本の核施設による海洋汚染
第6章 海洋の放射能汚染の根深い歴史
—核文明そのものを問う契機に—
あとがき



放射性廃棄物 原子力の悪夢

ロール・ヌアラ著
及川美枝訳
四六判上製 232頁 2300円
ISBN978-4-8461-1206-6 C0036

チェルノブイリが一つだけではなく、いくつもあることをあなたは知っているだろうか？
また、過去に汚染された地域が何千年の間、汚染されたままであること、使用済み核燃料の「再処理」は事実上存在しないこと、原子力産業は放射能汚染を「浄化」できないのにそ

れを隠していることを知っているだろうか？
 本書は私たちを、原子爆弾誕生の地＝米国ハンフォードから、フランスのラ・アーグ再処理工場、ビュール廃棄物埋設処理施設、シベリアの果ての露天廃棄場など、世界の核のゴミ捨て場を巡る不安な旅に誘う。この長い旅の過程で、私たちが驚きと共に発見するのは、原子力産業が常に、原子力についての議論する機会を、そして廃棄物を拒否する権利を、市民たちから奪ってきたという事実である。市民の意見を聞くなら原子力は生き延びられない。原子力は民主主義と共存できるだろうか？ (2012.4)

[内容構成]

- 第一部 原子力産業、長期にわたる汚染ハンフォード、原子力誕生の地ロシア、露天のゴミ捨て場
- 第二部 不満足な技術的解決法再処理の実態調査
廃棄物の再処理は本当に必要なのか？
- 第三部 封じこめられた民主主義
ユッカ、蛇の山
ビュール、法律にもり込まれた選択
問題の原子力カルネッサンス／結論
補遺
用語リスト／参考文献



終りのない惨劇

チェルノブイリの教訓から

ミシェル・フェルネクス、ソランジュ・フェルネクス、ロザリー・パーテル著／竹内雅文訳
 四六判上製 216頁 2200円
 ISBN978-4-8461-1205-9 C0036

チェルノブイリ原発事故から25年目。しかし、国際原子力機関(IAEA)や世界保健機関(WHO)は、公式の死者数を数十人としか認めず、現地の医学者らの報告を抹殺し、被害の矮小化に奔走して、原発の推進に手を貸している。本書は、IAEAやWHOがどのようにして死

者数や健康被害を隠蔽しているのかを明らかにし、被害の実像に迫る。いま同じことがフクシマで始まっている……。 (2012.3)

[内容構成]

- 第一部 WHO-IAEA合意、チェルノブイリ、そして福島
- 第二部 チェルノブイリの惨事と健康
- 第三部 チェルノブイリ人民法廷より
- 第四部 バンダジェフスキを巡るインタビュー
- 第五部 チェルノブイリの惨事は成長を続ける一本の樹



高速増殖炉の恐怖 [三訂増補版]

「もんじゅ」差止訴訟

原子力発電に反対する福岡県民会議著
 四六判上製 544頁 4300円
 ISBN978-4-8461-1201-1 C3053

高速増殖炉「もんじゅ」は、1995年に数カ月試運転ただけで、事故により現在まで止まったまま。2009年までに要した建設費、維持管理費、燃料費は1兆3300億円にも達している。老朽化した「もんじゅ」の危険性は、ますます深刻化している。 (2012.2)

[内容構成]

- 第一部 序論
- 第二部 放射線と放射性物質の危険性
- 第三部 プルトニウム・リサイクルの違憲・違法性
- 第四部 炉工学的安全性の欠如と重大事故の危険性
- 第五部 立地選定の誤りと労働者住民の生命健康に対する被害
もんじゅ訴訟の経過と現状(福武公子)
もんじゅ訴訟からもんじゅ廃炉へ(海渡雄一)



世界が見た福島原発災害

海外メディアが報じる真実

大沼安史著
 四六判並製 280頁 1700円
 ISBN978-4-8461-1108-3 C0036 ☆

事実上の報道管制の下、緩慢なる被曝ジェノサイドはすでに始まっている。本書は、福島原発災害を伝える海外メディアを追い、政府・マスコミの情報操作を暴き、事故と被曝の全貌と真実に迫る。 (2011.5)

[内容構成]

- 「沈黙の春」、または悲劇のプロローグ／第一章 放射能雲／第二章 飯館村／第三章 NRC秘密報告／第四章 爆弾発言／第五章 「料理されちゃうからね」／第六章 再臨界／第七章 「安全コード」／第八章 アトミック・アンヌ／第九章 死の灰・コトバ・桜／第一〇章 ウィキリークス／第十一章 原子力村／第一二章 サムライ／第一三章 カク・ミチオ教授の警告／第一四章 ミステリー／第一五章 校庭に原発が来た！／終わりのないエピソード／あとがき



世界が見た福島原発災害2 死の灰の下で

大沼安史著
四六判並製 396頁 1800円
ISBN978-4-8461-1117-5 C0036

政府・東電・マスコミは情報隠しをしていないというが、私たちは瞞されている。そして政治的無策のなか、死の灰の下で確実に〈殺されていく〉。好評の既刊に引き続き、海外メディアの徹底した収集と読み解きで描く〈ポスト 3.11〉の日本。(2011.11)

【内容構成】

プロローグ 春に背いて／第1章 核火山／第2章 「大津波」のトリック／第3章 「ベント」封印／第4章 見えない蛇／第5章 黒い雨／第6章 「メルトスルー」／第7章 「アマンOIAEA」／第8章 テストレス／第9章 対米不信／第10章 権力発電所／第11章 ゴンビ／第12章 SPEEDI／第13章 セーフキャスト／第14章 メルケリズム／第15章 水と炎／第16章 原子力で日向ぼっこ／第17章 風下に生きる／第18章 ノミとドジョウ／第19章 言葉と原発／エピローグ 核の冬来りなば／あとがき



世界が見た福島原発災害3 いのち・女たち・連帯

大沼安史著
四六判並製 320頁 1800円
ISBN978-4-8461-1203-5 C0036

3.11 から1年、「国の責任において子どもたちを避難・疎開させよ！ 原発を直ちに止めてください！」—フクシマの女たちが子どもと未来を守るために立ち上がる。一方、政府の「冷温停止状態」という収束宣言は、「見え透いた嘘」と世界の物笑いに。(2012.3)

【内容構成】

プロローグ フクシマの鐘／第1章 冷温不
停止状態／第2章 中間報告／第3章 耐震
偽装疑惑／第4章 死の駅伝／第5章 白い
巨象／第6章 東北の鬼に／第7章 「卑怯
だ！」／第8章 座り込んだ女たち／第9章
生まれめんなかな！／第10章 オキュバイ霞が
関／第11章 日独連帯／第12章 核の戦場／
第13章 逆襲／第14章 綻び出した遮蔽／始
まりのためのエピローグ／あとがき



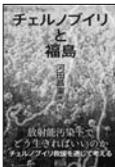
原発閉鎖が子どもを救う 乳歯の放射能汚染とガン

ジョセフ・ジェームズ・マンガーノ著
戸田清、竹野内真理訳
A 5 判並製 276頁 2600円
ISBN978-4-8461-1121-2 C0036

低線量放射線が子どもたちにガンを引き起こす。本書は平時においても原子炉の近くでストロンチウム90のレベルが上昇するときには、数年後に小児ガン発生率が増大すること、減少するときには小児ガンも減少することを統計的に明らかにする。(2011.12)

【内容構成】

第I部 序章
第II部 核実験の放射性降下物
第III部 原発の放出放射能
第IV部 乳歯調査のインパクト
参考文献
「子どもに20ミリシーベルト」についての疑問と私見
訳者あとがき—米国での核問題の歴史と今日
本で起きていること—竹野内真理
訳者あとがき 戸田清
索引
「乳歯調査」プロジェクト



チェルノブイリと福島

河田昌東著
四六判上製 164頁 1600円
ISBN978-4-8461-1119-9 C0036

本書はチェルノブイリ事故と福島原発災害を比較検討。福島原発事故が引き起こしつつある土壌や農作物などの放射能による汚染、そして外部・内部被曝による人間への影響を考える。また汚染除去や被曝低減対策など暮らしの中の被曝対策を提言する。(2011.11)

【内容構成】

第一章 福島原発震災とチェルノブイリ事故
震災現場を訪れて／福島原発では何が起きているか／チェルノブイリの教訓／内部被曝と外部被曝／日本の基準、ウクライナの基準／被曝線量を恣意的に動かす政府／これから自然界で起こること 他
第二章 放射能汚染下でどう生きるか
チェルノブイリの汚染と福島／「予防原則」の導入が必要／土壌の除染が必要／暮らしの中の被曝対策／放射能汚染地域における農業復興の試み 他
おわりに—日本政府への提言



放射線規制値のウソ
真実へのアプローチと身を守る法

長山淳哉著
四六判上製 180頁 1700円
ISBN978-4-8461-1116-8 C0036

本書は、国際放射線防護委員会 (ICRP) などの国際機関や厚生労働省の放射線規制値がいかに甘く、人間の健康に脅威であるかを、科学的に明らかにし、放射線から身を守る方法も提言する。ダイオキシン研究・環境医学研究の第一人者による渾身の書！ (2011.10)

[内容構成]

- 第一章 放射線の基礎知識
放射線／放射性崩壊／崩壊系列／中性子線／イオン化(電離)による生体影響／確定的影響と確率的影響／放射性物質と放射能／外部被ばくと内部被ばく／放射線と放射能の単位
- 第二章 放射線の人体影響
急性障害／晩発性障害
- 第三章 内部被ばくと外部被ばく
ヨウ素とセシウム／ラドン、宇宙線とカリウム四〇
- 第四章 身を守る法
線量限度と摂取制限／食品成分



どう身を守る？放射能汚染

渡辺雄二著
四六判並製 192頁 1600円
ISBN978-4-8461-1114-4 C0036

放射能汚染は、特に食物や呼吸を通じた内部被曝によって、長期的に私たちの身体を蝕み、健康を損なわせる可能性があります。一刻も早く放射性物質を排除していかねばなりません。本書は、各品目別に少しでも放射能を減らしていく方法を伝授します。(2011.9)

[内容構成]

悪夢が現実にならぬ／汚染されたホウレンソウ、かき菜、シュンギクetc.、その影響は？／魚介類汚染の象徴となったコウナゴ、かくして海は汚染された／牛乳と牛肉からも放射能が／飲み水は安全か？／空気を吸うことで受ける内部被曝／稲の栽培を脅かす土壤汚染／校庭の土ととも舞い上がる放射能／チェルノブイリ原発事故と福島原発事故／子どもたちの甲状腺がんが心配／母乳をあたえてもだいじょうぶか？／胎児への影響は？／今後十～二十年でがんは増えるのか？／各家庭でソーラー発電を など



東電の核惨事

天笠啓祐著
四六判並製 224頁 1600円
ISBN978-4-8461-1111-3 C0036

電力会社は原発建設、「オール電化」を推進して電力需要の拡大を図り、政府がそれを後押しすることで、原発に依存する社会を作ってきた。また福島第一原発事故は過去の事故が警告し続けてきたことを生かさなかった、起こるべくして起きた事故といえる。本書は

原発事故史のなかに今回の事件を位置づけ、原発のない社会への転換を促す。(2011.7)

[内容構成]

- はじめに
- 第1章 最悪の事故発生
- 第2章 ウラルの核惨事への道
- 第3章 スリーマイル島原発事故への道
- 第4章 チェルノブイリ原発事故起きる
- 第5章 もんじゅ事故・JOC臨界事故発生
- 第6章 過去の事故と福島の事故
- 第7章 福島の核惨事と放射能汚染
- 終章 あとがき



低線量内部被曝の脅威

原子炉周辺の健康破壊と疫学的立証の記録

ジェイ・マーティン・ゲールド著
肥田舜太郎・斎藤紀・戸田清・竹野内真理共訳
A5判上製 388頁 5200円
ISBN978-4-8461-1105-2 C0036 *

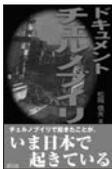
本書は米国の核施設がもたらす健康被害について、アメリカ全土3,053の郡における人口および死亡数を追跡。18のグループ別年齢調整死亡率を5年を1期間とした3期間を通じて割り出すという徹底した疫学調査をもとに、簡明な図表と明快な論調で解説。(2011.3)



チェルノブイリの惨事 [新装版]

ペラ&ロジェ・ベルバオーク著
桜井醇児訳
四六判上製 224頁 2400円
ISBN978-4-8461-1106-9 C0036 *

チェルノブイリ原発事故では必要とされた100万人の住民避難が行われず、子供を中心に白血病、甲状腺がんの症例・死亡者が増大した。本書はフランスの反核・反原発の2人の物理学者が、1993年までの事態の進行を克明に分析し、告発する。(2011.4、旧版1994.12)



ドキュメント チェルノブイリ [新装版]

松岡信夫著
四六判上製 382頁(グラビア16頁) 2500円
ISBN978-4-8461-1107-6 C0036 ☆*

本書はソ連体制下の報道管制の網をかいくぐり、チェルノブイリ原発事故の真実を伝えた労作。現地各紙誌を原資料として全過程とその影響が深刻化する二年間の動きを忠実に追ったドキュメント。福島第一原発事故の近未来を明らかにする。(2011.4、旧版1988.8)



破綻したプルトニウム利用 政策転換への提言

原子力資料情報室、原水禁編著
四六判並製 220頁 1700円
ISBN978-4-8461-1008-6 C0036

原発の使用済み燃料から再処理工場でプルトニウムを抽出し高速増殖炉で燃料として使用する「核燃料サイクルシステム」が、すでに破綻しており、いかに危険で莫大なムダであるかを科学的根拠に基づいて分析し、政府の政策の転換を提言。(2010.7)



プロブレムQ & A 原発は地球にやさしいか [温暖化防止に役立つというウソ]

西尾漢著
A 5判変並製 152頁 1600円
ISBN978-4-8461-0814-4 C0336 ☆*

「温暖化防止のために原発を」とか、「地球に優しいエネルギー」などと宣伝されている。原発のCO₂発生量は少ないというのが根拠らしいが、実際はどうか? 本書はこれらの疑問に答え、原発が温暖化防止に役立つというウソを明らかにする。(2008.9)



プロブレムQ & A むだで危険な再処理 [いまならまだ止められる]

西尾漢著
A 5判変並製 160頁 1500円
ISBN978-4-8461-0702-4 C0336 ☆

高速増殖炉の開発も、プルサーマル計画も頓挫しているのに、事故や核拡散の危険性の大きい「再処理」をなぜ強行しようとするのか。世界的にみてもそのまま廃棄物とする「直接処分」が主流だ。本書はムダで危険な再処理問題をQ & Aでやさしく解説。(2007.12)



プロブレムQ & A どうする?放射能ごみ [実は暮らしに直結する恐怖]

西尾漢著
A 5判変並製 168頁 1600円
ISBN4-8461-0501-6 C0353 ☆*

原発から排出される放射能ごみ=放射性廃棄物の処理は大変だ。再処理にせよ、直接埋設にせよ、あまりに危険で管理は半永久的だからだ。再処理や原発の廃炉で、ごみが雪だるま式に増え続ける。欧米では、原発や再処理の凍結や中止が相次いでいる。(2005.1)



プロブレムQ & A なぜ脱原発なのか? [放射能のごみから非浪費型社会まで]

西尾漢著
A 5判変並製 176頁 1700円
ISBN4-8461-0221-1 C0053

暮らしの中で原子力発電所の電気を使っている私たち、でもやっぱり不安……。なぜ原発は廃止しなければならないのか、増え続ける放射能のごみはどうすればいいのか、廃止しても電力の供給は大丈夫なのか——私たちの暮らしと未来のために考えよう。(2003.1)



『海の放射能汚染』書評 原発事故の放射能、海洋汚染の 影響分析

①福島第1原発事故の放射性物質について、海洋生物への影響を「食物連鎖」の観点で分析している。著者は30年以上、瀬戸内海の環境問題に取り組んできた海洋研究者。国のモニタリング調査は「食品の安全性」を求め、食物連鎖の最下層に位置するプランクトンの調査が行われていないなどと指摘し「生態系の総合的な

評価」を行うべきだと訴える。他の原発事故や核実験の汚染の実態も明らかにしており、海の放射能汚染を知る上で、貴重な資料だ。

②福島県やその周辺の自治体の農畜水産業に多大な影響を与えた原発事故。福島県の漁業は7月に試験的に再開したが、魚介類がどのように放射性物質を吸収するか解明されていない部分もあり、先行きを見通せないのが現状だ。私たちがいかに解決が困難な問題と直面しているかに気付かせてくれる。【神保圭作】

●『毎日新聞』12年7月30日より。



主役に育つエコ・エネルギー

井田 均著
四六判並製 212頁 1800円
ISBN4-8461-0502-4 C0036

危険をともなう原発や問題の多い石油に替わるエコ・エネルギーが脚光をあびている。本書は、現地を訪ね歩き、その現状と各国の取組みを紹介し、問題点と展望を明らかにしている。(2005.2)



原発の即時廃止は可能だ

ロジェ&ベラ・ベルベオーク著
桜井醇児訳
四六判上製 184頁 1800円
ISBN978-4-8461-0710-9 C0036

原子力発電所は、稼働年数が経つほど回復不能な重大事故の可能性が高い。チェルノブイリの状況を防ぐ方法はないのか？ 原発大国フランスで、電力消費をさほど落とすことなく、原発の即時廃止が可能であると説く本書は、日本にも当てはまる。(2007.8)



核廃棄物は人と共存できるか

マルチヌ・ドギオーム著／桜井醇児訳
四六判上製 180頁 1700円
ISBN4-8461-0113-4 C0042

☆☆

原発などからでる放射性廃棄物の処分は、固有の毒性のため極めて困難だ。しかも、影響が弱くなる半減期がプルトニウムの場合で2万4000年。本書は原子力大国フランスの核廃棄物処理問題の分析を通じ、放射性廃棄物が人類と共存できないことを解説。(2001.11)



クリティカル・サイエンス② 核燃料サイクルの黄昏

緑風出版編集部編
A 5判並製 244頁 2000円
ISBN4-8461-9814-6 C0342

もんじゅ事故などに見られるように日本の原子力エネルギー政策、核燃料サイクル政策は破綻を迎えている。本書はフランスの高速増殖炉解体、ラ・アーグ再処理工場の汚染など、国際的視野を入れ、現状を批判的に総括したもの。(1998.11)



反原発運動マップ

反原発運動全国連絡会・編
A 5判並製 320頁 2800円
ISBN4-8461-9716-6 C0036

先進各国の脱原発の歩みが加速する中、日本は高速増殖炉・核燃料再処理工場の建設など原発大国への道を突き進んでいる。本書は全国の原発と闘う反原発運動の担い手による最新の日本の反原発マップである。(1997.10)



高速増殖炉もんじゅ事故

緑風出版編集部編
四六判並製 296頁 2500円
ISBN4-8461-9610-0 C0053

地球上最悪の猛毒プルトニウムを燃料とする高速増殖炉もんじゅで、予想されていた重大事故が発生した。本書ではこのナトリウム漏洩事故の全貌を、動燃や原発行政も含むあらゆる角度から分析し、もんじゅ廃炉を訴える。(1996.4)



『低線量内部被曝の脅威』書評 人間は、悪魔なしに生活できないのか

米国で、白人女性の乳がん死亡率が1950年から約40年間で2倍になった。全3053郡の調査では、原発から約160キロ以内の郡で死者が増え、それ以外は横ばいか低下傾向だった(参考「低線量内部被曝の脅威」ジェイ・マーティン・グールド著、緑風出版) ▼人工的な核生成物の放射線には「安全」という基準はない、と

いう話だ。160キロ。伊方原発からだとは北は広島、西は熊本。いや、日本の大部分は、どこかの原発から160キロに収まる▼原発災害は「悪魔」に例えられる。契約すれば、普段は毒気を出しつつも人間に利便を与えるが、暴れ出せばすべてを滅ぼす。人間は、悪魔なしに生活できないのか。そんなことはない。いろいろな考えが私の頭を巡っている。【津島史人】

●『毎日新聞』11年6月15日より。

原発に依存しない社会をどうつくるか



原発問題の争点

内部被曝・地震・東電

大和田幸嗣・橋本真佐男・山田耕作・渡辺悦司
共著

A5判上製 228頁 2800円
ISBN978-4-8461-1213-4 C0036

福島原発事故は人類と核が共存できないことを明確に示した。ひとたび事故が起きればコントロール不能となり、破局的事態を引き起こすという現実である。

ところが政府と電力会社は、福島原発事故をなんら反省・教訓とすることなく、また電力が余っているにもかかわらず、原発再稼働を強行した。原発に依存せず、再生可能エネルギーで社会を作り直せないのかという、市民の希望は打ち砕かれようとしている。

本書は、福島原発事故による低線量内部被曝の脅威、原発の耐震設計の非科学性と耐震設計が不可能であることを自然科学の観点か

ら考察する。また科学者の責任を問い、東電の懲罰的国有化の必要性、原発によるエネルギー生産の永久放棄を提言する。(2012.8)

[内容構成]

第一章 内部被曝の危険性—チェルノブイリの教訓からフクシマを考える—(大和田幸嗣)

第二章 地震と原発—地震動の観測結果と地震動予測—(橋本真佐男)

第三章 原発に対する科学者の責任—核エネルギーの安全な利用はありえない—(山田耕作)

第四章 マルクス主義経済学からの原発批判—電力の懲罰的・没収的国有化と民主的統制を—(渡辺悦司)

第五章 原発廃棄のために

付録 I 放射性物質で汚染されたがれき処理の意義と問題点(山田耕作) / II チェルノブイリ原発事故25年の健康被害の実態から学ぶ(大和田幸嗣)



エネルギー倫理命法

100%再生可能エネルギー社会への道

ヘルマン・シェア著／今本秀爾、ユミコ・アイクマイヤー、手塚智子、土井美奈子、吉田明子訳
四六判上製 392頁 2800円
ISBN978-4-8461-1207-3 C0036

「ソーラーの父」ヘルマン・シェアの遺作である本書は、原発が人間存在や自然と倫理的・道徳的に相容れないこと、小規模分散型エネルギーへの転換の合理性、再生可能エネルギーによる代替の有効性を明らかにする。

メルケル首相をして脱原発へ転換させた理

論と政治的葛藤のプロセスを再現。(2012.5)

[内容構成]

第1部 現状把握

第一章 再生可能エネルギーに代わるものはない / 第二章 先送り戦略とその心理 / 第三章 スーパーグリッド、または疑似進歩という足枷

第2部 人類、全部門、科学技術を一〇〇%再生可能エネルギーに

第四章 加速化 / 第五章 生産的想像力 / 第六章 「アジェンダ21」の再履行 / 第七章 価値決定



脱原発の市民戦略

上岡直見、岡将男共著

四六判上製 276頁 2400円
ISBN978-4-8461-1204-2 C0036

原発推進派の言い分の不合理を明らかにし、脱原発の市民戦略をさまざまなデータを駆使しながら、具体的なかつ説得力のあるシナリオを提案。また、原発自主避難者への支援活動を続ける「おいでんせえ岡山」の運動を紹介、新しいコミュニティを考える。(2012.3)

[内容構成]

第1章 福島事故を振り返る / 第2章 「発電」と「停電」を考える / 第3章 何が原発を「必要」としてきたのか / 第4章 地域の「節電」を考える / 第5章 エネルギー大量消費社会 / 第6章 脱クルマも脱原発への道 / 第7章 持続的な社会とエネルギー / 第8章 原子力は高くつく / 第9章 脱原発に向けたエネルギー政策 / 第10章 脱原発の世論を確立するために / 第11章 原発自主避難者受入れ活動～「おいでんせえ岡山」 / 第12章 「利益村」から本来のコミュニティへ



脱原発の経済学

熊本一規著
四六判上製 232頁 2200円
ISBN978-4-8461-1118-2 C0036

福島原発事故によって放射能が垂れ流され続け、人びとが放射線被害のモルモットになっているような事態は、人類史上初めてのことである。脱原発すべきか否か。脱原発を選ぶとしたら、それをいかに進めるのがよいか。この問いは、今やすべての人びとにとつ

て差し迫った問題として問われている。

本書は、原発の電気がいかに高く、いかに電力が余っているか、いかに地域社会を破壊してきたかを明らかにし、脱原発が必要かつ可能であることを経済学的観点から提言する。(2011.11)

【内容構成】

- 第1章 電力自由化と発電電分離は必要か
- 第2章 「原発の電気が一番安い」は本当か
- 第3章 原発は地域社会を破壊する
- 第4章 脱原発社会を如何に創るか
- 付 論 水車が語る農村盛衰史



エコ社会主義とは何か

ジョエル・コヴェル著
戸田清訳
四六判上製 524頁 3400円
ISBN978-4-8461-0912-7 C0036

グローバル化した巨大資本の活動は様々な生態学的危機を引き起こしているが、対策は技術的な応急処置にすぎず、根本的な解決にはほど遠い。本書は自然と人間の敵・資本主義を一掃し、望ましい存在・生活様式を取り戻すエコ社会主義の必要を説く。(2009.8)



未来は緑

ドイツ緑の党新綱領

同盟90 / ドイツ緑の党著
今本秀爾監訳
四六判上製 296頁 2500円
ISBN978-4-8461-0719-2 C0031

本書は、「同盟 / ドイツ緑の党」の「バリン新綱領」の全文訳。世界各国に共通する21世紀のためのモデルプランが、体系的に環境、社会、経済の各分野に展開される。政権参加の経験の踏まえ、20年ぶりに改訂された、緑の未来のための政策集。(2007.12)



政治的エコロジーの歴史

ジャン・ジャコブ著
鈴木正道訳
四六判上製 492頁 3400円
ISBN4-8461-0509-1 C0010

フランスのエコロジーの思想的流れを通して、自然保護運動から政権の一翼を担うまでになった現代の政治的エコロジー思想までを歴史的に検証。様々な人々が織りなすエコロジーの思想と運動の歴史を詳しく解説。エコロジーを知る上で、必要な1冊だ。(2005.6)



政治的エコロジーとは何か

フランス緑の党の政治思想

アラン・リビエツ著
若森文子訳
四六判上製 232頁 2000円
ISBN4-8461-0019-7 C0010

地球規模の環境危機に直面している今ほど政治にエコロジーの観点からのトータルな政策が求められている時もない。本書は、フランス緑の党の幹部でジョスバン首相の経済政策スタッフでもある経済学者の著者が、エコロジストの政策理論を展開する。(2000.12)



緑の政策宣言

フランス緑の党著
若森章孝・若森文子訳
四六判上製 284頁 2400円
ISBN4-8461-0415-X C0031

本書は、持続可能なフランスとEU(欧州連合)をつくるための「フランス緑の党の基本政策」の全容を論じる。政治、経済、社会、文化、環境保全などの在り方を、より公平で民主的で持続可能な方向に導いていくための指針が、具体的に述べられる。(2004.10)



緑の政策事典

フランス緑の党著
真下俊樹訳
A5判並製 304頁 2500円
ISBN4-8461-0104-5 C0031

現代の行き詰まった高度資本主義社会は、地球規模の破局への道をひた走っている。この危機を乗り越える新たな政治思想と政策を打ち出し、政権についたフランス緑の党。本書は、同党がエコロジストの英知を結集して全力で編集した最新の政策集 (2001.5)



赤と緑
社会主義とエコロジズム

いいだ もも著
四六判上製 222頁 1700円
ISBN4-8461-8622-9 C0030

危機の時代を克服すべく内外の最新諸理論を摂取し赤=社会主義と緑=エコロジズムとの理論的+実践的大合流による人間の解放と社会主義のオルタナティヴを構想する。85年秋「社会主義理論フォーラム」の総括の書。
(1986.4)

*



エコロジーとマルクス主義

いいだ もも著
四六判上製 382頁 2400円
ISBN4-8461-8206-1 C0030

現代日本の代表的マルクス主義理論家による、マルクスの根本原理にもとづく初の本格的なエコロジー論である本書は、エコロジー運動の〈緑旗〉と労働運動の〈赤旗〉の大合流によるエコロジー的・自治的共産主義を構想する。
(1982.11)

*



エコロジーから自治へ

C・カストリアディス
D・コーン=ベンディット共著 江口幹訳
四六判上製 189頁 1700円
ISBN4-8461-8312-2 C0030

仏五月革命の旗手・コーン=ベンディットと孤高の革命的思想家・カストリアディスがはなつエコロジーをめぐる白熱の討論は、エコロジー論の新天地を切り開く。訳者・江口幹もエコロジーから自治への思想を全面展開。
(1983.12)



エコロジスト宣言

A・ゴルツ著
高橋武智訳
四六判上製 326頁 2200円
ISBN4-8461-8002-6 C0030

フランスの代表的左翼理論家である著者は、エコロジー的・自主管理的社会主義論を武器に現代社会を解剖し、新たな社会の構想を宣言する。ヨーロッパのエコロジー運動と労働者自主管理運動のバイブルといわれる名著。
(1980.5)

*美本なし



『世界が見た福島原発災害』書評
国際力学に敗れた日本

「3・11」の東京電力福島第1原発事故のあと、私たちは官邸、原子力安全・保安院、東電の発表を伝えるメディア報道にいらいらさせられてきた。大丈夫といわれたことが何度もひっくり返されてきたからだ。

だが、本書によれば、緊急炉心冷却装置停止などの事態を、ニューヨーク・タイムズ(NYT)などの外国メディアは、米原子力規制委員会(NRC)の詳細な福島第1に関する秘密報告をもとに、早くから伝えていたのだ。事故後間もない3月21日、サンフランシスコでフランスのアレバ社が米国の原子力産業関係者・研究者との非公開のパネル討論に臨み、水素爆発までの推移を予測、解析したシミュレーションを発表した。本書の著者はNYTのすっぱ抜きを手がかりにネットで探索、その全容を紹介しているが、予測の正確さにショックを受けた。

米仏の政府・業界が福島原発事故を気にするのは、日本がここでコケ、全世界が原発はダメ

だと思うようになったら、これから世界中にインフラ輸出の目玉として原発を売り込もうとしている自分たちの目算が狂ってくるからだ。さらに、そっくりアメリカのモデルをいたただけの日本には、放射能汚染の除去技術もない。その面倒を見てやれば、ビッグ・ビジネスにもなる。

著者は、情報格差の裏にこのような国際的な原発産業支配をめぐる力学が存在することも、冷徹に指摘する。そして、その力学のなかで日本が核に対する敗北を、ヒロシマに続きフクシマでもなめさせられたことを示唆する。

著者は『「フクシマ」に、終わりはない。』と締めくくる。その意味を、私たちはどのように受け止めるべきか。核兵器とともに原発にも反対し、その支配から脱することこそが、日本独自の主体性確立につながるのではないかと。また、仙台に住む著者が、これだけの情報をネットで集めたことなども、運動の進め方のヒントとなりそうだと。【桂敬一・ジャーナリズム研究者】

●『北海道新聞』11年7月3日付より。

戦争と飢餓のない世界を目指して



資本主義からの脱却

エルヴェ・ケンプ著／神尾賢二訳
四六判上製 228頁 2200円
ISBN978-4-8461-1103-8 C0036

エコロジー危機の深化を放置することは、文明の存立条件の継続的かつ深刻な崩壊につながる。富裕階級の虚栄的浪費活動がグローバルな文化モデルを規定し、政治経済を支配する寡占階級＝オリガルキーが不公平と貧困と飢餓を生み出している。

生物圏の均衡の限界を越えないためには、欧米日などの先進諸国の資源消費量を半分まで下げる必要がある。富裕階級に課税し浪費を止めさせ、資本主義の破壊的メカニズムから脱却することこそが急務である。(2011.3)

【内容構成】

序文

第一章 資本主義は何を残したか—その消滅の前に—

生産性の奇跡／投機家の天下／新資本主義の根幹にある腐敗墮落／不平等の勝利 他

第二章 マーケット・ノイローゼ症候群

公共空間の私物化／社会的絆の喪失／すべては買われ、すべては売られる／反資本主義の市場／無言の交換 他

第三章 緑の経済成長の幻想

気候変動を抑える原子力の欺瞞／自動車のための森／資本主義についての三つの教訓／社会は何十億も儲けることができる 他

第四章 協同と独裁

資本主義、腐った花／オルタナティブはもうそこにある／金持に課税するのは当然である／永続的平和に向かって 他

原注

訳者あとがき



金持ちが地球を破壊する

エルヴェ・ケンプ著
北牧秀樹・神尾賢二訳
四六判上製 224頁 2200円
ISBN978-4-8461-0916-5 C0031

世界人口の2割が世界の富の8割を消費している。本書は、地球温暖化などの危機の元凶が世界の経済と政治をオリガルキー（寡頭支配）する大金持ちにあることを明らかにし、より少ない消費と、より良き分配こそが人類と地球を救うことを明示する。(2010.1)

【内容構成】

第一章 大異変。さあ、どうする？

第二章 環境危機、社会危機

第三章 世の勢力者たち

第四章 いかにしてオリガルキーが環境危機を激化させるか

第五章 危機に瀕する民主主義

第六章 切迫感とオプティミズム—オリガルキーも分裂しかねない

エピソード プラネット・カフェ

原注

索引

訳者あとがき



ポスト・グローバル社会の可能性

ジョン・カバナ、ジェリー・マンダー編
翻訳グループ「虹」訳
四六判上製 560頁 3400円
ISBN4-8461-0616-0 C0036

世界貿易機関(WTO)、国際通貨基金(IMF)、世界銀行などが中心に推進している経済のグローバル化は、世界を急速に蝕んでいる。本書は、経済のグローバル化がもたらす影響を、文化、社会、政治、環境というあらゆる面から分析し批判することを目的に創設された国

際グローバル化フォーラム(IFG)による、反グローバル化論の集大成である。

「グローバル化を求めないのなら、何をめざすのか」という問いに、あらゆる側面からこたえることを通じて、ポストグローバル社会を構想する。仏・独・西・中など8カ国語で出版されている本書は、グローバリゼーションを考えるための必読書！(2006.11)

【内容構成】

第一部 危機にある体制

第二部 オルタナティブの実践

第三部 グローバル・ガバナンス



グローバルな正義を求めて

ユルゲン・トリッティン著
今本秀爾監訳
四六判上製 268頁 2300円
ISBN4-8461-0618-7 C0036

「グローバルな正義は、開発政策上の措置や直接投資によってだけでは達成されえない。むしろ工業国は自国の誤った開発をやめ、自分自身が持続可能な豊かさのモデルとなるべきである」。ドイツ緑の党代表が記した党の思想と達成可能なヴィジョン。(2006.9)



反核シスター ロザリー・バーテルの軌跡

メアリー＝ルイズ・エンゲルス著
中川慶子訳
四六判上製 220頁 1800円
ISBN978-4-8461-0810-6 C0036

発言から研究所を追われ、妨害されながらも、核の危険性を説いて回り、真摯に核の脅威に立ち向かう姿は、少数民族や第三世界の人々をも揺り動かしてきた。(2008.8)

修道女、ガン研究学者、反核平和運動家として、世界的に知られるロザリー・バーテルの半生を描いた書。原発、核実験場、核施設周辺の放射能汚染が、白血病などのガンの多発、低体重児出産の増加などを引き起こしていることを、専門の研究から証明。そうした

＊ [内容構成]

- 第1章 この世界に招き入れられて
- 第2章 放射線の世界
- 第3章 「反核シスター」の誕生
- 第4章 危険の中で生きる歲月
- 第5章 花開くとき
- 第6章 脱ロザリーのグローバル化
- 第7章 一生よりも大きな夢



戦争はいかに地球を破壊するか 最新兵器と生命の惑星

ロザリー・バーテル著／中川慶子・稲岡美奈子・振津かつみ訳
四六判上製 416頁 3000円
ISBN4-8461-0507-5 C0047

本書は、核実験からスターウォーズ計画まで含め、核兵器、劣化ウラン弾、レーザー兵器、電磁兵器などによって、惑星としての地球が温暖化や核汚染をはじめとして、いかに破壊されているかを解明。(2005.8)



『戦争はいかに地球を破壊するか』紹介 温暖化や核汚染を例に出し追及

核実験からスターウォーズ計画まで、核兵器や劣化ウラン弾、レーザー兵器、電磁兵器などがいかに地球を破壊しているか、温暖化や核汚

染などを例に出して追及。著者はインド・ポパールでの化学工場爆発事故による住民の被害調査をはじめ、環境保健の分野で積極的に活躍している。

●『週刊金曜日』05年11月25日号より。

II エコロジーと環境の本

エコロジーを考える



ニームとは何か [増補改訂版]

人と地球を救う樹

国際開発のための科学技術委員会・編著

石見 尚・監訳/片山弘子・訳

A 5判並製 208頁 2000円

ISBN978-4-8461-1006-2 C0036

*

何世紀もの間、インドで「村の薬局」として利用されてきたニームの樹が今脚光を浴びている。アメリカではこの樹のエキス抽出を特許として申請するなど世界の科学者たちが研究に携わっている。

ニームは、害虫防除や薬剤、歯磨き、人口増加の抑制、地球温暖化の緩和と人間の生活に密着した効能を持ち、利用範囲は極めて広い。科学的解明が始まったばかりのこの樹を詳しく紹介する。

[増補改訂版]では、日本での研究開発と普及の状況を追加した。

(2010.6、2005.4)

[内容構成]

- 第1章 ニームの将来像
- 第2章 現状と課題
- 第3章 ニームの樹
- 第4章 ニームの成分
- 第5章 昆虫に対する効果
- 第6章 昆虫以外の生物への影響
- 第7章 医薬品
- 第8章 工業製品
- 第9章 ニームの植栽
- 第10章 次のステップ

付論A 安全性テスト

付論B 人口調節の画期的技術革新となるか

付論C 参考文献と資料

付論D 研究機関の連絡先

付論E 国際開発のための科学技術委員会とニーム小委員会の委員紹介

補論 日本におけるニームの研究開発と普及の状況



環境危機はつくり話か

ダイオキシシン・環境ホルモン、温暖化の真実

山崎清 他著

四六判上製 286頁 2400円

ISBN978-4-8461-0804-5 C0036

環境危機は「つくり話か」[「思い過ごし」]だとして環境保護を求める専門家や運動を攻撃する懐疑論者は経済成長こそが大事とする市場原理を優先する。本書は、これらの主張を詳しく分析、批判し、環境危機の実態に迫り、いかに行動すべきかを問う。(2008.3)

[内容構成]

I部 ダイオキシシン・環境ホルモンは怖くないのか、石炭はエネルギーの切り札か

- ①ダイオキシシン汚染の恐れは神話でも杞憂でもない
- ②環境ホルモン問題は人類への警告
- ③石炭利用推進論者のエネルギー論批判
- ④環境危機はつくり話かとする「これからの環境論」

II部 地球温暖化と国際政治

- ①温暖化の科学と政治 懐疑論を巡って
- ②IPCC第4次評価報告書と温暖化懐疑論
- ③京都からポスト京都へ

III部 懐疑論者は世界をいかに見るか



エコロジーの歴史

パトリック・マターニユ著

門脇 仁訳

A 5判上製 320頁 3200円

ISBN4-8461-0609-8 C0040

*

エコロジー＝生態学についてその科学史を解説した本はほとんどない。本書は、博物学などのエコロジー思想の源流から現代のエコロジー理論まで、起源、確立者、科学としての発展などをまとめた、科学のエコロジー史＝生態学史の本格的入門書。(2006.8)

[内容構成]

生態学的な考え/生態学的な動きの起源/自然の摂理/科学のエコロジーの確立者たち/博物学者と生態学/用語としてのエコロジー/人口学と生態学/進化論と生態学/ヒューマン・エコロジー/農学、植物の栄養摂取、生態学/海洋生態学/土壌学と地球化学/ヨーロッパの生態学派/北米大陸の生態学/生態学における有機体論/エコシステム理論/物質とエネルギーの流れ/共用防除、生態系管理、生態学戦争/熱帯生態学派/持続可能な開発/エコロジーの社会的ニーズ/生態学の探求は続く



気候パニック

イヴ・ルノワール著
神尾賢二・訳
四六判上製 420頁 3000円
ISBN4-8461-0602-0 C0036

☆☆

熱暑、大旱魃、大嵐、大寒波——最近の「異常気象」は人々を不安に陥れる。これらの原因は、地球温暖化による気候変動とされ、それに伴う対策が世界的に展開されている。だが、二酸化炭素などの温暖化物質による温室効果 = 地球温暖化論に対する疑問も出され始めている。

本書は、温室効果と地球温暖化の関係を詳細に分析し、数々の問題点を科学的に検証する。そして気候現象は、大気、海洋、太陽エネルギー、地球の自転などが複雑に絡み合っ

て生まれることを指摘し、「極地移動性高気圧」など様々な要因から、異常気象を解説す

【内容構成】

訳者概説 神尾賢二

序文 ロジェ・カン

解説

線条細工と舞台背景

第I部 地球とその気候

第II部 密接な関係にあるが把握しがたい諸変化

第III部 気候変化の配当

エピソード

限界を超えて：歴史は訥弁である



ウォーター・ウォーズ

水の私有化、汚染そして利益をめぐって

ヴァンダナ・シヴァ著
神尾賢二訳
四六判上製 248頁 2200円
ISBN4-8461-0301-3 C0036

☆☆

「今世紀の戦争が石油をめぐって戦われたものであったとするなら、新世紀の戦争は水をめぐって戦われることになるだろう」——世界銀行総裁のこの予言が示すように、いま欧米の多国籍企業は、ダム建設や水道・灌漑システムからミネラルウォーターまで、世界貿易機関（WTO）などを利用して国際的な水支配、水戦争を仕掛けている。しかし、水の私有化や水道の民営化に象徴される水戦争は、人々から水という共有財産を奪い、農業の破壊や貧困の拡大を招き、地域・民族紛争と戦争を誘発し、地球環境を破壊するものだ。世界的に著名な著者が世界の水戦争を分

析し、水問題の解決の方向を提起する。

(2003.3)

【内容構成】

Preface

はじめに

Introduction 潤沢から欠乏への転換

Chapter One 水利権——国家、市場、コミュニティ

Chapter Two 気候変動と水の危機

Chapter Three 川の植民地化——ダムと水戦争

Chapter Four 世界銀行、WTO、企業の水支配

Chapter Seven 聖なる水

付録ガンジス川の百八個の名称

原注



バイオパイラシー

グローバル化による生命と文化の略奪

バンダナ・シバ著
松本文二訳
四六判上製 264頁 2400円
ISBN4-8461-0210-6 C0036

☆

先進国とりわけ欧米諸国による「特許獲得」「遺伝子工学」という新しい武器を使った第三世界の再植民化。グローバル化は、「地域固有の知識」の価値を否定、生命自体をも植民化しようとする。世界的な環境科学者・物理学者らの反グローバル化の思想。(2002.6)

【内容構成】

序 特許戦略による略奪行為：コロンブスの再来

1 知識・創造性・知的所有権

2 生命の創造と所有は可能か：生物多様性を再定義する

3 種子と大地 生物体という新しい植民地

4 生物多様性と人々の知識 生物多様性は誰の資源か？

5 生命特許の波紋 単一品種栽培の波及

6 多様性によって平和を築く

7 非暴力と多様性の育成



自然保護の神話と現実 アフリカ熱帯降雨林からの報告

ジョン・F・オーツ著
浦本昌紀・訳
A 5判並製 300頁 2800円
ISBN4-8461-0601-2 C0036

国連や国際自然保護団体などが主導して行なわれている自然保護政策は、経済開発にすり寄ることで、各地で破綻し、肝心の野生動物が急速に絶滅の危機に瀕している。

本書は、西アフリカの熱帯降雨林で長年のフィールドワークに従事してきた野生動物学

者が、現場から報告する異色のレポート。自然保護政策の問題点を摘出。(2006.2)

[内容構成]

- 第1章 エシヨビ村への巡礼
- 第2章 採集から保護へ
- 第3章 自然保護が経済開発にすり寄る
- 第4章 ティワイ島
- 第5章 オコム
- 第6章 人間優先
- 第7章 ガーナの空っぽの森
- 第8章 動物園は箱舟たりうるか？
- 第9章 20世紀終末の自然保護



自然史思想への招待

松本文二著
四六判上製 272頁 2400円
ISBN4-8461-0612-8 C0010

本書は、人間は進化の過程で、遺伝子から脳まで心身ともに「適応環境」において最大の能力が発揮できるように作られていることを指摘。適応環境を疑似することによって幸福と健康が得られることを、生物学・人類学・社会学の知識を総合して論じる。(2006.5)

*



エコロジカルな暮らし方

井手敏彦著
四六判並製 193頁 1400円
ISBN4-8461-9258-X C0030

沼津方式として知られるゴミのリサイクル型収集に、市長としていち早く取り組んだ著者が、暮らしのさまざまなテーマを通じて、便利な暮らしのツケをどう解決したらいいかを説く。『ゴミが宝か宝がゴミか』の改題増補版。(1992.6)

自然破壊と公害を考える



ダムとの闘い 思川開発事業反対運動の記録

藤原信 編著
四六判上製 264頁 2400円
ISBN978-4-8461-1208-0 C0036

1964年のオリンピックの年、東京の水不足解消策のひとつとして構想された思川開発。小川のような川を堰き止め、ダムを建設、足りないダム用水を複数の遠い河川から水を導水するという計画。

東京の水不足が解消されても、国はなんだかんだと意味のない理由を付けて計画を推進する。それを擁護する自治体。住民が住民監査請求をしても門前払いし、裁判に訴えても行政を弁護する裁判所。そしてまだ本体工事に入れないまま事業を続ける。

日本の行政と司法の腐敗が、税金を垂れ流し、国民と国土を荒廃させる…… (2012.5)

【内容構成】

- 1章 南摩ダム 思川開発事業という名のムダなダム
第一節 思川開発計画(南摩ダム)の経緯／第二節 工事計画とその後の変更／第三節 思川開発事業の行方
- 2章 ダムとのたたかい
第一節 思川開発事業を考える流域の会／第二節 大谷川取水に大きな疑問／第三節 思川開発事業の再検証／第四節 福田知事、東大芦川ダムの中止を決断／第五節 思川開発事業反対運動は続く／第六節 国土交通省の有識者会議
- 3章 思川開発事業の訴訟
第一節 首都圏のダム問題を考える市民と議員の会／第二節 思川開発事業の住民監査請求／第三節 思川開発事業の住民訴訟
- 4章 室瀬協議会のたたかいと挫折
- 5章 思川開発事業訴訟の原告として
- 6章 宇都宮裁判所における訴訟



朝日連峰の自然と保護

石川徹也著
四六判上製 184頁 1800円
ISBN978-4-8461-1120-5 C0036

本書は、現地を長期間にわたって取材してきたジャーナリストが、ブナ林伐採問題、大規模林道建設反対運動、そして奥三面ダム開発といった問題を中心に、朝日連峰の自然と民俗の変遷、開発とそれに対峙した自然保護運動を総括する。(2011.12)

【内容構成】

- プロローグ
- 第一章 ブナ林保護運動の黎明—大井沢“最後のマタギ”
 - 第二章 大規模林道開発と反対運動
 - 第三章 山岳無人地帯の拡大—奥三面ダム建設と三面集落の集団移転
第一節 三面の電源開発と集団離村
第二節 山を下った住民と山の民俗の変容
第三節 ブナ林開発と三面川の変容
第四節 見直される三面の価値
- 主要参考文献
あとがき



よみがえれ! 清流球磨川 川辺川ダム・荒瀬ダムと漁民の闘い

三室勇・木本生光・小鶴隆一郎・熊本一規共著
四六判並製 232頁 2100円
ISBN978-4-8461-1102-1 C0036

内水面の共同漁業権を武器に川辺川ダム計画を中止に追い込み、また荒瀬ダムを日本で初めてのダム撤去に追い込んだ、球磨川漁民の闘いの記録。既存ダムを撤去に追い込む闘い方を含め、今後のダム行政を揺るがす内容。(2011.3)

【内容構成】

- はじめに 三室勇
出版によせて—ダム撤去への道 木本生光
序 熊本一規
- 第1章 川辺川ダムとの闘い 小鶴隆一郎
 - 第2章 川辺川ダムと球磨川漁民 三室勇
 - 第3章 熊本県収用委員会における論争 熊本一規
 - 第4章 荒瀬ダム撤去の運動 木本生光
 - 第5章 座談会 ダム反対運動を振り返る
- ご支援いただいた皆様に 小鶴隆一郎
あとがき 熊本一規



植物誌入門
多様性と生態

岩田好宏著
四六判並製 304頁 3000円
ISBN978-4-8461-1011-6 C0045

☆

本書は、植物を語り手として、植物の立場から、植物の世界を描く。長年にわたる植物観察を通して見えてきた、植物の生きかた、生態、多様性、人間との関わりなどを丁寧に解説。人間が自分勝手に扱っている植物との関わりを、考え直すための1冊。(2010.8)

[内容構成]

- はじめに—私は植物、生きています
- 一章 植物の「生きる」とは
- 二章 植物の光をめぐる争い
- 三章 光合成という生活様式
- 四章 生きかたの発展—生育
- 五章 あらたな世界づくり—陸上生活
- 六章 植物世界の形成
- 七章 農村と植物・人間 その一
- 八章 都市と植物・人間 その二
- 九章 野生生物と生物多様性 その三
- あとがき



野生生物保全事典
野生生物保全の基礎理論と項目

野生生物保全論研究会 (JWCs) 編
A 5 判上製 176頁 2400円
ISBN978-4-8461-0817-5 C0545

*

世界的に多くの野生生物の絶滅が危惧されている。本書は野生生物界の課題を地球環境問題と捉え、10年余りの野生生物保全論研究会の論議をふまえて、それぞれの専門家が新たな保全論と対策を提起。保全実践の進展のための書である。(2008.12)



新・白神山地—森は蘇るか

佐藤昌明著
四六判並製 304頁 2300円
ISBN4-8461-0611-X C0036

☆

青しかし今、白神山地は入山規制問題で大きく揺れ動いている。本書は、青秋林道建設問題の発端から今日までを関係者にインタビューした現地レポート。新版では、第5章を書き下ろし、入山規制問題の推移と入山規制論を批判する。(2006.5、旧版1998.5)



白神山地の入山規制を考える

井上孝夫著
四六判並製 248頁 2200円
ISBN4-8461-9723-9 C0036

*

世界遺産・白神山地は、青秋林道建設の是非に揺れ、また保護のあり方をめぐって論争が続いている。本書は入山規制問題の経緯と背景、自然保護論争を分析、自然保護のあるべき姿を提起する。(1997.12)



緑のダム、の保続
日本の森林を憂う

藤原 信著
四六判上製 232頁 2200円
ISBN978-4-8461-0906-6 C0036

☆*

日本の森林の荒廃の原因は「保続原則」を軽視し、収益性、経済性を追い求めた林野庁の行政にある。治水面、利水面で森林を「緑のダム」としてその公益的機能を再認識し、森林を保続するため、今こそ、ヒトとカネを注ぎ込まなければならない。(2009.6)



なぜダムはいらないのか

藤原 信著
四六判上製 272頁 2300円
ISBN4-8461-0307-2 C0036

*

土建業者のための建設といった無駄があまりに多いダム。地域住民が反対するダム建設はほとんどがそうした代物だ。本書は、「長野県治水・利水ダム等検討委員会」委員などを務め、住民の立場からダム政策を批判してきた研究者による、渾身の力作。(2003.8)



脱ダムから緑の国へ

藤田 恵著
四六判並製 220頁 1600円
ISBN4-8461-0408-7 C0036

ゆずの里として知られる徳島県の人口1800人の小さな山村、木頭村。国のダム計画に反対し、「ダムで栄えた村はない」、「ダムに頼らない村づくり」を掲げて、村ぐるみで遂に中止に追い込んだ前・木頭村長の奮闘記。(2004.5)



ルポ・東北の山と森

自然破壊の現場から

山を考えるジャーナリストの会編

四六判並製 317頁 2400円

ISBN4-8461-9615-1 C0036

*

いま東北地方は、世界遺産の白神山地の自然保護、大規模林道建設やスキー場などのリゾート開発をめくって、保護か開発かで大きく揺れている。本書は東北各地で取材した新聞記者による現場報告！ (1996.9)



セレクトッド・ドキュメンタリー

ルポ・日本の川

石川徹也著

四六判並製 224頁 1900円

ISBN4-8461-9912-6 C0036

*

ダム開発で日本中の川という川が本来の豊かな流れを失い、破壊されて久しい。本書は全国の主なダム開発などに揺れた川、いまでも揺れ続けている川を訪ね歩いたルポ。清流は取り戻せるのか。 (1999.10)



大規模林道はいらない

大規模林道問題全国ネットワーク編

四六判並製 248頁 1900円

ISBN4-8461-9910-X C0036

大規模林道の建設が始まって25年。大規模な道路建設が山を崩し谷を埋める。自然破壊しかもたらさない建設に税金がムダ使いされる。本書は全国の大規模林道の現状をレポートし、不要な公共事業を鋭く告発する。 (1999.8)



セレクトッド・ドキュメンタリー

地すべり災害と行政責任

長野・地附山地すべりと老人ホーム26人の死

内山卓郎著

四六判並製 288頁 2200円

ISBN4-8461-9906-1 C0036

'85年長野市郊外の地附山で、大規模な地滑りが特別養護老人ホームを襲い、26名の死者がでた。行政側は自然災害、天災であると主張したが、裁判闘争によって行政の過失責任が明らかとなる。公共事業と災害を考える。 (1999.6)



環境を破壊する公共事業

『週刊金曜日』編集部編

四六判並製 288頁 2200円

ISBN4-8461-9711-5 C0036

*

公共事業の美名のもとにコンクリート列島と化した日本！ 本書は北海道・二風谷から沖縄・宮古・八重山にわたる各地の環境破壊・生態系軽視の`開発、の実態を報告し、`公共事業、の存在意識を問い直す。『週刊金曜日』好評連載の単行本化。 (1997.9)



政治が歪める公共事業

小沢一郎ゼネコン政治の構造

久慈力／横田一共著

四六判並製 211頁 1900円

ISBN4-8461-9614-3 C0031

政・官・業の癒着によって際限なくつくられる無用の`公共事業、が、列島の貴重な自然を破壊し、国民の血税をゼネコンに流し込んでいる！ 本書は、その黒幕としての`改革者、小沢一郎の行状を明らかにする告発の書！ (1996.8)



ナショナル・トラストへの招待

四元忠博著

四六判並製 296頁 2300円

ISBN978-4-8461-0722-2 C0036

る。写真と地図を満載の格好のガイド。 (2007.12)

[内容構成]

ナショナル・トラストの成立

第一章 オープン・スペース運動の開始

第二章 ナショナル・トラストの成立

第三章 ナショナル・トラスト運動の開始

山岳地帯を歩く

第一章 湖水地方を歩く

第二章 ウェールズ北部山岳地帯を歩く

田園地帯を歩く

海岸線を行く

都市近郊を行く

誕生後110年、ナショナル・トラストは拡大を続け、所有面積はイギリス全体の1.5%に達した。本書は、ナショナル・トラストの成立を概観、山岳地帯、田園地帯、海岸線、都市近郊などの特徴に分け、イギリス各地のトラストを訪ね歩き、その姿を平易に解説す



ナショナル・トラストの軌跡
— 1895～1945年 —

四元忠博著
A 5判上製 296頁 3800円
ISBN4-8461-0309-9 C0036

*

自然保護運動で世界的に有名な英国のナショナル・トラスト。産業革命の進行と共に破壊される自然と歴史的建造物——それらを守る為に立ち上がった3人の先駆者、揺籃期から制度の確立までの歴史 (2003.7)



ナショナル・トラストの誕生

グレアム・マーフィ著／四元忠博訳
A 5判上製 284頁 5000円
ISBN4-8461-9261-X C0530

*

イギリスの美しい山と森林、河川湖沼などの自然的景勝地と古城などの歴史的名勝を保護、公開しているナショナル・トラストとは何か。三人の創立者の生涯、その創立の理念と歴史を描いた初の書。貴重な写真も多数収録。 (1992.10)



ザ・ラスト・グレート・フォレスト
カナダ亜寒帯林と日本の多国籍企業

イアン・アークハート／ラリー・ブラット著
黒田洋一／河村洋訳
四六判上製 472頁 4500円
ISBN4-8461-0106-1 C0061

*

カナダ北西部・アルバータ州北部に広がる世界最大・最後の亜寒帯林。パルプを確保するためこの大森林に目を付けた日本の多国籍企業と抵抗する先住民族や自然保護運動との知られざる戦い。 (2001.4)



検証・リゾート開発
[東日本篇]

リゾート・ゴルフ場問題全国連絡会編
四六判並製 291頁 2400円
ISBN4-8461-9613-5 C0036

リゾート法とバブル景気により、ゴルフ場・スキー場・ホテルの三点セットを軸に、自治体を巻き込み全国で展開されたリゾート開発。本書は全国の開発と環境破壊の実態を総点検し、乱開発中止とリゾート法廃止を訴える。 (1996.7)



検証・リゾート開発
[西日本篇]

リゾート・ゴルフ場問題全国連絡会編
四六判並製 333頁 2500円
ISBN4-8461-9805-7 C0036

リゾート法とバブル景気に乗って全国で展開されたリゾート開発は日本の残された自然を破壊し、また景気の不振によってそれ自体頓挫したものも多い。[東日本篇]に引き続き、静岡以西に広がる乱開発の現状を告発！ (1998.2)



スキー場はもういない

藤原 信編著
四六判並製 421頁 2800円
ISBN4-8461-9483-3 C0036

森を切り山を削り、スキー場が増え続けている。このため、貴重な自然や動植物が失われている。また、人工降雪機用薬剤、凍結防止剤などによる新たな環境汚染も問題化している。本書は初の全国スキーリゾート問題白書。 (1994.7)



自然保護事典
①山と森林 [増補版]

全国自然保護連合編
A 5判上製 411頁 4200円
ISBN4-8461-9606-2 C0530

☆☆

山岳観光道路、スーパー林道、別荘、ゴルフ場、スキー場などのリゾート開発による山地自然破壊——日本の山と森林が直面している破壊の実態と保護の方法を考える事典。増補版は、最新情報を追加。 (1996.4、旧版 1987.8) (品切れ中)



自然保護事典
②海

全国自然保護連合編
A 5判上製 500頁 5000円
ISBN4-8461-9594-5 C0530

☆☆

東京湾、瀬戸内海、白保のサンゴ礁、蒲生・藤前干潟など、北海道から沖縄まで日本の海・湾・海岸・干潟が直面している汚染、自然破壊の惨状を多角的に照射し、保護の現状と未来を豊富な図表と資料を駆使して考える事典 (1995.8)



**セレクトド・ドキュメンタリ
エイリアン・スピーシーズ
在来生態系を脅かす移入種たち**

平田剛土著
四六判並製 267頁 2200円
ISBN4-8461-9914-2 C0045

自然分布している範囲外の地域に人が持ち込んだ種を移入種という。アライグマ、マンガース、ブラックバスなどの移入種によって従来の生態系が影響をうけている。本書は北海道から沖縄まで移入種問題を追い、その対策を考える。(1999.12)

[内容構成]

- 第1章 食害される島
- 第2章 リュウキュウヤマガメの憂鬱
- 第3章 水面下の攻防戦
- 第4章 野生化するペット
- 第5章 裏目に出た「天敵導入」
- 第6章 野生のサケはどこにいる？
- 第7章 希少ワシを空に放て
- 第8章 移入種が脅かす日本の生物多様性エビロゲ



本州のクマゲラ

藤井忠志著
四六判並製 204頁 1800円
ISBN4-8461-9913-4 C0045

白神山地など東北地方のブナ林に生息する本州のクマゲラは天然記念物で希少種でもあり、自然の豊かさのシンボルである。この生態がほとんど知られていないクマゲラを豊富なフィールドワークに基づきやさしく解説する。(1999.10)

*



大雪山のナキウサギ裁判

大雪山のナキウサギ裁判を支援する会編
四六判並製 320頁 2400円
ISBN4-8461-9712-3 C0036

北海道の大雪山国立公園は、日本で稀少な原生的自然が残り、氷河期の生きの残りといわれるナキウサギの日本最大の生息地である。そこが無用な道路建設計画により危機に瀕している。本書は生態系保護、生物多様性の保護がいかに大切かを訴える。(1997.5)



検証・カネミ油症事件

川名英之著
四六判並製 352頁 2500円
ISBN4-8461-0422-2 C0036

カネミ油症事件は、1968年に北九州一帯でダイオキシン類に汚染された米ぬか油を食べた約1万4000人が健康被害を訴えた一大食品公害事件である。本書は、カネミ油症事件を綿密に調査、検証して、国が被害者を積極的に救済することを強く訴える。(2005.1)

[内容構成]

- 第一章 衝撃的な工事ミスの真相
- 第二章 油症の大発生と認定行政
- 第三章 前兆見逃した農林・厚生省
- 第四章 油症患者掘り起こし運動
- 第五章 流れを変えた高裁・最高裁
- 第六章 過酷な仮払金返還要求
- 第七章 被害者をどう救済するか

出典注記

参考文献

カネミ油症事件関連年

あとがき

*



**カネミ油症
過去・現在・未来**

カネミ油症被害者支援センター・編著
A5判並製 176頁 2000円
ISBN4-8461-0607-1 C0036

水俣病研究の第一人者、原田正純、疫学の第一人者、津田敏秀、人権派弁護士として著名な保田行雄らが、油症事件を専門的立場から分析。いかに被害者の人権が踏みにじられ、理不尽な状態に置かれているかを明らかにし、国の早急な救済を求めている。(2006.4)

*



**新・水俣まんだら
チッソ水俣病関西訴訟の患者たち**

木野茂・山中由紀著
四六判上製 376頁 2800円
ISBN4-8461-0116-9 C0036

水俣病のため貧しくとも豊かな故郷を離れざるを得なかった人たちが、第二の人生を目指した途端に水俣病を発病する。見知らぬ地で病氣と差別に耐えた末に、初の県外訴訟となったチッソ水俣病関西訴訟の患者たちの人生と闘いの記録。(2001.1)

☆*



水俣病闘争の軌跡

黒旗の下に

池見哲司著
四六判並製 361頁 2400円
ISBN4-8461-9617-8 C0036

*

空前の規模の深刻な被害を発生させ、公海上に特筆される水俣病。その責任を問い、「怨」の黒旗の下に水俣病闘争を担った川本輝夫ら患者や支援者の闘いを軸に、その闘争の全軌跡を克明な取材で描いた注目の書。(1996.9)



埋立問題の焦点

志布志国家石油備蓄基地と漁業権

熊本一規著
四六判上製 285頁 2500円
ISBN4-8461-8623-7 C0036

美本なし

鹿児島県志布志湾に石油備蓄基地を建設する不法・不当性を、公有水面埋立法や漁業法に照らして詳細に検討し、さらに、これまでの臨海開発、埋立問題で見落とされてきた埋立と漁業権の関係について画期的理論を展開する。(1986.7)



ドキュメント クロム公害事件

川名英之著
四六判上製 252頁 1800円
ISBN4-8461-8308-4 C0036

*

「オレはクロムに食われる。——悲痛な叫びを家族に残して死んでいくクロム職業がんの労働者。発がん物質のクロム鉍滓不法投棄の発覚から日本最大の労災職業病裁判となった日本化学工業クロム公害事件の勝利までの記録。(1983.5)



水戦争

琵琶湖現代史

池見哲司著
四六判上製 310頁 1900円
ISBN4-8461-8205-3 C0036

*

水盗りと赤潮により瀕死の湖と化した近畿1300万人の「水がめ、琵琶湖を、一貫して取材してきたジャーナリストが、国・自治体・企業・政党・住民の錯綜した「水戦争」を克明にレポート。水問題の入門書として最適！(1982.8)



『検証・カネミ油症事件』書評 使命感がひしひしと伝わってくる

わが国最大の食品公害事件であるカネミ油症事件は、発生から37年もたつのに、今も後遺症に苦しむ人々が多いなど、解決していない。本書は事件の全貌を丹念に描いていく。

事件が深刻化した理由はなにより、加害企業が食用油にポリ塩化ビフェニール（PCB）を混入させた工事ミスを長く隠したこと、誤った原因説から始まった裁判で見当外れの審理が続いたことだ。いち早く副産物のダーク油を飼

料としたニトリが多数死んでいたのに、行政が深く究明しなかった点も挙げられる。さらにはPCBの熱処理産物で原因物質となったダイオキシンの解明も遅れた。

しかも被害者は、第二審で勝訴しながら最高裁での和解によって仮払金の返済が求められていて、三重四重の不幸な立場にある。行政、司法の不手際が生んだこの悲劇に、政治が救済の手をさしのべるべきだというのが著者の主張だ。この本を書いた使命感がひしひしと伝わってくる。

●『朝日新聞』05年3月13日朝刊より。



『カネミ油症 過去・現在・未来』書評 市民が独自に集めた貴重な資料集

1968年、北九州を中心に発生した食品公害事件の後遺症は今なお続く。1万4000人以上が被害を訴えたが、認定されたのは約1900人。

原因はダイオキシンだったとあとで分かる。市民団体の聞き取り調査で乳がん、子宮内腺症など数多くの症状が出ているが、国家的な調査はない。市民が独自に集めた貴重な資料集だ。

●『毎日新聞』06年5月22日朝刊より。

ごみ問題を考える



ダイオキシンは怖くないという嘘

長山淳哉著
四六判上製 262頁 1800円
ISBN978-4-8461-0715-4 C0036

汚染対策を強く求める国民の声に押されて、議員立法でダイオキシン対策法が成立、国もようやくここ10年、ダイオキシン対策に取り組んできた。ところが一方で、ダイオキシンは恐くない、といった論調の本が次々と出版され、新聞までもが好意的な評価を加え

る事態となっている。このままでは、ダイオキシン問題をミスリードしかねない。

本書は、ダイオキシンは恐くない、環境ホルモン問題は空騒ぎ、ダイオキシン法は悪法という論者たちがいかに科学的に間違っているかを明らかにする。(2007.10)

【内容構成】

ダイオキシンは空騒ぎか
ダイオキシンは神話か
ダイオキシン専門家は嘘つきか
ある名誉毀損裁判



実は危険なダイオキシン 『神話の終演』の虚構を衝く

川名英之著
四六判上製 392頁 2600円
ISBN978-4-8461-0717-8 C0036

ダイオキシンに関する、非科学的で根拠のない言説が蔓延し、これらの言説がダイオキシン被害者を傷つけ、ゴミ問題に取り組む人々を中傷、マスコミや行政に悪影響を与えている。本書は、『ダイオキシン 神話の終焉』に代表される言説の誤りを指摘、ダイオキシ

ン対策の重要性を説き、国のゴミ焼却政策の転換を求める。(2007.12)

【内容構成】

- ①「焼却炉対策は無意味」は間違い
- ②「汚染の主犯は農業」は疑問
- ③「焼却も塩ビも問題なし」の嘘
- ④政府のダイオキシン対策と市民運動
- ⑤「ダイオキシンは安全」は嘘
- ⑥新聞が「ダイオキシンは安全」を増幅
- ⑦「ダイオキシンで死なない」の嘘 (※討論会での抗議と研究者のモラル)
- ⑧急ぐべきゴミ焼却政策の抜本改革



崩壊したごみリサイクル 御殿場RDF処理の実態

米山昭良著
四六判並製 264頁 2000円
ISBN4-8461-0407-9 C0036

ごみを燃料にしてリサイクルできれば素晴らしいことだ。自治体が収集する可燃ごみを固形燃料に変換するという、ごみ固形燃料化施設=RDFが全国で稼働している。この夢のごみリサイクルが、ひどい欠陥施設であることが明らかになってきた。

本書は、早くからRDFの導入にふみきつた、静岡県御殿場市と小山町のごみ騒動——企業の甘言に乗った建設から度重なる故障・事故、そして自治体による建設企業の告訴——を現地報告する。(2004.6)

【内容構成】

- 序 章
第1章 ごみ固形燃料（RDF）処理に決定
第2章 夢の施設から地獄の施設へ
第3章 ごみ処理行脚
第4章 高騰し続ける維持・管理費
第5章 捏造された技術評価書
第6章 生産すれど使い道なしのRDF
第7章 混迷する企業体との交渉
第8章 第三者機関に検証を委ねる
第9章 RDF生産・燃焼施設の設置に異議あり
第10章 ごみ処理——原点に戻る
第11章 そして提訴へ
第12章 RDFがもたらしたもの



検証・ガス化溶融炉 [増補版]
ダイオキシン対策の切札か

津川 敬著
四六判並製 248頁 2000円
ISBN4-8461-0412-5 C0036

日本は、世界の流れに逆行してダイオキシン対策として大型ごみ焼却炉の大量建設、24時間連続焼却という政策を打ち出した。その切札として脚光を浴びたのが、ガス化溶融炉だ。導入後のトラブル、事故の検証を通して問題点を指摘、ごみ政策を問う。最新動向を増補改訂！ (2004.8)

[内容構成]

序章 厚生省のごみ処理広域化計画とガス化溶融炉
第1部 主要メーカーの技術を検証する
第1章 トップランナーの威信——新日鉄

第2章 二番手企業、市場戦略——NKK
第3章 技術評価書第一号の重み——三井造船
第4章 わが社こそ主流——荏原製作所
第5章 ごみからガスをつくる——川鉄サーモセレクト
第6章 十七年目の再挑戦——月島機械
第二部 ごみ処理広域化・大型化に揺れる郷土と住民
第1章 港湾と鉄の町で——北海道室蘭市
第2章 厚生省が仕掛けた？ 広域化計画——大阪府能勢町
第3章 産炭地の疲弊と溶融炉建設——福岡県田川市
第4章 「PFI事業」がもたらす混迷——千葉県君津市・福岡県大牟田市
終章 何が問題なのか



プロブレムQ&A
教えて!ガス化溶融炉
[これでごみ問題は解決か]

津川 敬著
A5判並製 212頁 1900円
ISBN4-8461-0118-5 C0336

ダイオキシン対策の名分で、超大型ゴミ焼却炉のガス化溶融炉が今猛烈な勢いで全国で建設されようとしている。分別しなくてもOKというのだが、これがとんでもない欠陥品なのだ。なんとも難しそうな名前だが、この一冊で問題点をやさしく解説する！ (2002.1)

[Qの例]
なぜ今ごみ溶融。で、「ガス化溶融炉」なのですか
ごみの焼却とごみの溶融では何がどう違うのですか
* ガス化溶融炉の原理と仕組みを教えてください
ガス化溶融炉でダイオキシン問題は解決するのですか
ごみ処理は市町村の固有事務なのになぜいま広域化なのですか
大型ごみ焼却施設の建設および運転のコストはどうなっていますか
ごみ問題を解決するには



どう創る循環型社会
ドイツの経験に学ぶ

川名英之著
四六判並製 280頁 2000円
ISBN4-8461-9903-7 C0036

ゴミ問題が深刻化し、ダイオキシン汚染が世界最悪の事態になる一方、「循環経済・廃棄物法」を制定したドイツは、廃棄物政策先進国として注目を集めている。循環型社会へと向かうドイツの政策に学びながら、日本でどう創るかを考える。 (1999.8)



杉並病公害

川名英之・伊藤茂孝著
四六判上製 320頁 2500円
ISBN4-8461-0217-3 C0036

閑静な住宅が広がる東京杉並区に不燃ごみ圧縮施設「杉並中継所」が稼働。直後から付近一帯で原因不明の呼吸困難、頭痛などの被害が多発、死亡者まで出る騒ぎとなった。だが都は施設を発生源と認めず、住民は闘いに立ち上がる。本書はその記録 (2002.12)



所沢ダイオキシン報道

横田 一著
四六判並製 204頁 1800円
ISBN4-8461-0015-4 C0036

テレビ朝日の「所沢ダイオキシン報道」ぐらい批判・バッシングされた報道は近年あるまい。本来、野放しの焼却施設が撤去されるべきなのに、安全宣言が出されうやむやにされて、汚染は深刻化している。本書は汚染隠しの問題点を総点検する。 (2001.1)



検証・ダイオキシン汚染

川名英之著
四六判並製 408頁 2500円
ISBN4-8461-9813-8 C0036

☆*

ダイオキシンは、発がん性、催奇形性等を持ち、健康被害を発生させるのに、日本では対策をとらず、13年間も無為無策に終始した。このためゴミ焼却によるダイオキシン汚染は世界最悪の状況といえる。現状を総括し、緊急対策を提言。(1998.6)



ダイオキシン汚染地帯 所沢からの報告

横田 一著
四六判並製 204頁 1600円
ISBN4-8461-9820-0 C0036

全国一のダイオキシン汚染地帯となった埼玉・所沢市一帯。産廃業者のゴミ焼却や清掃工場の排煙が住民を襲い、流産・奇形児出産の多発、アトピー・喘息の拡大、ガン死の増加など、放置できない状態だ。本書はその汚染をルポし、環境対策を提言。(1998.11)



ゴミ問題の焦点 [増補版] フェニックス計画を撃つ

巨大ゴミの島に反対する連絡会編著
四六判上製 267頁 2200円
ISBN4-8461-9045-5 C0036

☆*

「ゴミ危機」に揺れる日本。その争点と課題は何か。廃棄物処理法の改正はどうあるべきか—本書は新稿を加え、ゴミ問題の争点を明らかにし、疑問に答え、解決策を提示する格好の入門書。(1990.12、旧版 1985.2)



『ダイオキシンは怖くないという嘘』紹介 ダイオキシンの怖さ

ダイオキシンの摂取による世界初の食品公害事件であるカネミ油症事件は1968年に起きた。このとき、九州大大学院医学研究院の准教授の長山淳哉さん(60)は、まだ同大の学生だった。

大学生になっていた74年、長山さんはカネミ油症の原因となった米ぬか油からダイオキシン類の一種、ポリ塩化ジベンゾフラン(PCDF)を検出し、油症の真の原因物質を突き止めた。これを原点に、現在は環境分子疫学が専門だ。

その長山さんが「ダイオキシンは怖くないという嘘!」(緑風出版)を出版した。

欧米に比べて立ち遅れたわが国もようやくこの10年、ダイオキシン対策に取り組んできた。だが、このところ「ダイオキシンは空騒ぎ」といった論調の本や報道が相次ぐ。その中心的な

論客たちの主張を詳細に分析し、徹底的に反論している。

欧州連合(EU)は01年、最新の知見を採用し、ダイオキシンの耐容摂取量をより厳しくした。そんな世界の流れに逆行するような国内の論調への危機感から筆をとった。「ダイオキシンはあくまで象徴的な事例であり、その向こう側にある問題を知ってほしい」と長山さんはいう。

長山さんの論争相手は、いずれも国の科学研究の方向づけに影響をもつ著名な学者である。収録された議論の応酬からは、環境問題に取り組む科学者の姿勢の違いが鮮明に浮かび上がる。

この国の行方を考えるためにも、ぜひ一読をすすめてい。

(評者: 大矢雅弘「窓・論説委員室から」欄)

●『朝日新聞』08年1月9日夕刊より。

電磁波問題を考える



携帯電話でガンになる!? 国際がん研究機関評価の分析

電磁波問題市民研究会編著
四六判並製 240頁 2000円
ISBN978-4-8461-1212-7 C0036

2011年5月31日、WHO（世界保健機関）の研究機関であるIARC（国際がん研究機関）が、携帯電話電磁波を含む高周波電磁波（場）を「2B」、すなわちヒトへの発がんリスクの可能性あり、と評価すると発表した。この評価は少なくとも安全だとはもう言えない内容で、高周波電磁波の非熱作用を認めた点でも、これまでの携帯電話業者や政府の見解を否定するものであった。

スマートホンの爆発的普及、全国的な携帯基地局の増加などにより、私たちの身の回りには電磁波が飛び交い、健康影響を訴える人たちが急増している。本書はWHO評価の内

容と意味を詳しく分析し、携帯電話の電磁波問題への対処について提起する。（2012.7）

[内容構成]

はじめに（大久保貞利）

第一章 高周波の健康影響を考えるために（上田昌文）

第二章 電磁波リスク論の枠組みを検討し、構築する（上田昌文）

第三章 「発がん可能性あり」（2B）の評価について（植田武智）

第四章 海外ではどう反応し、どう対処したか（矢部武）

第五章 携帯電話基地局からの高周波電磁波（大久保貞利）

第六章 新しい技術で増える電波（網代太郎）

第七章 電磁波障害に医学は何か出来るか（宮田幹夫）

第八章 携帯電話・電磁波に対して市民・行政は何か出来るか（網代太郎）

[コラム] 藤井佳朗／石川雅彦



電磁波過敏症を治すには

加藤やすこ著
四六判並製 208頁 1700円
ISBN978-4-8461-1115-1 C0036

電磁波過敏症は環境因子が原因であり、個人でできることと、社会全体で取り組まねばいけないことがある。次世代の子どもと環境を守り、社会システムを作るための働きかけが必要だ。本書は、電磁波過敏症の当事者からの体験談も含め、どうすれば治すことがで

きるかを具体的に提案。（2011.11）

[内容構成]

第一章 過敏症ってどんな病気？

引き金は生活環境の中に／過敏症に関する海外の動向／過敏症専門医の見解

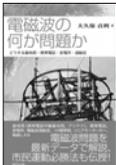
第二章 電磁波による子どもへの影響

電磁波による胎児への影響／電磁波と化学物質／脳神経科学から見た発達障害／原発事故の影響と基準値の欺瞞

第三章 八人の過敏症体験

第四章 症状を改善するために

自分で出来る対策／交通機関の携帯電話電磁波／携帯電話基地局の規制が必要



電磁波の何が問題か

どうする基地局・携帯電話・変電所・過敏症

大久保貞利著
四六判並製 224頁 2000円
ISBN978-4-8461-1015-4 C0054

電磁波の危険性が明らかになるにつれて、全国で電磁波の規制を求める市民の声が高まっている。

本書は、基地局（携帯電話中継基地局、アンテナ）、携帯電話、変電所、電磁波過敏症、IH調理器、リニアモーターカー、無線LAN

N、等々の問題を、最新のデータに基づき、詳しくかつ具体的に紹介し、特に基地局問題を徹底的に明らかにする。また、市民運動のノウハウ、必勝法も解説する。（2010.11）

[内容構成]

第I章 基地局問題とは何か

第II章 携帯電話を巡る問題について

第III章 変電所はなぜ危ないのか—極低周波発生源の問題

第IV章 電磁波過敏症って何だ

第V章 リニアモーターカー、オール電化（IH調理器）、無線LAN、スカパーアンテナ
おわりに—電磁波に予防原則を



**プロブレムQ&A
危ないオール電化住宅 [増補改訂版]**
〔健康影響と環境性を考える〕

加藤やすこ著
A 5判変並製 140頁 1500円
ISBN978-4-8461-1104-5 C0336

テレビでも話題のオール電化住宅は、本当に快適で、環境にもやさしい？ 本書は電磁波過敏症の著者が、IH調理器、電子レンジ、電気温水器・床暖房、太陽光発電などを具体的に調査し、健康被害の実態を明かし好評の既刊を増補改訂。(2011.6、旧版2007.6)

[Qの例]
オール電化住宅とは、どのような家なのか？
IH調理器はどのようにして調理をするのですか？
電気床暖房からも、強い電磁波が発生しているのですか？
オール電化住宅は、本当に経済的で光熱費を抑えられるのですか？
太陽光発電で具合が悪くなった人はいるのですか？
環境に負荷をかけず、快適に利用できる暖房器具はありますか？



**プロブレムQ&A
電磁波・化学物質過敏症対策**
〔克服するためのアドバイス〕

加藤やすこ著、出村 守監修
A 5判変並製 188頁 1700円
ISBN4-8461-0418-4 C0358

私たちの暮らしは電磁波、化学物質に囲まれている。そのための汚染は電磁波過敏症、化学物質過敏症などの新しい病を急増させている。本書は、自ら電磁波過敏症の著者が、そのメカニズムと対処法を、医者監修のもと分かりやすく、丁寧に解説。(2004.11)

[Qの例]
化学物質過敏症とはどんな病気ですか？
「電磁波過敏症」とはどんな病気ですか？
電磁波に被曝するとカルシウムが不足するのでしょうか？
過敏症に効果のある代替医療には、どんなものがありますか？
化学物質過敏症になると、食物アレルギーにもなりやすいのですか？
低周波電磁波の被曝を防ぐにはどうしたらいいのですか？
外出する際は、どのような電磁波、化学物質対策をすればいいですか？



電磁波過敏症

大久保貞利著
四六判並製 216頁 1700円
ISBN4-8461-0521-0 C0036

電磁波過敏症は、日本ではほとんど知られていないが、患者は現に存在し、非常に苦しんでいる。本書は、世界で最も権威のある電磁波過敏症治療施設、米国のEHC-D(グラス環境医学センター)を訪問し、何人もの過敏症患者に接した体験をもとに、電磁波過

敏症について、やさしく、ていねいに解説。家庭や職場の内外を電磁波が常に飛びかう今日、誰もがかかる可能性のある過敏症を知る上で、貴重な本だ。(2005.12)

*** [内容構成]**

- 第1章 電磁波過敏症の実態
- 第2章 米国の過敏症治療最前線～グラス環境医学センター(EHC-D)～
- 第3章 過敏症に理解のある医師の 見方
- 第4章 ある過敏症患者の格闘記
- 第5章 電磁波過敏症のまとめと対策
- 終章 最近の電磁波事情概説



暮らしの中の電磁波測定

電磁波問題市民研究会編著
四六判並製 224頁 1600円
ISBN4-8461-0615-2 C0036

デジタル家電、携帯電話、地デジ、パソコン、無線LAN……家の中はオール電化状態。現代の暮らしは、一見、便利に見えるが、目に見えない電磁波を大量に浴びる生活だ。電磁波による人体への影響は、まだはっきりわからないことが多いが、電磁波過敏症から脳

腫瘍、ガンまでさまざまな悪影響が出ている。本書は、日常生活の中の様々な機器の電磁波を最新の測定器で実際に測定し、その影響と対策を検討している。(2006.8)

*** [内容構成]**

- 第一章 身近にある電磁波とその問題
- 第二章 電磁波とは2
- 第三章 日々の生活で接する電磁
- 第四章 様々なところで電磁波を計測
- 第五章 電磁波の問題
- 第六章 電磁波過敏症とは
- 終章 電磁波とのつきあい方



告発・電磁波公害

松本健造著
四六判並製 296頁 1900円
ISBN978-4-8461-0714-7 C0036

WHOの超低周波新指針が発表され、慢性曝露の危険性の指摘など、規制が強化されたのに対し、日本政府の規制はおざなりで、野放し状態。しかし現実には、電磁波過敏症がますます増加、職場では労災問題を引き起こしている。WHOの委託で始まった超低周波

に関する日本の疫学調査は、衝撃的な内容から政府によって葬られた。本書は誰も書かなかった真実を告発する渾身のルポ。(2007.9)

【内容構成】

- 第1章 現場からの報告その1(超低周波編)
- 第2章 現場からの報告その2(電磁波過敏症)
- 第3章 現場からの報告その3(労働現場)
- 第4章 空白の25年 日本初の疫学調査の光と影
- 第5章 疫学調査とは何か 欧米と日本の違い
- 第6章 電磁波から自衛へ
- 第7章 予防原則へ向けて



健康を脅かす電磁波

荻野晃也著
四六判並製 276頁 1800円
ISBN978-4-8461-0705-5 C0036

電磁波による影響には、白血病・脳腫瘍・乳ガン・肺ガン・アルツハイマー病が報告され、ノイローゼや自殺も関係があるといわれている。にもかかわらず携帯電話、家電製品、IHクッキング・ヒーターからオール電化住宅、など、電磁波発生源が、私たちの身の

回りに溢れている。日本ほど電磁波が問題視されていない国はない。悪影響が証明されてからでは遅すぎる。本書は、健康を脅かす電磁波問題を、その第一人者がやさしく解説する。(2007.4)

【内容構成】

- I 電磁波と健康
- II 電磁波の強度と測定方法
- III 携帯電話・タワーの電磁波
- IV 電気製品・送電線の電磁波
- V 私たちに何ができるのか?
- VI 電磁波被曝防護の規制は?



プロブレムQ&A ユビキタス社会と電磁波 【地デジ・ケータイ・無線LANのリスク】

加藤やすこ著
A5判並製 196頁 1800円
ISBN978-4-8461-0723-9 C0336

地上デジタル放送開始で、何が変わるのか? ユビキタス社会とはどんな社会なのか? 本書は、機器・施設ごとの問題点を解明し、電磁波が我々の健康に及ぼす影響を検証する。また、海外の最新情報や疫学調査も取り上げ、健康被害から立ち上がった住民の

反対運動や裁判も紹介する。我々の近未来社会を考えるための読本。(2008.2)

【Qの例】

- 地上デジタル放送の開始によって何が変わるのですか?
- 総務省が掲げる「u-Japan計画」とは何ですか?
- 野鳥や動物にも電磁波は影響を与えているのでしょうか?
- 携帯電話基地局の稼働後、健康被害が起きている地域はありますか?
- 電磁波が増え続ける現状で、健康を守るにはどうしたらいいですか?



プロブレムQ&A 危険な携帯電話 [増補改訂版] 【それでもあなたは使うの?】

荻野晃也著
A5判並製 232頁 1900円
ISBN978-4-8461-0718-5 C0336

誰もが持っている携帯電話の高周波電磁波は電子レンジに頭を突っ込んでいるほど強いもので、脳腫瘍の危険が極めて高い。本書は、政府や電話会社が否定し続けている携帯電話と電波塔の危険をやさしく解説する。最新データで大幅増補 (2007.11)



『危険な携帯携帯電話』書評 携帯電話はあなたの脳を料理する

イギリスの有名紙『サンデータイムズ』に、「危険・携帯電話はあなたの脳を料理する」という記事が出た。携帯電話は小型の電子レンジと同

じで、脳腫瘍などの原因となるというブラックユーモアである。しかし携帯電話は日本中にあふれ、政府は無策。Q&Aで二十一世紀の公害・電磁波の危険性を、詳細・明解に解き明かす。(後略)

●『中日新聞』2002年11月17日付。



誰でもわかる電磁波問題

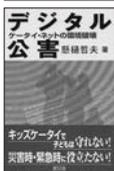
大久保貞利著
四六判並製 240頁 1900円
ISBN4-8461-0218-1 C0054

政府や電力会社などがいくら安全と言っても、携帯電話や電子レンジなどの高周波、送電線やパソコン、電磁調理器などの家庭電器製品からの極低周波による、発がんや脳腫瘍など電磁波の危険性が社会問題化している。本書は、電磁波問題のA B Cから携帯タワー

高圧送電線反対の各地の住民運動、脳腫瘍から電磁波過敏症まで、やさしく解説する。
(2002.10)

【内容構成】

- ☆ 第1部 イントロダクション
- 第2部 高周波問題
- 第3部 極低周波問題
- 第4部 電磁波過敏症
- 第5部 暮らしの中の電磁波問題



デジタル公書 ケータイ・ネットの環境破壊

懸樋哲夫著
四六判並製 200頁 1700円
ISBN978-4-8461-0807-6 C0036

世の中が「デジタル」化している。テレビや携帯電話もデジタルになり、図書館の本にはICタグがつけられ、タグはすべての商品に拡大されようとしている。こういった社会は電磁波の氾濫に加え、情報が管理されやすく、また膨大な廃棄物が発生するなど様々な

問題を孕んでいる。本書は急激なデジタル化の問題点を様々な角度から捉え、本当に必要なものは何かを問う。
(2005.12)

【内容構成】

- * 第1章 デジタル電磁波は危ない？
- 第2章 暮らしの変化と混乱
- 第3章 子どものこころ
- 第4章 携帯電話は災害時・緊急時に役立つか
- 第5章 環境汚染
- 第6章 平和を脅かすケータイ
- 第7章 暮らしとコミュニケーション



新東京タワー 地デジとボクラと、ドキドキ電磁波

網代太郎著
四六判並製 272頁 2000円
ISBN978-4-8461-0711-6 C0036

高さ610メートルで「世界一」といわれる新東京タワー。そこからの電磁波の影響が懸念される。本書は、建設予定地近くに住むジャーナリストが、タワーの問題点を総ざらえ。本当に必要か、安全か、そして地域の活性化に役立つのかを総点検。
(2007.8)



高圧線と電磁波公害 [増補改訂版]

高圧線問題全国ネットワーク編
四六判並製 280頁 2200円
ISBN4-8461-9709-3 C0054 ☆

パソコンや携帯電話・PHSの電磁波の身体への影響が問題となっている。また超高圧送電線下では子供に大きな影響がでるといふ。がん発生率増加を明らかにしたカロリンスカ研究所報告全文掲載の旧版に最新情報を増補・改訂
(1997.7)



『電磁波・化学物質過敏症対策』書評 都会で暮らすあなたには必読

近年、新しい病として注目されている電磁波と化学物質による過敏症のメカニズムを検証し、その対処法も紹介する。頭痛や皮膚疾患、めまいや呼吸困難など、さまざまな症状を引き起こす過敏症だが、現状では診断基準や治療法が厚生省に認められていないため保険診療が受けられず、患者は高額な負担に苦しめられている。過敏症にならないためには、体内に電磁

波や化学物質がたまらないようにすることが大切。本書では、脂肪を燃焼させて有害物質を排出する効果がある「ファスティング」と呼ばれる短期間の断食法や、重曹と塩を2カップずつ風呂に入れる入浴法、さらには、「ホメオパシー」などの代替療法を受けられる病院ガイド、家の外から進入する電磁波を遮断するための窓用シールドクロスなどのグッズも紹介。電磁波や化学物質があふれる都会で暮らすあなたには必読の一冊だ。

●『日刊ゲンダイ』2004年11月23日付。



電磁波汚染と健康

ザミール・P・シャリタ著 荻野晃也・出村守・山手智夫監修、加藤やすこ訳
四六判上製 376頁 2700円
ISBN4-8461-0401-X C0054 *

家電機器や、送電線などによる電磁波汚染は、ガンや電磁波過敏症まで、様々な病気を生む。本書は、体を蝕む電磁波汚染のメカニズムを解説。環境汚染のなかで暮らしていくために、食事療法からサプリメントの摂取まで、具体的に提案。(2004.5)



電磁場からどう身を守るか

エレン・シュガーマン著
天笠啓祐他訳
四六判並製 310頁 2200円
ISBN4-8461-0005-7 C0054 ☆

送電線、家電製品などがつくり出す電磁場の被曝によって、ガンなどが引き起こされることは欧米では常識に近い。本書は、ガン発生のメカニズムを解説、電磁場から身を守る方法を具体的に提案。(2000.4)



電力線電磁場被曝 隠蔽する電力会社と政府

ポール・ブローダー著/
荻野晃也監訳
四六判上製 356頁 2400円
ISBN4-8461-0115-0 C0054

電力線の電磁場によるガンなどの多発が欧米で大問題になり、これを根拠がないとして抑え込もうとする電力会社・政府と市民の攻防が広がっている。本書は、アメリカの著名な科学ジャーナリストが、電力線電磁場被曝を告発した名著。(2001.11)



死の電流

ポール・ブローダー著
荻野晃也監訳/半谷尚子訳
四六判上製 440頁 2800円
ISBN4-8461-9901-0 C0054

高圧線やVDTから発する電磁波はガン発生等健康への脅威だ——告発する科学者と隠蔽する米国政府・産業界との闘い。科学ジャーナリストである著者が電磁波の危険性を世界に先駆けて提起した衝撃のノンフィクション。(1999.3)



【プロブレムQ&A③】 電磁波はなぜ怖いのか [増補改訂版] [暮らしの中のハイテク公書]

天笠啓祐著
A 5判変並製 181頁 1700円
ISBN4-8461-9609-7 C0336 ☆*

電磁波でガンになる!? 家庭や職場、大気中に飛びかう電磁波がトラブルを起こしている。電子レンジ、携帯電話・PHS、OA機器の人体への影響は? 医用機器、AT車などの誤動作との関係は? 最新情報を増補・改訂。(1996.5、旧版1993.10)



『電力線電磁場被曝』書評 愚かだと言ってすむうちはまだよい

電磁場がガンなどの健康障害を引き起こす。ニューヨーク誌で、この問題の原点ともいえる「メドー通りの悲劇」を告発した人物が、本書の著者であり、ジャーナリストのポール・ブローダーであった。(中略)

本書は、メドー通りの悲劇のほかに、スレーター小学校での出来事の推移をたどる形で進行していく。電磁場とがんとの関連を具体的に追求するだけでなく、それを否定する電力会社や御用学者と対決した一冊でもある。メドー通りは、コネティカット州ギルフォードにある小さな通りである。そこに巨大な変電所がたち、その変電所に向かって高圧送電線が走っている。それらがつくり出す電磁場が、住む人たちに、脳腫瘍などのがんを多発させていた。(中略)

もう一つの報告は、カリフォルニア州からで

ある。同州フレズノにあるルイス・N・スレーター小学校で、教職員が相次いでがんやその他の病気に冒されていた。学校から見上げるとエマーソン通りを2本の高圧送電線が走っており、それがつくり出す電磁場が原因であった。(中略)

このような告発に対して、電力会社や行政は、電磁場とがんとの関係を否定し、危険性を隠蔽しようとする。それをバックアップしているのが、御用学者である。その隠蔽に対して、筆者の筆先は向かっていく。

本書では、「慎重な回避」策を求める住民と、それを「根拠がない」として否定する行政や企業との間の、激しいせめぎ合いを詳細に伝えていくが、最後に著者は、子どもの健康を守る政策を実行しないことは「愚かだと言ってすむうちはまだよいが、そのうち最悪の場合は犯罪に匹敵する愚行となる」と指摘する。

●『図書新聞』2002年1月より抜粋。

生命操作と バイオハザードを考える



遺伝子操作時代の権利と自由 なぜ遺伝子権利章典が必要か

シェルドン・クリムスキー、ピーター・ショ
レット著／長島功訳
四六判上製 420頁 3000円
ISBN978-4-8461-1217-2 C0036

遺伝子操作が生命の網にどのような影響を及ぼすことになるかは全く分らないし、遺伝子組み換え生物は、いったん環境に入れば、取り除くことはできないし、人類と生命圏全体に新たなリスクを及ぼす。人間の遺伝子操作は、個々人と彼らの子孫の健康に新たな脅威を作り出し、人権、プライバシーおよび人間の尊厳を危険にさらす恐れがある。

にもかかわらず科学、医学、企業、政府の各機関は、遺伝子操作を推進し、病気を治し飢える人を養うという約束の美名の下に、生命が急速に特許化されて商業の対象となっている。

本書は、私たち人間の権利と人格的完全性と地球の生物学的完全性を保護するために、遺伝子革命の社会的・生物学的意味を評価し、その応用を民主的に制御するために、遺伝子権利章典を提案する。(2012.10)

【内容構成】

- 第1部 生物多様性
- 第2部 生命特許
- 第3部 遺伝子組み換え食品
- 第4部 環境中の遺伝毒性物質
- 第5部 優生学
- 第6部 遺伝的プライバシー
- 第7部 遺伝子差別
- 第8部 無実を証明するDNAの証拠
- 第9部 出生前の遺伝子改変



生命(いのち) 人体リサイクル時代を迎えて

山口研一郎 編著
A 5判並製 256頁 2400円
ISBN978-4-8461-1014-7 C0036

現代医療は、先端医学の発展で「生命の操作」にまで及び、「神」の領域に踏み込みつつある。本書は、5人の専門家が、現在置かれている生命の状況を踏まえ、医療のあり方、国や企業の動き、生命観、宗教観など、人体リサイクル社会の問題点を議論。(2010.12)

【内容構成】

- はじめに 山口研一郎
- 第1章 人体リサイクル社会の行き着く果て 山口研一郎
 - 第2章 健康幻想(ヘルシズム)と優生思想 八木晃介
 - 第3章 いのちへの作法 最首悟
 - 第4章 生命(いのち)観変貌の社会史 天笠啓祐
 - 第5章 いのちの否定——宗教による戦争と差別の正当化—— 神戸修
- おわりに 山口 研一郎



バイオハザード原論

本庄重男著
四六判上製 192頁 1900円
ISBN4-8461-0416-8 C0036

危険な病原体や遺伝子組み換え微生物が、市民生活の場や環境に漏れ出て、健康や環境に重大な悪影響や被害を及ぼし始めている。本書はバイオハザードについて、定義から現状分析、予防原則に基づいた対策まで、著者の経験を踏まえて詳細に論じる。(2004.9)



プロブレムQ&A 教えて!バイオハザード (基礎知識から予防まで)

バイオハザード予防市民センター著
A 5判並製 224頁 1800円
ISBN4-8461-0212-2 C0036

アメリカの炭疽菌事件、バイオテロ、遺伝子組み換え生物の研究、SARS……。バイオテクノロジーの発展は、関連施設の急増を招き、バイオハザード=生物災害の危険を身近なものにしている。バイオハザードとは何かなどQ&Aでやさしく解説する。(2003.5)



国立感染症研は安全か
バイオハザード裁判の予見するもの

国立感染症研究所の安全性を考える会 編著
A 5判上製 308頁 4000円
ISBN978-4-8461-0910-3 C0036

最高裁が「取り返しのつかない惨禍」を生み出しかねない危険を指摘した国立予防衛生研究所＝現国立感染症研究所をめぐる裁判の記録。全国で繰り広げられているバイオ施設、病原体研究施設の建設反対運動の理論的支えとなるものである。(2010.2)

[内容構成]

- はじめに (鈴木武仁)
第一章 バイオハザード裁判とは？
一 国立感染症研究所とは何か？ (伊東一郎)／二 環境を守るために市民はどう立ち上がったか (武藤徹)／三 早稲田大学

- 教職員はいかに立ち上がったか(伊東一郎)
第二章 法廷においてバイオハザード裁判はどう闘われたのか
一 一審の総括 (島田修一)／二 二審以降の展開 (川本幸立)
第三章 科学者はどう行動したか
一 いま問われる研究者の倫理とバイオハザード (新井秀雄)／二 新井秀雄さんの裁判が意味するもの (本田孝義)
第四章 国際社会におけるバイオハザード予防と枠組み (長島功)
一 海外のバイオハザード裁判／二 WHOの指針と勧告／三 主要国のバイオハザード予防のための規制
第五章 バイオハザード裁判の本質 (島田修一)
第六章 バイオハザード裁判が予見したこと (本庄重男)
第七章 今後の課題 (川本幸立)
第八章 座談会
資料



バイオハザード裁判
予研＝感染研実験差し止めの法理

予研＝感染研裁判原告の会、
予研＝感染研裁判弁護団 編著
A 5判上製 356頁 4800円
ISBN4-8461-0018-9 C0036

遺伝子組み換えによる未知の生物出現や猛毒病原体など、バイオハザード＝生物災害の危険性が高まっている。特に日本では国立感染症研究所や遺伝子組み換え施設が都会のと真ん中や住宅地に野放しで建設されている。本書は、予研＝感染研の移転と実験差し止めを

求めた訴訟の全記録。(2001.1)

[内容構成]

- 序論Ⅰ バイオ時代の人権と予研＝感染研裁判
序論Ⅱ なぜ予研＝感染研の移転と実験差し止めを要求するか
総論 予研＝感染研実験差し止めの法理
序章
第一章 予研＝感染研の実態
第二章 生物災害の危険性
第三章 絶対安全の立証なし
第四章 違法性
第五章 差止請求



生命特許は許されるか

天笠啓祐／
市民バイオテクノロジ情報室編
四六判上製 200頁 1800円
ISBN4-8461-0308-0 C0036

多国籍企業の間で繰り広げられる特許争奪戦。なかでも、いままでタブーとされてきた生命や遺伝子までもが特許の対象となりつつある。私たちの生命が特定の企業によって私物化されるという異常な状況は許されるのか？ 具体的な事例をあげて解説。(2003.8)



人クローン技術は許されるか

御興久美子他著
四六判並製 236頁 2000円
ISBN4-8461-0111-8 C0036

いわゆる「人クローン規制法」の内容と問題点を分析し、クローン技術がもたらすさまざまな脅威を明らかにする。生命倫理、宗教、人権の視点から厳しい規制を課す欧米諸国の状況と比較して、日本の歯止めなき推進の実態を浮き彫りにする。(2001.9)



生命操作事典

生命操作事典編集委員会編
A 5判上製 496頁 4500円
ISBN4-8461-9818-9 C0040

脳死、臓器移植、出生前診断、ガンの遺伝子治療、クローン動物など、生や死が人為的に容易に操作される時代。我々の「生命」はどのように扱われようとしているのか。医療、バイオ農業を中心に50項目余りをあげ、問題点を浮き彫りに。(1998.10)

食べ物の安全を考える



遺伝子組み換え企業の脅威 [増補版] モンサント・ファイル

『エコロジスト』誌編集部編/アントニー・F・ボーイズ/安田節子監訳/日本消費者連盟訳
A5判並製 180頁 1900円
ISBN978-4-8461-1122-9 C0036

遺伝子組み換え技術を用いて農業・食糧を支配しようとする世界最大のバイオテクノロジー企業モンサント社。この戦略が人々の健康と農業の未来にとっていかに危険であるかをレポート。遺伝子組み換え作物問題の最新の動向を増補。(2011.12、旧版1999.12)

[内容構成]

モンサント最高経営責任者(CEO)ロバート・シャピロ氏への公開書簡
モンサント：その波乱の履歴
回転ドア(産官人事交流)：モンサントと規制当局
行き詰まるモンサントのPR作戦
なぜバイオテクノロジーとハイテク農業が世界を飢餓から救えないか
モンサントは消費者の意見をどう聞いているのか
都合の悪い情報を隠す
反対市民に対する訴訟戦略 他



クリティカル・サイエンス⑥ 遺伝子組み換えナタネ汚染

遺伝子組み換え食品いらない! キャンペーン編
A5判並製 200頁 2000円
ISBN978-4-8461-1013-0 C0340

遺伝子組み換えナタネは、生物多様性どう関わり、地球の未来をどう左右するのか? 本書は市民による六年間の地道な調査活動を基に遺伝子組み換えナタネの現状と問題点を掘り下げる。海外の状況も踏まえ、丁寧に説明する。(2010.10)

[内容構成]

第1部 遺伝子組み換え(GM)ナタネの自生とその拡大
遺伝子組み換えナタネ自生調査が示すもの/遺伝子組み換えナタネの現状/オーストラリアでの遺伝子組み換えナタネ問題 他
第2部 市民による遺伝子組み換え(GM)ナタネ自生調査活動
GMナタネ自生調査六年間の記録/遺伝子組み換えナタネ自生の現状と今後自生GMナタネを分析して分かったこと 他
第3部 生物多様性条約とカルタヘナ議定書
カルタヘナ議定書締約国会議の焦点 他



健康食品は効かない!? ぶだんの食事で健康力アップ

渡辺雄二著
四六判並製 192頁 1600円
ISBN978-4-8461-1007-9 C0036

テレビや新聞のCMでおなじみの、数々の健康食品や特定保健用食品はホントに効くの? 効果は確認されたのか、どうして効かないのか、副作用はないのかなど、商品別に徹底分析、ぶだんの食事で健康力アップの方法を提案する。(2010.7)

[内容構成]

第1部 健康食品いらず、食事で健康維持
グルコサミンとコンドロイチンで、膝の痛みが取れるのか? /ヒアルロン酸は効く証拠なし/EPAとDHAは、血液をサラサラにするのか? /アガリクス製品が発がんを促進するという信じられない話/危険性の高いダイエットサプリ/高価なローヤルゼリーとプロポリスに効き目なし 他
第2部 トクホで健康は維持できるのか?
中性脂肪を減らすトクホはいらない/血圧を下げるトクホはいらない、食塩を減らせば血圧は下がる 他



ヤマザキパンはなぜカビないか 誰も書かない食品&添加物の秘密

渡辺雄二著
四六判並製 192頁 1600円
ISBN978-4-8461-0803-8 C0036

加工食品には多種多様な食品添加物が使われている。問題のある食品添加物を使った製品も少なくない。本書ではこうした食品や添加物の一つ一つ取り上げ、消費者の視点から問題点をあらって、食品表示の見方から添加物の危険性をやさしく解説する。(2008.3)

【内容構成】

ヤマザキパンはなぜカビないか／コンビニの弁当・惣菜カット野菜はなぜ傷まないか／回転寿司店のお寿司は安心して食べられるのか／グレープフルーツ、レモン、オレンジはなぜカビないか／カズノコはなぜ「黄金色」をし

ているのか／ハム・ソーセージ、いくら・たらこはなぜ黒ずまないか／はんぺん・ちくわ、漬け物はなぜ腐らないのか／駅弁は危ない添加物だらけ／一目でわかる、添加物表示の見方



プロブレムQ&A 危険な食品・安全な食べ方 【自らの手で食卓を守るために】

天笠啓祐著

A 5 判変並製 184頁 1700円
ISBN978-4-8461-0802-1 C0336

消費期限の改竄、産地の偽装、原材料の偽装等々、食品偽装事件が次々と明るみに出て、不安を高めている。また狂牛病、鳥インフルエンザ、遺伝子組み換え食品の問題など、食を取り巻く環境は益々悪化している。本書は、なぜ、このような事態に陥ったのかを様々な

問題を通して分析、どういう政策がとられるべきか、食の安全と身を守るにはどうしたらよいかを具体的に提言する。(2008.2)

【Qの例】

* 米国産牛肉は安全ですか？
鳥インフルエンザはどうして広がったのですか？
遺伝子組み換え食品は表示されているのですか？
ポストハーベスト農薬とは何でしょうか
魚を食べると水銀やダイオキシンが危ないと聞いたのですが
ミートホープ事件を始め、表示は本当に信用できるのでしょうか？



生物多様性と食・農

天笠啓祐著

四六判上製 208頁 1900円
ISBN978-4-8461-0909-7 C0036

グローバリズムが、環境破壊を地球規模にまで及び、生物多様性の崩壊に歯止めがかからない状況にある。気づかれずに絶滅した生物種も多数にのぼる。農業や化学肥料の大量使用による生物種の死滅、遺伝子組み換え技術は生物多様性の新たな脅威になっている。

本書は、生物多様性の危機の元凶が多国籍企業の活動にあること、危機をどう乗り越えることができるかを明らかにする。(2009.9)

【内容構成】

第1部 生物多様性条約とカルタヘナ議定書
第2部 遺伝子組み換え生物と生物多様性
第3部 生命特許とグリーン・ニューディール政策
第4部 生物多様性を守る取り組み
おわりに 食と民主主義



世界食料戦争 [増補改訂版]

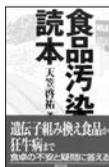
天笠啓祐著

四六判上製 240頁 1900円
ISBN978-4-8461-0808-3 C0040

現在の食料価格高騰の根底には、グローバリゼーションがある。世界規模での食料の流通と競争。食品偽装事件もまた、これと無関係ではない。本書は、最近の情勢もふまえ、そのメカニズムを易しく解説し、それに対抗する市民の運動を紹介している。(2008.6)

【内容構成】

序章 つくられる食料危機／第1章 激変する世界の食料事情／第2章 モンサント社の戦略と謀略／第3章 シュマイザー事件と種子支配の構造／第4章 遺伝子組み換え作物が変えた世界の食料／第5章 遺伝子組み換えイネをめぐる攻防／第6章 北米での遺伝子組み換え小麦の攻防／第7章 欧州・米国内食料戦争／第8章 グローバリゼーションが脅かす食の安全／第9章 広がるGMOフリーゾーン、食料援助拒否／終章 マニラにて

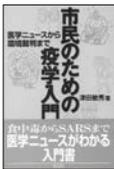


食品汚染読本

天笠啓祐著

46 判並製 216頁 1700円
ISBN4-8461-0215-7 C0040

遺伝子組み換え食品から狂牛病まで、今ほど消費者の食品にたいする不安と不信が拡がったことはない。しかも取り締まるべき農水省から厚労省までは業者よりで、事態を深刻化するばかり。本書は、不安で危ない食品の問題点と解決策を解説。(2002.10)



市民のための疫学入門
医学ニュースから環境裁判まで

津田敏秀著
A 5判並製 246頁 2400円
ISBN4-8461-0311-0 C0036

SARS、食中毒、環境汚染と人体へ影響、
薬害……。医学・医療ニュースから裁判まで、
因果関係を考える疫学。さまざまな公害・環
境裁判に関わってきた疫学研究者による、疫
学をやさしく解説した入門書。(2003.11)

*



雪印の落日
食中毒事件と牛肉偽装事件

藤原邦達著
四六判上製 324頁 2000円
ISBN4-8461-0201-7 C0058

史上最大の集団食中毒事件となった雪印乳
業食中毒事件に続く雪印食品の牛肉表示偽装
事件。日本を代表する食品メーカーで起きた
、考えられないような事件。本書は食品衛
生学の第一人者の著者が、企業と国の責任を
厳しく問う。(2002.3)

【内容構成】

- 第1部 雪印低脂肪乳食中毒事件
 - 第1章 事件の経緯と原因の追及
 - 第2章 雪印乳業はどう対応したか
 - 第3章 食品衛生行政はどう対応したか
 - 第4章 法的責任を追及する
 - 第5章 食品被害情報の交流と開示を再点検する
 - 第6章 食品関連企業の役割を再点検する
 - 第7章 食品衛生指導、監視の役割を再点検する
- 第2部 雪印食品牛肉表示偽装事件を総括する



『世界食料戦争』書評
**科学的検証と政治決断で揺れすぎ
る今、好個の素材**

1980年代は世界食料戦略の中心に、米市場
開放を迫る米国があった。国家・食料メジャー
の動向分析が主だった。

では、今日は何か。遺伝子組み換え作物（G
MO）と食品問題である。その開発に携わる多
国籍企業問題である。日本の輸入大豆の60％
は、すでに組み換え食品だという。こうして食

料戦争を読み解く。

著者は、遺伝子組み換え食品問題の第一人者
である。自身が科学ジャーナリストであるだけ
でなく、反対運動の組織者でもあるから、迫力
が違う。（中略）

今年3月末、著者らはカナダ・北米への直接
訴えの旅も敢行した。

米国牛肉輸入再開問題、各県の遺伝子組み換
え実験ほじょう論議が、科学的検証と政治決断
で揺れすぎる今、好個の素材である。

●『日本農業新聞』2004年12月5日付。



『狂牛病』書評
**お役所の病理は、どこの国でも
似たり寄ったり**

……さらに感染源をたどって行き着いたのが
この本、リチャード・W・レーシー著、瀧脇耕
一訳『狂牛病——イギリスにおける歴史』であ
る。

著者は狂牛病の危険性をいち早く指摘したイ
ギリスの臨床微生物学者。かの国の狂牛病騒動
の中心的な人物である。その彼が本書で暴いて
いるのは、イギリス政府と農漁業食糧省の、い
わばお役所病なのだ。希望的観測にもとづいて、
すぐ「安全宣言」を出す。お役所の病理は、ど
この国でも似たり寄ったりであるらしい。イギ
リスで初めて狂牛病が発見された1986年から
累積発症例が14万件近くに及んだ94年8月ま
で、10年弱のドタバタ劇をみていくと、日本の
将来が予告されているようでもある。

あと気になるのはこんな箇所。〈排除された
臓物の範囲の決め方が、理解出来ない。牛の脳、
脊髓、脾臓、胸腺、扁桃、そして腸に共通のも
のは何だろうか？ お分りかな？ どれも商
品としては、ほとんど価値がない。危険かもし
れないものを何か排除しなければならぬの
で、これらの器官を排除した。商業的損失がも
つとも少ないものだけを、彼らは選り出した。そ
んなことがあり得るだろうか？ あり得ると、
私は考えている。

日本の狂牛病対策もE.Uを手本に進められて
いたはずだ。その本家本元がまさか……。最初
「人には感染しない」といていたイギリスで
96年に10人、2001年9月の時点では100人
強の患者が見つかっている。肉骨粉といっしょ
に、こんな発想まで輸入しているのではあるま
いなし。

●週刊朝日週刊図書館 2001年11月2日号
斎藤美奈子の誤読日記より抜粋。



終りなき狂牛病
フランスからの警鐘

エリック・ローラン著／門脇 仁訳
四六判上製 248頁 2200円
ISBN4-8461-0209-2 C0045

英国から欧州大陸へと上陸した狂牛病。牛の前頭検査では狂牛病は防げない。欧州と殺場での感染、肉骨粉による土壤汚染からの感染、血液感染、母子感染など種の壁を超え、エイズを上回る狂牛病の恐怖を余すことなく暴いた書。(2002.6)



狂牛病
イギリスにおける歴史

リチャード・W・レーシー著
刈脇耕一訳
四六判並製 312頁 2200円
ISBN4-8461-9819-7 C0045

牛海綿状脳症という狂牛病の流行によって全英の牛に大被害がもたらされ、また、人間にも感染することがわかり、人々を驚愕させた。本書は、まったく治療法のないこの狂牛病をわかりやすく詳しく解説した話題の書！(1998.10)



食料主権

日本消費者連盟編
四六判並製 208頁 1700円
ISBN4-8461-0514-8 C0040

本書は、世界の農民・消費者運動がこれら多国籍企業やWTO（世界貿易機関）などに対抗するために掲げ、追求しようとしている食料主権を取り上げ、その意味するもの、それを守るためには何が必要かを様々な角度から提言。(2005.9)



食不安は解消されるか

藤原邦達著
四六判上製 312頁 2200円
ISBN4-8461-0317-X C0036

食品安全基本法と改正食品衛生法が成立。狂牛病や食中毒、PCB、農薬・ダイオキシン汚染や環境ホルモン、遺伝子組み換え食品……果たして、食不信、食不安、食不満を解消できるか？ 食の安全の現状を鋭く分析、近未来を予測した警鐘の書！(2004.1)



安全な暮らし方

日本消費者連盟編
A 5判並製 359頁 2600円
ISBN4-8461-0009-X C0036

ダイオキシン、環境ホルモン、遺伝子組み換え食品、食品添加物、電磁波等、今日ほど身の回りの生活環境が危機に満ちている時代はない。本書は問題点を易しく解説、対処法を提案。日本消費者連盟30周年記念企画(2000.6)



プロブレムQ&A
ハイテク食品は危ない [増補版]
[触まれる日本の食卓]

天笠啓祐著
A 5判並製 140頁 1600円
ISBN4-8461-9707-7 C0358

遺伝子組み換えダイズなどの輸入が始まった。またクローン牛、バイオ魚などハイテク技術による食品が食卓に増え続けている。しかし安全性に問題はないのか。最新情報を増補し内容充実。遺伝子組み換え食品問題の入門書。(1997.5、旧版 1995.11)



クリティカル・サイエンス①
遺伝子組み換え食品の危険性

緑風出版編集部編
A 5判並製 224頁 2200円
ISBN4-8461-9710-7 C0358

遺伝子組み換え作物の輸入が始まり、食品の安全性、表示問題、環境への影響をめぐって市民の不安が高まっている。シリーズ第一弾では、関連資料も収録しこの問題を専門的立場で多角的に分析、その危険性を明らかにする。(1997.8)



『雪印の落日』書評
食衛生行政の怠慢

雪印乳業の集団食中毒事件はずさんな品質管理を放置してきた食衛生行政の怠慢が根っこ
の問題であり、雪印食品による牛肉偽装事件は

BSE対策を誤り、牛肉の消費を落ち込ませた農水書にも責任があるとする。雪印グループで相次いだ不祥事を企業だけの問題ととらえず、「食」の安全が行政の欠陥によって脅かされている様子に迫っている。

●『日経新聞』02年4月21日付



クリティカル・サイエンス③
遺伝子組み換え食品の争点

緑風出版編集部編
A 5判並製 284頁 2200円
ISBN4-8461-0001-4 C0040

豆腐の遺伝子組み換え大豆など、知らぬ間に遺伝子組み換え食品が、茶の間に進出してきている。導入の是非や表示をめぐる問題点、安全性や人体・環境への影響等、最新の論争、データ分析で問題点に迫る。資料多数。

(2000.2)

*



クリティカル・サイエンス④
遺伝子組み換えイネの襲来

遺伝子組み換え食品いらない！
キャンペーン編
A 5判並製 176頁 1700円
ISBN4-8461-0119-3 C0340

遺伝子組み換え技術が主食の米にまで及ぼうとしている。日本をターゲットに試験研究が欧米でも進められ、近々解禁されるのではと危惧されている。遺伝子組み換えイネの環境への悪影響から食物としての危険

(2001.12)

*☆



増補改訂 遺伝子組み換え食品

天笠啓祐著
四六判上製 280頁 2500円
ISBN4-8461-9917-7 C0040

遺伝子組み換え食品が多数出回り、食生活環境は大きく様変わりしているが、安全や健康は考えられているのか。米国と日本の農業・食糧政策の現状を検証、「日本の食卓」の危機を訴える好著。大好評の旧版に最新動向を増補・全面改訂！

(2000.1)

*



O-157と無菌社会の恐怖
HACCP システムの問題点

久慈力著
四六判並製 216頁 1700円
ISBN4-8461-9817-0 C0036

全国に食中毒パニックを引き起こしたO-157事件。これを機に厚生省が導入を考えているのが「HACCP（ハセップ）」という殺菌消毒衛生システムだ。しかしこのシステムは果たして安全でかつ信用できるものなのか？ 実態と問題点を検証する。

(1998.9)



『食不安は解消されるか』書評
近未来を予測した警鐘の書

2003年食品安全衛生法と改正食品衛生法が成立。同法は、狂牛病やO-157などの食中毒、PCB、農薬汚染・ダイオキシン汚染や環境ホルモン、遺伝子組み換え食品等から食の安全を

守るのが目的だ。この新たに発足したリスクアナリシスの体制で消費者の食不信、食不安、食不満を解消できるのか？ 食品安全基本法案の国会参考人を務めた著者が、食の安全の現状を分析し近未来を予測した警鐘の書。

●『月刊食品工場長』2004年4月号

世界の環境問題 (全10巻予定) 川名英之著

惑星地球の危機が叫ばれて久しい。京都議定書が発効し、環境政策は待たなしの状況である。だが、世界各国の環境破壊とその対策は、はたして進んでいるのだろうか？ 本シリーズは世界各国の環境問題の歴史と現状を総括する日本初の大作！



第一巻 ドイツと北欧

四六判上製・465頁
3200円
ISBN4-8461-0512-1 C0336

* 惑星地球の危機が叫ばれて久しい。だが、世界各国の環境破壊とその対策は、はたして進んでいるのだろうか？ 本書は、『ドキュメント日本の公害』の著者が主要各国の歴史と現状を総括するシリーズの第1巻。ドイツ・北欧の環境政策を検証する。(2005.12)



第二巻 西欧

四六判上製・465頁
3200円
ISBN4-8461-0623-3 C0336

* ☆ 第2巻は、自然保護に古い歴史を持つオランダ、石炭利用による大気汚染に苦しんだイギリス、原発大国フランス、そして景観美を自然資源とする観光立国スイス、脱原発をめざすイタリアなど西欧11カ国の環境政策、「緑の党」の動きなどを検証。(2007.1)



第三巻 中・東欧

四六判上製・448頁
3200円
ISBN978-4-8461-0805-2 C0336

* 第3巻は、バルカン半島、バルト三国を含めた欧州の東半分を扱う。多くは第二次大戦後、社会主義体制をとった国だ。ドナウ川のダム建設をめぐる反対運動など、知られざる環境問題を追う。また政治と事件を概観し、環境問題への取り組みを検証。(2008.4)



第四巻 ロシアと旧ソ連邦諸国

四六判上製・496頁
3400円
ISBN978-4-8461-0816-8 C0336

[内容構成]

- 第1章 ロシアの国土と損なわれる自然
- 第2章 ソ連・新生ロシアの歴史と環境問題
- 第3章 環境政策の推移 ソ連からロシアの今へ
- 第4章 米ソ核開発とソ連核実験汚染
- 第5章 キューバ危機から冷戦終結・環境外交へ
- 第6章 核兵器の生産と廃棄による汚染
- 第7章 チェルノブイリ原発事故
- 第8章 アラル海の縮小と環境破壊
- 第9章 旧ソ連邦諸国の環境問題
- 終章 旧ソ連・ロシアの環境問題の教訓

第4巻では、豊かな鉱物資源や天然の森林、動植物等の宝庫であるロシアと旧ソ連邦諸国——ウクライナ、ベラルーシ、カフカス3国、中央アジア5共和国などを取り上げる。「利潤を追求しない」社会主義国で、生産力主義と冷戦がもたらした諸問題とは。(2009.1)



第五巻 米国

四六判上製・528頁
3500円
ISBN978-4-8461-0911-0 C0336

[内容構成]

- 第1章 国土の拡大・開発と自然環境
- 第2章 政治の歩みと環境問題
- 第3章 核開発政策と核実験被爆
- 第4章 草創期の環境行政と大気汚染対策
- 第5章 地球温暖化問題への対応
- 第6章 有毒・有害化学物質による環境汚染
- 第7章 ベトナム戦争と枯葉剤被害
- 第8章 環境保護運動と原発問題
- 終章 岐路に立つ米国の環境・核政策

米国歴代政権の環境政策は、その背後にある軍産複合体、産業界と市民との緊張関係に影響されてきた。世界が温暖化防止に動く中で、最大のエネルギー消費国の動向は強い影響を及ぼす。オバマ政権の舵取りはまだ、始まったばかりだ。(2009.10)



第六巻 極地・カナダ・中南米

四六判上製・492頁（グラビア3頁）

3800円

ISBN978-4-8461-1010-9 C0336 *☆

温暖化の影響を強く受けている北極圏と南極圏、熱帯雨林の危機に揺れるブラジルなど南米諸国、内戦で荒廃する小国とエコツーリズムで復活したコスタリカなどの中米諸国、有機農業大国となったキューバなどカリブ海諸国等の自然と環境問題を追う。（2010.8）

【内容構成】

- 第1章 北極圏と南極圏
- 第2章 カナダ
- 第3章 メキシコ
- 第4章 グアテマラ
- 第5章 中央アメリカ南部
- 第6章 バハマ、キューバ
- 第7章 ハイチ、ドミニカ共和国
- 第8章 ブラジル
- 第9章 コロンビア、ベネズエラ
- 第10章 エクアドル、ペルー、ボリビア
- 第11章 チリ、アルゼンチン
- 終章 中南米環境問題の総括



第七巻 中国

四六判上製 388頁

3500円

ISBN978-4-8461-1110-6 C0336 *☆

世界で3番目に広い国土と世界1の人口をもつ中国。西欧列強による支配下から人民中国の成立、改革開放に至る今日の中国までの歴史を辿りながら、中国の環境問題の歴史と現状を総括する第7巻！

森林伐採・砂漠化と砂漠緑化、自然破壊と稀少動物の減少、黄土高原と砂漠化・黄砂の頻発、日本の毒ガス・細菌兵器と環境汚染、一人っ子政策と環境問題、灌漑用水・飲料水不足と黄河断流、大気汚染や酸性雨の激化、水質汚染と「ガン村」の多発—など、毛沢東の大躍進政策、文化大革命から鄧小平の改革・開放時代を経た現代まで、中国における環境

問題と環境政策を追う。（2011.9）

【内容構成】

- 第1章 中国の国土と損われ行く自然
- 第2章 深刻化する灌漑・飲料水不足
- 第3章 新中国誕生までの略史と環境問題
- 第4章 毛沢東の政治と環境問題
- 第5章 一人っ子政策と環境問題
- 第6章 改革・開放時代の政治と環境問題
- 第7章 大気汚染・酸性雨の激化
- 第8章 水質汚染と「ガン村」の多発
- 終章 中国環境問題の総括

出典注記

参考文献



第八巻 アジア・オセアニア

四六判上製 608頁

4000円

ISBN978-4-8461-1216-5 C0336

商業伐採、焼畑、薪炭利用などで、熱帯雨林が消滅に向かう。豊かなマングローブ林が開発やエビなどの養殖池のために急速に失われていく。十分な排煙、排水浄化装置のない旧式な設備を日本企業などが輸出し、公害を引き起こす。都市化と排ガス対策の不十分な中古車中心のモータリゼーションが大気汚染と温暖化を加速させる。

さらには産業史上最大の被害者を出したインド・ボパールの化学工場爆発事故、ベトナム戦争で破壊されたインドシナ各国と戦後のメコン川ダム開発問題、仏ムルロア環礁などの核実験、ニュージーランドや豪・タスマニ

アの自然保護、グレートバリアリーフなどの温暖化で死滅するサンゴ礁……。

そして、それらの原因に、先進国、とりわけ日本やアメリカの浪費型経済と企業の無責任な活動がある。

第8巻は、中国を除くアジア、オセアニアの公害環境問題の歴史と現状を総括、最新の環境政策を追う。（2012.9）

【内容構成】

- 第1部 総説
 - 第1章 消滅へ向かうアジアの熱帯林
 - 第2章 森林破壊と生物多様性喪失・洪水
 - 第3章 温暖化の影響—水河・海面・サンゴ
 - 第2部 東南・南アジア
 - 第3部 東アジア
 - 第4部 オセアニア
 - 第5部 アジアの環境問題の総括
- 出典注記
参考文献

ドキュメント 日本の公害(全13巻)

川名英之著 揃50225円

水俣病の発生から今日まで現代日本の公害史をドキュメントにした初めての通史！ 公害・環境事件に第一線記者として立ち会い続けて20年、膨大な取材メモ、聞き書きノートや資料をもとに書き下ろした渾身の大作！



第一巻 公害の激化

四六判上製 465頁 (グラビア 15頁)
3000円
ISBN4-8461-8727-6 C0036

☆*

重化学工業振興政策により公害が社会問題化した1960年代を描く。(1987.1)
【内容構成】 水俣病の発生／新潟水俣病／カドミウム公害／統発する水質汚濁事件／大気汚染公害の激化／四大公害裁判／公害意識の高揚と住民運動／年表〔1〕



第二巻 環境庁

四六判上製 610頁 (グラビア 15頁)
3800円
ISBN4-8461-8834-5 C0036

☆*

激化する公害問題に対処すべく新設された環境庁を追う。(1988.10)
【内容構成】 対応策迫られた政府／公害国会／草創期の環境庁／乗用車排ガス規制／土呂久と松尾の亜硫酸鉍害／対馬・安中のカドミウム鉍害／公害行政の前進／年表〔2〕



第三巻 薬害・食品公害

四六判上製 409頁 (グラビア 7頁)
2825円
ISBN4-8461-8936-8 C0036

☆*

代表的な薬害、食品公害への政治の対応、企業と被害者の動きと顛末。(1989.5)
【内容構成】 スモン薬害の発生／スモン訴訟の和解／サリドマイド事件／クロロキン薬害事件／森永砒素ミルク中毒／PCB公害／年表〔3〕



第四巻 足尾・水俣・ビキニ

四六判上製 493頁 (グラビア 15頁)
3400円
ISBN4-8461-8938-4 C0036

☆*

「公害の原点」と呼ばれる足尾鉍毒事件と水俣病、核軍拡競争の発端となったビキニ核実験を追う。(1989.11)
【内容構成】 足尾鉍毒事件／水俣病の認定問題／水俣病認定をめぐる訴訟／ビキニ核実験と第五福竜丸／原水爆実験・禁止運動関連年表



第五巻 総合開発

四六判上製 370頁 (グラビア 7頁)
3000円
ISBN4-8461-9044-7 C0036

☆*

日本列島を「公害列島」と化した全国総合開発計画を追う。(1990.12)
【内容構成】 全国総合開発計画／列島改造から四全総へ／新産業都市水島の公害／瀬戸内海の開発／瀬戸内海の汚染と入浜権／大規模開発・総合開発計画関連年表



第六巻 首都圏の公害

四六判上製 465頁 (グラビア 15頁)
3500円
ISBN4-8461-9148-6 C0036

☆*

大気汚染・開発埋立等による首都圏の公害を詳述。(1991.5)
【内容構成】 京浜工業地帯の公害／京葉臨海工業地帯の公害／川崎製鉄公害訴訟／東京湾岸の開発と汚染／ゴミ公害／東京湾横断道路／鹿島の開発と公害／年表〔4〕



第七巻 大規模開発

四六判上製 541頁 (グラビア 15頁)
4500円
ISBN4-8461-9254-7 C0036

☆*

新全総などによる主要な大規模開発をめぐる行政と住民の闘いの顛末を追う。(1992.1)
【内容構成】 志布志湾の開発／大分新産業都市の公害／九州の開発と自然保護／中海・宍道湖の淡水化問題／苫小牧東部の開発／むつ小川原開発／年表〔5〕



第八巻 空港公害

四六判上製 469頁 (グラビア 15頁)
4200円
ISBN4-8461-9263-6 C0036

☆*

耐えがたい騒音をまき散らす民間空港、軍用空港の公害を追う。(1993.1)
[内容構成] 大阪国際空港の公害／大阪空港公害最高裁判決／関西新空港の建設／横田基地の騒音公害／厚木基地公害訴訟／嘉手納基地の騒音公害／交通公害問題関連年表



第九巻 交通公害

四六判上製 553頁 (グラビア 7頁)
4800円
ISBN4-8461-9369-1 C0036

☆*

自動車特にディーゼル車の急増によるNOx 濃度の悪化などを分析 (1993.7)
[内容構成] 悪化するNOx 濃度／ディーゼル車の公害／自動車公害訴訟／新幹線の騒音公害／名古屋新幹線訴訟／拡大する新幹線公害／年表〔6〕



第十巻 飲料水・海水汚染

四六判上製 605頁 (グラビア 7頁)
4900円
ISBN4-8461-9479-5 C0036

☆*

排水で汚濁が進む湖沼問題、発がん性物質に汚染される飲料水問題を追跡。(1994.9)
[内容構成] 琵琶湖・霞ヶ浦の汚濁と対策／難航した湖沼法制定／飲料水の発がん性物質汚染／ゴルフ場の農業汚染／沖縄の海水汚染とサンゴ／年表〔7〕



第十一巻 環境行政の岐路

四六判上製 548頁 (グラビア 7頁)
4800円
ISBN4-8461-9590-2 C0036

☆*

公害健康被害補償制度の見直しや環境アセス法制化の挫折など、環境行政の後退から基本法成立まで。(1995.5)
[内容構成] 環境行政の後退／環境アセス法制化の挫折／公害訴訟の動向／白神山地のブナ林保護運動／環境基本法の制定 他



第十二巻 地球環境の危機

四六判上製 490頁 (グラビア 8頁)
4300円
ISBN4-8461-9599-6 C0036

☆*

林・生物種の減少／有害化学物質の越境汚染

オゾン層の破壊・地球温暖化問題など地球環境の危機と地球サミットなどの対応策を追う。(1995.11)

[内容構成] 地球環境問題の発生／地球温暖化と政府の対応／「地球サミット」／熱帯雨

[資料] 国連人間環境会議「人間環境宣言」／国連人間環境会議10周年記念会合「ナイロビ宣言」／「環境と開発に関する世界委員会」(別称・国連環境特別委員会)の「東京宣言」／主要先進国首脳会議の経済宣言に盛り込まれた環境問題／環境と開発に関するリオ宣言／気候変動に関する枠組み条約(骨子)／生物の多様性に関する条約(骨子)／森林に関する原則声明／アジェンダ21(骨子)



第十三巻 アジアの環境破壊と日本

四六判上製 354頁 (グラビア 8頁)
3200円
ISBN4-8461-9603-8 C0036

☆*

日本企業によるアジア諸国への「公害輸出」の実状と日本政府の不誠実な対応を追う最終巻！(1996.2)
[内容構成] 環境配慮のない「欠陥ODA」／進出企業と「公害輸出」／アジアの公害・自然破壊／対応を迫られている課題

川名英之 (かわな ひでゆき)

元毎日新聞編集委員。著述業。
1935年千葉県生まれ。東京外国語大学ドイツ語科卒業。

1960年から毎日新聞記者。1965年、社会部。日本化学工業のクロム事件を取材以来、公害・環境問題をフォローし、1977年から83年まで環境問題を、そのあと87年まで都市問題、国土政策などを担当、読者室委員を経て、90年同社を退職。

クルマ社会と交通を考える



プロブレムQ&A
どうする？鉄道の未来 [増補改訂版]
[地域を活性化するために]

鉄道まちづくり会議・編
A 5判変並製 264頁 1900円
ISBN978-4-8461-0903-5 C0336 ☆*

日本全国で赤字を理由に鉄道の廃止が続出していますが、いいのでしょうか。日本社会の今後を考えれば、交通問題を根本から見直す必要があります。本書は地域の鉄道を見直し、その再評価と存続のためのマニュアルです。(2009.4、旧版 2004.12)

[内容構成]
鉄道の社会的価値／鉄道をめぐるお金の話／こうすればできる存続運動／地方鉄道はもっと活用できる

[Qの例]
鉄道にはどんな価値があるのですか？
鉄道を選択するための財政的方策はありますか？
交通の確保は行政の仕事では？
世界の流れは鉄道よりもクルマではありませんか？
地方鉄道の機能をもっと向上させる方法はありますか？



市民のための道路学

上岡直見著
四六判上製 260頁 2400円
ISBN4-8461-0409-5 C0036 *

道路公団民営化の問題で道路政策への社会的関心が高まっている。しかし議論は、高速道路の経営形態と採算性、官僚悪者論や市場原理の偏重といった方向に矮小化されつつある。今日の道路政策は、クルマと鉄道などの総合的關係、地球温暖化対策との關係などを

踏まえ、日本の交通体系が私たちの暮らしにどのようなかわるのか、という観点から議論される必要がある。本書は、市民のために道路交通の基礎知識を解説するとともに、「脱道路」を考える入門書！(2004.7)

[内容構成]
第一章 道路交通の基礎知識
第二章 市民と交通需要予測
第三章 評価の指標
第四章 道路交通と地球温暖化
第五章 「脱道路」が日本を救う



持続可能な交通へ
シナリオ・政策・運動

上岡直見著
四六判上製 304頁 2400円
ISBN4-8461-0304-8 C0036 *

地球温暖化や大気汚染の元凶と騒がれながらも自動車の過剰な使用による様々な弊害は、今なお改善の方向が見いだせない。一方、国民皆免許で農山村では、クルマは不可欠なものになっている。クルマ社会批判だけでは解決にならない。脱クルマの社会システムと

持続的に住み良い環境作りのために、生活と自治をキーワードに、具体策を提言。地方自治体等の交通関係者必読！(2003.7)

[内容構成]
はしがき
第1章 クルマ依存と持続可能性の危機
第2章 クルマ依存のしくみ
第3章 転換と政策への展開
第4章 クルマ依存転換の指標
第5章 ベストプラクティスと体系的施策
あとがき



クルマが鉄道を滅ぼした [増補版]
ビッグスリーの犯罪

ブラッドフォード・C・スネル著
戸田清・他訳
四六判上製 286頁 3000円
ISBN4-8461-0622-5 C0065 *

米国のクルマ社会はどのように形成されたのか？ビッグスリーが、競合する鉄道・バスを自動車へ強引に置き換え、利益追及のためにいかに破壊してしまうのかを描く。米国の脱クルマ社会化の動向を白石忠夫が「増補版解説」で増補(2006.12)



世界は脱クルマ社会へ

白石忠夫編著
四六判上製 226頁 2000円
ISBN4-8461-0014-6 C0065

ディーゼル車などクルマの排ガスによる発がん物質の排出、大気汚染、地球温暖化問題など、いまやクルマ社会を放置しておくことはできない。欧米各国はすでに公共交通の復活など脱クルマ社会へと向かっている。本書はその現状と展望を考える。(2000.11)

[内容構成]

第1章 改善の見通しのない自動車交通による被害／第2章 脱クルマ社会へ向かう世界／第3章 クルマ社会の放置を許さなくなった地球温暖化／第4章 欧米で進行する自動車交通削減／第5章 シンガポールの先進的自動車体系／第6章 環境にやさしくと矛盾する自動車業界の動き／第7章 地球環境に逆らって自動車道路建設／第8章 時代に逆らう日本の新交通政策／第9章 尼崎公害判決とディーゼル排ガス対策の歴史／終章 環境重視の交通計画を推進する力



ディーゼル車公害

川名英之著
四六判並製 252頁 2000円
ISBN4-8461-0021-9 C0036

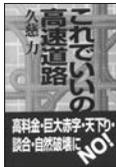
肺がん、呼吸器疾患、花粉症、地球温暖化の元凶であるディーゼル排ガス。先進国に比べ日本は野放しで、ディーゼル車の販売台数はうなぎのぼり。地球温暖化防止の国際条約にも違反する始末。問題点と緊急対策を提起。(2000.12)



東京湾アクアラインの検証

久慈力著
四六判並製 232頁 1800円
ISBN4-8461-9909-6 C0036

総事業費1兆4400億円の巨費を投じ完成した東京湾アクアライン。だがこの1年間の交通量は通行料の高さも禍いし予定の4割にも満たなかった。年間欠損は933億円にのぼり、返済の目処さえない。公共事業の大愚行、アクアラインを総点検。(1999.7)



これでいいのか高速道路

久慈力著
四六判並製 214頁 1900円
ISBN4-8461-9621-6 C0065

高速道路の料金はなぜこんなに高いのか？道路公団はなぜ巨大な赤字をかかえているのか？阪神大震災での被害はなぜ起こったのか？関係法人は大儲けし、談合は花盛りで建設だけが進み、自然は破壊される。高速道路路行政を厳しく告発する。(1997.1)



どうする旧国鉄債務

横田一著
四六判並製 197頁 1800円
ISBN4-8461-9807-3 C0036

国民1人あたり20万円、総額28兆円の旧国鉄債務。国鉄の分割・民営化から10年で1.7倍にも増えた国民の借金負担。本書は、処理法案によって国民へのツケ回しが目論まれている旧国鉄債務の原因と責任を徹底追及した告発の書！(1998.4)



「国鉄改革」を撃つ 公共交通の再生

鎌倉孝夫著
四六判上製 214頁 1600円
ISBN4-8461-8625-3 C0033

国鉄の「分割・民営」は、天文学的な資産の切り売りと財界による国鉄乗っ取りの大陰謀計画である。交通政策の第一人者が膨大なデータを分析、本質をトータルに解明し公共交通としての国鉄の民主的再生の道を構想する。(1986.9)



成田空港って何だろう [新装版]

松岡秀雄著
四六判上製 302頁 2500円
ISBN4-8461-8903-1 C0036

公益性の名を冠するにあたいしない、戦後最大の愚挙といわれる成田空港建設問題を、科学的・実証的・歴史的・体系的に分析した書がないなかで、人権の論理を基底に空港建設の不法性・不当性を明らかにした注目の労作！(1989.3)

☆*

Ⅲ 社会問題の本

人権を守る



どうなくす? 部落差別

3.11以降の差別を考える

塩見鮮一郎著

A5判変並製 180頁 1700円
ISBN978-4-8461-1218-9 C0336

3.11以降、福島から避難してきた子どもたちが「放射能がうつるから」といわれて遊んでもらえなかったり、避難住民がホテルなどの宿泊を断られたりする問題が続発した。

本書は、「放射能差別」とも呼ばれる3.11以降の差別問題を通して、なぜ差別が生まれるのか、なぜいじめが絶えないのかを近代史のうちに探る。隠そうとする心が差別を助長させてないのか、そして水平社運動の原点に立ち帰って、どうすれば部落差別をなくせるかを提言する。

(2012.10)

[内容構成]

部落差別と3・11とは関係しますか? / 「放

射能差別」という言葉はなんですか? / 部落差別となぜ似ているのですか? / 差別は競争社会の産物ですか? / 部落差別は封建的遺制ですか? / 近代の部落問題の始まりは? / 経済成長はどういう変化を部落にもたらしましたか? / 地名鑑鑑と差別語問題は最後のテーマでしたか? / 二十一世紀の部落問題はどのようになりますか? / いじめは差別ですか? / 「競争」と「差別」のちがいは? / 「美女コンテスト」は差別なのですか? / 本当に「職業に貴賤はない」のですか? / 心理的な差別と社会的な差別はどちらがうのか? / 差別は憲法に違反しているのですか? / 維新の変革期になにがおきたのですか? / 文明開化の強行で部落の運命は? / 部落差別は都市へ運ばれて行ったのですか? / 近代の文化が差別をふくむのはなぜですか? / 「表現の自由」と「差別語禁止」の関係は? / 差別はタブーフリーで解消するのでしょうか?

参考レポート「東日本大震災と福島第一原発事故をめぐって」根本信行



それは6歳からだった ある近親姦被害者の証言

イザベル・オプリ著

小沢君江訳

四六判上製 296頁 2500円
ISBN978-4-8461-1202-8 C0036

実父や祖父などによる子どもへの近親姦は、想像以上に多い。しかし最も忌むべきタブーとして家族内で隠蔽され、告発されることは極めて少ない。しかも被害者は精神を病んだり、自傷や自殺にはしるケースが多い。

フランスで初めて国際近親姦被害者協会を

設立して、この問題に取り組む著者が、6歳の時に実父から近親姦をうけ、14歳になるまで乱交などを強要された、自らの赤裸々な半生を語った衝撃の書!

(2012.3)

[内容構成]

1章 ボルト・ドーフィンヌ…… / 2章 オブジェ / 3章 パパとわたしの小さな秘密 / 4章 パパの家に移る / 5章 父がわたしにしたこと / 6章 犯罪人 / 7章 地獄のあともうひとつの地獄 / 8章 錯乱状態のなかで / 9章 助かる / 10章 死者の喪、生者の喪 / 11章 フランスはこの分野ではいまだに石器時代 / 12章 ニコラとわたし / 訳者あとがき



刑事事件お助けガイド

矢野輝雄著

A5判並製 192頁 2200円
ISBN978-4-8461-1012-3 C0032

本書は、告訴・告発のしかたから起訴後まで、刑事手続きの仕組み、そこでの対応法や問題点、また、新たに導入された裁判員制度とその問題点も解説しています。被疑者やその家族の立場から、まさかの時の刑事事件お助けガイドになっています。

(2010.10)

[Qの例]

告訴・告発とは、どういうことですか? / 検察官が不起訴処分にした場合は、どうするのですか? / 捜査を開始するのは、どんな場合ですか? / 被疑者の取り調べは、どのように行われるのですか? / 通常逮捕の手続は、どのようになりますか? / 勾留とは、どういうことですか? / 搜索とは、どういうことですか? / 被疑者とされた者の権利は、どうなっていますか? / 捜査が終了した場合は、どのように処理されますか? / 起訴(公判の提起)とは、どういうことですか? / 他



プロブレムQ&A
新・部落差別はなくなったか？
 (隠すのか顕すのか)

塩見鮮一郎著
 A 5判変並製 216頁 1800円
 ISBN978-4-8461-1017-8 C0336

*

部落民は「見えない人間」になりつつあり、マスコミも部落についてふれようとしな
 い。では、差別がなくなったのかという、
 ネットではあからさまな部落差別表現がとび
 かう。

部落問題については、隠せと顕せ、のふた

つの主張が繰り返されてきた。本書は、部落
 差別もまた、他の差別問題と同様に顕すこと
 で、議論を深め、解決していく必要を説く。

新版では、旧版の第2部「近代差別の構造」
 を割愛し、「21世紀の部落」のルポと写真な
 の書き下ろしを新たに加えた。(2011.1)

[Qの例]

部落はどこにあるのですか？／『破戒』はな
 ぜ批判されたのですか？／差別と政治とのか
 かわりは？／「近代差別」をどのように理解
 しますか？／差別は日常生活にあるのです
 か？／マスメディアは差別の元凶では？／差
 別はタブーフリーで解消するのでしょうか？



プロブレムQ&A
戸籍って何だ [増補改訂版]
 (差別をつくりだすもの)

佐藤文明著
 A 5判変並製 268頁 1900円
 ISBN978-4-8461-1002-4 C0336

*☆

戸籍制度は日本独特のもの。謄本や抄本な
 んて他の国にはないし、そもそも外国人や婚
 外子を差別し人権侵害の根源である。近年は
 国際非難も浴びている。2008年には韓国でも
 占領下で押しつけられた戸籍を廃止した。

本書は戸籍研究者として知られる著者が、

戸籍の問題点を中心にQ&Aで解説する。
 最新の関係法の改正を踏まえ増補改訂した戸
 籍の決定版。(2002.7、2010.4 増補改訂)

[Qの例]

戸籍ってどんなもので、どこになが書かれて
 いるのですか？／「家」と天皇制はどんな関係な
 のですか。戸籍とはどうなのですか？／外国人差
 別、婚外子差別はいつから始まったのですか？
 解放令で部落差別は廃止されたはずですが、
 なぜ残ったのですか？／婚姻届を出す前に、考
 えてみたほうがいいことって、ありますか？
 韓国は戸籍廃止、日本でも廃止を目指す動き
 が始まったと聞きますが



プロブレムQ&A
在日「外国人」読本 [三訂増補版]
 (ポーターレス社会の基礎知識)

佐藤文明著
 A 5判変並製 220頁 1800円
 ISBN978-4-8461-0905-9 C0336

☆

在日「外国人」ってどういう人をいうのだ
 ろう？ 出入国管理法や外国人登録法はどう
 なっているのか？ 国際結婚から帰化の問題
 は？ ポーターレス化する日本社会の中で、人
 権を無視される在日「外国人」の問題をわか
 りやすく解説。

本書三訂増補版では、09年7月に成立した
 入管法・入管特例法・住民基本台帳法の改定
 の問題点などを総点検。在日「外国人」の人
 権を考えるロングセラーの決定版！

(2009.9、旧版1993.6、1996.12)

[Qの例]

「外人」と呼ぶと嫌がる外国人がいるのはな
 ぜですか？／日本の少数民族はどのようにな
 っているのですか？／韓国・朝鮮の祖国で
 は在日同胞をどう考えているのですか？／
 ニューカマーってどんな人たちのことですか？
 国際結婚で子どもの戸籍・国籍は？



プロブレムQ&A
問い直す「部落」観
 (日本賤民の歴史と世界)

小松克己著
 A 5判変並製 256頁 1800円
 ISBN4-8461-0520-2 C0336

本書は日本の賤民(被差別民)の形成・成立・
 確立・解体を歴史的展開のなかに問い直す。
 そして、社会問題としての部落問題がいかに
 成立したのかを考察、近代化のどこに問題が
 あったのかを論じつつ、今日の部落差別の現
 実を再度検証する。(2006.2)



プロブレムQ&A
問い直す差別の歴史
 (ヨーロッパ・朝鮮賤民の世界)

小松克己著
 A 5判変並製 200頁 1700円
 ISBN4-8461-0516-4 C0336

*☆

中世ヨーロッパでは、職業による差別があ
 り、また朝鮮でも「白丁」と呼ばれる人々が、
 賤視されていた。本書は、人権感覚を問いつ
 つ「洋の東西を問わず、歴史のなかの賤民(被
 差別民)は、どういう存在であったか」を
 追い求め、差別とは何かを考える。(1996.11)



プロブレムQ & A⑩
どう超えるのか? 部落差別
[人権と部落観の再発見]

小松克己・塩見鮮一郎著
A 5 判変並製 235頁 1800円
ISBN4-8461-9619-4 C0336

部落差別はなぜ起こるのか? 本書は被差別民の登場と部落の成立を歴史に追ひ、近代日本の形成にその原因を探る。また現代社会での差別を考察しつつ、人間にとって差別とは何であるのかに迫り、どう超えるかを考える。(1996.11)

*



プロブレムQ & A⑫
在日韓国・朝鮮人読本
[リラックスした関係を求めて]

梁泰昊著
A 5 判変並製 192頁 1800円
ISBN4-8461-9601-1 C0336

世代交代が進み「在日を生きる」意識もち行動する在日韓国・朝鮮人が増えている。強制連行や創氏改名などの歴史問題から外国人登録や参政権などの生活全般にわたる疑問に答え、差別や偏見を越えた共生の関係を考える。(1996.4)



DNA鑑定 [増補改訂版]
科学の名による冤罪

天笠啓祐／三浦英明著
四六判上製 216頁 定価 2200円
ISBN4-8461-0603-9 C0036

「DNA鑑定」が人物特定の切り札となっているが、捜査当局の旧態依然たる人権感覚と結びつく時、様々な冤罪が生み出されている。本書は具体例を検証し、問題を明らかにする。最新のDNA鑑定の動向を増補、全面改訂版。(2006.2、旧版 1996)

☆



「逮捕・起訴」対策ガイド
市民のための刑事手続法入門

矢野輝雄著
A 5 判並製 208頁 2000円
ISBN4-8461-0219-X C0032

万一、あなたやあなたの家族や友人が犯人扱いされたり、犯人となってしまった場合、どうすればよいのか。本書はそういう人たちのために、逮捕から起訴、そして裁判から万一の服役まで刑事手続法の一切をやさしく解説する。(2002.10)

*



全国監獄実態 [四訂版]

監獄法改悪とたたかう獄中者の会編著
四六判並製 356頁 2500円
ISBN4-8461-0604-7 C0036

初版発行以来20年、版を重ねたこの分野第一の名著。厳しい監視下で獄中者により行われた実態調査アンケートをもとに、想像を絶する非人道的実態を明らかにし、日本の拘禁法制の問題性を衝く。新受刑者処遇法の解説を加えた四訂版。(2006.3、旧版 1985.3)

*



『在日「外国人」読本』三訂増補版書評
さまざまな点で人権を侵害

「日本の少数民族はどのようになっているのですか?」「入国管理法ってどんな法律なのですか?」「日系外国人の『定住』化とはどんなことですか?」

か?」一ボーダーレス化社会と在日外国人について36の項目を立て、Q & A方式で紹介した。同じ版元の「プロブレムQ & Aシリーズ」の1冊。改正された入管法・入管特例法・住民基本台帳法の問題点にも言及。

●『中日新聞』2009年10月25日付



『問い直す「部落」観』書評
基礎入門編だがレベルの高い内容

本書は96年に出版された『どう超えるのか? 部落差別』に加筆再構成したものである。部落差別についての基礎入門編だが、近年の歴史研究の成果を取り入れたレベルの高い内容になっているし、「部落差別は、どのような特質をもつ、どのような差別問題ですか?」「近

世の部落はどのようにして制度化されたのですか?」というQ & A形式になっている点も分かりやすい。これまで通説となっていた「被差別部落は農民の不平・不満をぞらし、民衆を分断支配するために」作られたという「近代政治起源説」は根拠のない解釈であったという指摘も正しい、反差別の運動に「おおらかさ」と「広がり」を求めている点は卓見である。

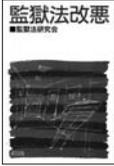
●『出版ニュース』2006年4月中旬号書評より



冤罪と国家賠償
 沖縄ゼネストと松永国賠裁判
 松永国賠を闘う会著
 井出孫六解説
 四六判上製 296頁 2400円
 ISBN4-8461-9474-4 C0032

沖縄復帰闘争のなかで警官殺害の犯人にデッチ上げられた青年が無実を勝ち取り、人権補償を求めた23年の歩み。一青年の人生をズタズタに切り裂きながら、なお国家賠償を拒む国、それを支持する最高裁を指弾する！
 (1994.4)

*



監獄法改悪
 監獄法研究会編著
 四六判上製 349頁 2400円
 ISBN4-8461-8624-5 C0036

監獄法を改悪しようとする国家の目論見はなにか。十数年にわたる救援運動の実績をもとに弁護士、医師、活動家が協力し新監獄法＝刑事施設法案を全角度から全面的に批判。同法案、同法修正案、留置施設法案も全文収録！
 (1986.7)



プロブレムQ&A①
逮捕・拘禁セキュリティ
 [被疑者・被告人・受刑者たちの人権]
 佐藤友之著
 A5判変並製 180頁 1500円
 ISBN4-8461-9367-5 C0336

不幸にして「犯人」とされた時、まず私たちには何ができ、何をやらなければいけないのか？ 職務質問・家宅搜索の対応法、取調べでの心構えや弁護士選任、法廷や留置場・拘置所などの知識など、人権擁護のノウハウを満載！
 (1993.6)



『百年のチャランケ』紹介
8年に及んだこの裁判の全容

1997年に成立・施行されたアイヌ文化振興法に基づいて、この年、道はアイヌ民族の共有財産に対する返還を公告した。これが理不尽であるだけでなく、不正なものであるとして、共有者の人たちが道知事を訴えたアイヌ民族共有財産裁判。本書は8年に及んだこの裁判の全容をまとめた記録集である。

アイヌ民族の共有財産というのは、北海道旧土人保護法（1899年制定）などに基づき、北海道庁長官（後に道知事）が管理してきた財産。明治から戦前にかけて生活保護などを名目に交付された現金や土地などで、管理する力がないという差別的認識のもと、道の管理下に置かれてきた。

ところが、アイヌ文化振興法の施行に伴い旧保護法が廃止、付則に共有財産の返還が明記されたため、凶らずも管理の実態が浮き彫りに

なったといえる。土地などについては既に管理を終えたとして、知事が返還の対象としたのはわずか18件、合計約129万円の現金のみだったのである。

裁判の原告団長、小川隆吉エカシは、道知事が共有財産の管理状況を少なくとも戦後60年、アイヌ民族に知らせたことは一度もなかったと述べている。また、漁場や土地の不動産が換金された領収書もないという。ずさんで不正な管理が行われてきた結果、共有財産が雲散霧消してしまったと考えるのも当然である。

既に報道されてきたように2006年3月、最高裁が上告を棄却してこの裁判の敗訴は確定している。だが、アイヌ民族が歩んできた苦難の歴史を考えたとき、札幌地裁での第一審、札幌高裁での第二審において、原告たちが財産処分 の不当性を語る意見陳述に、私たちは目を背けることはできないのである。

(評者：中館寛隆「ほっかいどうの本」欄)

●『北海道新聞』09年10月11日朝刊より。

アイヌ差別を問う



百年のチャレンジ アイヌ民族共有財産裁判の記録

「アイヌ民族共有財産裁判の記録」編集委員会編

A 5判上製 616頁 6000円
ISBN978-4-8461-0908-0 C0036

明治から北海道庁が管理してきたアイヌ民族共有財産。アイヌ文化振興法の成立で返還されることになったが、杜撰かつ不正な管理で、財産は雲散霧消、あるものはこれだけで縮めて130万円という。

あまりの理不尽にアイヌ民族は不正・不法を訴えるが、行政を弁護する司法の前に裁判は破れる。

本書は、アイヌ民族の尊厳と人権を懸けた〈百年のチャレンジ＝談判〉裁判闘争の全記録であるとともに、今日の日本国家によるアイヌ民族蔑視・差別の構造を余すところなく明らかにする。(2009.8)

【内容構成】

第I部 アイヌ民族共有財産裁判の経過と意義について

1 アイヌ民訴区共有財産裁判の経過／2 裁判の意義および争点について

第II部 第一審 札幌地方裁判所 民事第三部

1 訴状および準備書面／2 証拠書類／3 原告意見陳述／4 札幌地方裁判所判決／5 原告団声明／6 全国連北海道知事宛要求署名

第III部 第二審 札幌高等裁判所 第三民事部

1 控訴状および準備書面／2 控訴人意見陳述／3 証人尋問調書／4 意見書等／5 札幌高等裁判所判決／6 北海道知事宛公開質問

第IV部 最高裁判所 上告

1 上告申立／2 上告人要望書／3 最高裁判所上告棄却決定書／4 アイヌ民族共有財産裁判上告人緊急声明

付録



プロブレムQ&A アイヌ差別問題読本 [増補改訂版] [シサムになるために]

小笠原信之著
A 5判変並製 268頁 1900円
ISBN4-8461-0417-6 C0339

先頃の二風谷ダム判決や、先の国会で成立した「アイヌ文化振興法」と話題になっているアイヌ。しかし私たちは、アイヌの歴史をどれだけ知っているのだろうか？ 本書はその歴史と差別問題、そして先住民権とは何か、をやさしく解説。(2004.10)

【Qの例】

アイヌってどんな人たちですか？

「蝦夷征伐」ってなんですか？

コシヤメインってだれですか？

シャクシャインの蜂起って何ですか？

「北海道旧土人保護法」でアイヌはどうになりましたか？

和人は悪いことばかりしてきたのですか？

アイヌが独立するという話があったんですか？

アイヌはどんな差別をされているのですか？

アイヌ新法って何ですか？

「アイヌ文化振興法」の問題点はなんですか？

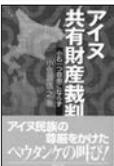


アイヌ近現代史読本

小笠原信之著
A 5判並製 280頁 2300円
ISBN4-8461-0108-8 C0036

☆☆

アイヌの歴史をやさしく書いた本は、ほとんどない。本書は、さまざまな文献にあたり、日本のアイヌ支配の歴史、アイヌ民族の差別との闘い、その民族復権への道程を分かりやすく書いた、江戸末期から今日までのアイヌ民族の近現代史。(2001.7)



アイヌ共有財産裁判 小石一つ自由にならず

小笠原信之著
四六判上製 264頁 2200円
ISBN4-8461-0403-6 C0036

「北海道旧土人保護法」のもと「アイヌ共有財産」として道庁が管理してきた下賜金や下付金は、ずさんにも1世紀後の今に残るは、わずか147万円。その顛末にアイヌの人々の怒りが爆発、裁判に立ち上がった。本書はその闘いの克明な記録である。(2004.3)

多様な性を考える



プロブレムQ&A 性同一性障害って何? [増補改訂版] [一人一人の性のありようを大切にするために]

野宮亜紀・針間克己・大島俊之・原科孝雄・虎井まさ衛・内島豊著 A5判変並製 264頁
2000円 ISBN978-4-8461-1101-4 C0336 *

特例法が2004年から施行され、日本でも性同一性障害が社会的に認知されるようになったものの、当事者を取り巻く環境は厳しい。本書は発売以来五刷りを重ねた入門書として定評の高いロングセラーに最新情報をプラスした改訂版。(2011.2、旧版2003.9)

[Qの例]

性同一性障害は病気なのですか？
性同一性障害ではないかと思ったとき、誰に相談すればいいのですか？
性同一性障害の人が受けるホルモン療法ってどういうものなのですか？
性別適合手術ってどういうものなのですか？
クラスに性同一性障害の生徒がいたら、どう扱うべきでしょう？
職場に性同一性障害をもつ人がいたら、どう扱うべきでしょう？
どのような手続きで性別を変更するのですか？



プロブレムQ&A 性同一性障害と戸籍 [性別変更と特例法を考える]

針間克己・大島俊之・野宮亜紀・虎井まさ衛・上川あや著 A5判変並製 204頁 1700円
ISBN978-4-8461-0721-5 C0336 *

戸籍上の性を変更することが認められる特例法が2004年から施行された。これにより性別変更ができた人がいる反面、要件（子がいな人など）に適合せず、未だ苦しんでいる人もいる。問題点を当事者と専門家が詳しく解説する。(2007.12)

[Qの例]

性同一性障害者性別取扱特例法とは何ですか？
戸籍の性別変更手続の仕方はどうするのですか？
戸籍の性別変更をした理由は何ですか？
メリットはありますか？
性別適合手術を望まない人はどうなるのですか？
海外で手術していても大丈夫でしょうか？
ニューハーフやおなべでも認められますか？
今後の制度的な改善はどのようにすべきですか？



プロブレムQ&A パートナーシップ・生活と制度 [結婚、事実婚、同性婚]

杉浦郁子・野宮亜紀・大江千束編著
A5判変並製 224頁 1700円
ISBN978-4-8461-0701-7 C0336

カップルのパートナーシップの形は、法律婚だけでなく、結婚を選ばない事実婚や、結婚を選ばない同性間パートナーシップなど、近年、多様化している。だが、社会の理解や法的保護が不十分なため、そうしたカップルの権利を守ることができず、さまざまな問題が発生している。

本書は、実際の生活における問題点を取り上げその対応策を提案し、パートナーシップをめぐる世界的な動きを紹介しながら、新たなパートナーシップ制度を考える。(2007.1)

[主内容]

パートナーシップとは
結婚制度
事実婚
同性のカップル
パートナーシップ制度
生活や権利を守るために／子どもとの関係
全体の課題

[Qの例]

パートナーシップとは何ですか？
結婚することにはどんなメリットがあるのでしょうか？
事実婚の法的な扱いについて教えてください。



プロブレムQ&A

同性パートナー生活読本

〔同居・税金・保険から介護・死別・相続まで〕

永易至文著

A 5判並製 192頁 1700円

ISBN978-4-8461-0901-1 C0336

*

同性パートナーは、今の日本社会で生活していく上で、男女の夫婦と比べると、さまざまな困難や障害、差別に出会います。結婚式、戸籍や住民票の作成、社会保険や税金、住宅の賃貸や購入、住宅ローン、看護や手術、介護、そして死別と相続など、人生の各ステージで同性パートナーは、いろいろな問題にぶつからざるをえません。そんなとき、どうなるのか、どうすればいいのかを、先例・実例を豊富に紹介しながら、解決策をわかりやすく解説します。(2009.3)

〔主内容〕

同性パートナーシップを求める前に／住民票と住居、さまざまな家族向けサービス／税金と健保・年金、生命保険／在留資格、緊急医療、介護／死と相続、お墓、そして／同性パートナーシップ保障、いまやれること

〔Qの例〕

なぜ同性パートナーシップに法的保障を求めるのですか？
同性パートナーと一緒に住宅ローンを借りられますか？
同性パートナーを年金の三号被保険者にできますか？
外国人の同性パートナーに、配偶者ビザはとれますか？
同性パートナーの緊急時に、私は安否確認できるでしょうか？
同性パートナーの死後の相続について教えてください。



バックス

新しいパートナーシップの形

ロランス・ド・ペルサン著

齊藤笑美子訳

四六判上製 192頁 1900円

ISBN4-8461-0405-2 C0036

〔内容構成〕

まえがき
序論
バックス、その使用方法
バックス中の共同生活
バックスの終了

欧米では、結婚を選ばない異性カップルや結婚を認められない同性カップルが増えて、多様なパートナーシップの形が定着してきている。しかし、その共同生活の中で、さまざまな問題も起きている。住居、財産、税制などでの不利や障害、別離後の財産分割、死亡による相続での不利や差別の問題など。こうした問題を解決するために、連帯民事契約＝バックスとして法制化したフランスの事例に学び、新しいパートナーシップの形を考える。(2004.8)

訳者解説

齊藤笑美子

はじめに

「同性カップル」の承認要求の出現
政治、フランス社会、専門家とバックス
功績と限界
日本は遅れている？
終わりに



『バックス』書評

保守的な日本にバックスが導入される日は来るか

日本では最近、適齢期を過ぎても結婚しない女性は「負け犬」と呼ばれているようだが、フランスでは結婚を選ばないカップルに、法的保護が定められていることをご存じだろうか。(中略)

欧米では結婚を選ばない異性カップルや、同性カップルが増加、パートナーシップの形が多

様に変化している。しかし、結婚の契約を結ばないことで、別離後の財産分割や死亡による相続などさまざまな不利益が生じる。こうした問題を解決するバックスは、成人した同性あるいは異性の2人であれば、契約を結ぶことができ、既婚者同様に社会保障も受けられるのだ。

「日本ではまず、夫婦別姓や婚外子の相続分差別制度の見直しなど、取り組むべき問題が残っている」という著者。保守的な日本にバックスが導入される日は来るか――。

●『日刊ゲンダイ』2004年10月



プロブレムQ&A
10代からのセーフセックス入門
【子も親も先生もこれだけは知っておこう】

堀口貞夫・堀口雅子・伊藤 悟・築瀬竜太・大江千東・小川葉子著 A 5判変並製 220頁 1700円 ISBN4-8461-0510-5 C0336

ここ数年日本では、若者の望まない妊娠・人工中絶やSTD（性感染症）・HIVの感染者が増加し続けている。学校では、性教育はバッシングの対象となり、十分な性知識を教えられないのが現状だ。無防備なセックスは誰でも妊娠やSTDになる危険性がある。

これ以上望まない妊娠・STD感染者を増やさないために、正しい性知識と、より安全なセックス＝セーフセックスについて、Q&A形式で詳しく解説。 (2005.7)

【Qの例】

性教育は何歳くらいから始めるべきですか？セーフセックスとはそもそもどんなことをいうのですか？
 中絶手術について教えてください
 STDにはどんなものがありますか？
 病院に行かなくてもHIVを調べる方法はありますか？



レインボー・フォーラム
ゲイ編集者からの論士歴史

永易至文編
 四六判上製 232頁 1800円
 ISBN4-8461-0614-4 C0036

ゲイの社会派季刊誌「虹」の編集者が、現代日本を代表する論客とたまたかわせた痛快な人権論、社会論 (2006.10)

【内容構成】

関曠野——そうだったのか、「人権」って

辛淑玉——「敵」のなかにこそ味方がいる
 山田昌弘——転換期にある家族
 上野千鶴子——フェミがエイジングと出会ったところ
 海老坂武——中年とシングルをめぐる十の断章
 石川由紀——これで安心、シングル生活
 森元美代治——罹って恥ずかしい病気はない
 市川誠一——「ゲイとHIV」にかかわるとは
 福島みずほ——福島党首、おたずねします
 尾辻かな子——サヨナラ、おまかせ民主主義
 宮崎哲弥——論の対象としての共同体
 小熊英二——広場としてのコミュニティへ



プロブレムQ&A
同性愛って何？
【わかりあうことから共に生きるために】

伊藤悟・大江千東・小川葉子・石川大我・築瀬竜太・大月純子・新井敏之著 A 5判変並製 200頁 1700円 ISBN4-8461-0220-3 C0336 *

クラスに1人はいる計算になる同性愛者。同性愛にたいする偏見と差別が同性愛者を見えにくくし、生きにくくしている。同性愛者も異性愛者も互いにわかりあい、共に生きるための入門書！ (2003.4)

【Qの例】

性同一性障害の人と同性愛の人はどこが違うのですか？
 子どもが同性愛者だってわかったら、親はどうすればいいのですか？
 友人から「ゲイ」「レズビアン」だとカミングアウトされました
 学校教育の中で同性愛はどんなふうに取り扱われていますか？
 日本では同性愛者は結婚できますか？ またそれに代わる制度はありますか？
 同性愛者であっても子育てはできるのですか？



性なる聖なる生
セクシュアリティと魂の交叉

虎井まさ衛・大月純子／河口和也著
 四六判並製 240頁 1700円
 ISBN4-8461-0503-2 C0036

自らをポリセクシュアルと語る牧師と、性同一性障害で性別 適合手術をした男性の著者が、別々の視点から「聖なるもの」を語り、信仰とは無縁な人も含め、一人一人の性を自分らしく、今を生き生きと生きるために性と聖を見つめなおす。 (2005.3)

【内容構成】

はじめに 虎井まさ衛
 I わたしらしく生きるために 大月純子
 第1章 信仰とセクシュアリティの立場
 第2章 それぞれの視点から
 II 一秒ずつ生きて幸せになろう 虎井まさ衛
 第1章 信仰とセクシュアリティの立場
 第2章 それぞれの視点から
 III 鼎談 今を生きる 河口和也・虎井まさ衛・大月純子
 あとがき 大月純子
 『性なる聖なる生』解説 河口和也

「障害者」と生きる



私たちの仲間 結合双生児と多様な身体の未来

アリス・ドムラット・ドレガー著 針間克己訳
四六判上製 272頁 2400円
ISBN4-8461-0421-4 0036

結合双生児、インターセックス、巨人症、小人症、口唇裂……多様な身体を持つ人々。その中でも、もっとも独特な身体と思われる結合双生児。本書は、人種差別から医学裁判まで、身体的「正常化」の歴史的文化的背景をさぐり、独特の身体に対して治療でも同情

でもなく、変えるべきは身体ではなく、人々の心ではないかと問いかける。(2004.12)

【内容構成】

はじめに
第1章 結合双生児は個人であるのか
第2章 分離手術をするべきかしないべきか
第3章 一人を犠牲にしても分離するべきか
第4章 アイルランドの巨人を解放せよ
第5章 新しい時代の正常な身体とは
訳者あとがき



プロブレムQ & A 「障害者」と街で出会ったら (増補改訂版) 〔通りすがりの介助術〕

もりすぐる著
A 5判変並製 224頁 1800円
ISBN4-8461-0213-0 C0336

☆☆

「障害者」が生活しやすいバリアフリーな社会をつくるための知恵と、様々なケースでの介助方法を紹介する。今回新しく、内部障害、難病の人との接し方などを増補し、全面増補改訂した最新版！

(2002.8、旧版 1996.10)

【Qの例】

街で「障害」をもつ人が見かけたらどうする？
車椅子を利用している人と歩道を歩くときは？
目が不自由な人を誘導するにはどうすればいい？
盲導犬ってどんな犬なんですか
視覚障害の人と一緒に食事をするときは？
言葉が不自由な人と会話をするには？
「マヒ」という言葉をよく耳にしますが、どのようなことですか
「内部障害」って、何ですか
「障害」をもつ人が暮らしやすい街とは、どんなものなのでしょうか



プロブレムQ & A バリアフリー入門 〔誰もが暮らしやすい街をつくる〕

もりすぐる著
A 5判変並製 168頁 1600円
ISBN4-8461-9907-X C0336

街づくりや、交通機関、住まいづくりでよく耳にする「バリアフリー」。誰でも年を取れば日常生活に「バリア」を感じるが多くなる。何がバリアなのか、バリアをなくす＝バリアフリーにはどうすればいいのかを分かり易く解説。(1999.6) (美本なし)



「私たちの仲間」書評 障害ある身体から社会を問う

衝動的で、深く心に染み込む本だ。結合双生児やインターセックス、巨人症など多様な身体を持つ人々のエピソードを紹介しながら、障害とは、身体とは何なのかと鋭く問いかける力作である。

結合双生児は一人と数えるのか二人なのか。

なぜ彼らを分離することが医学的に正しいことだとされ、分離されれば「ついに自由に」といわれ、手術が失敗すれば「彼らは勇敢だった」と美談になるのか。ほとんどの結合双生児は分離を望んでいない。なぜ個人の身体でなく社会の心を変えないのか、というのが医学史家である著者の主張であり読後は社会の見方が変わるだろう。

●『日本経済新聞』05年2月3日付

教育を考える



自由な学びとは サドベリーの教育哲学

ダニエル・グリーンバーグ著／大沼安史訳
四六判上製 480頁 3400円
ISBN978-4-8461-1001-7 C0037

ダニエル・グリーンバーグが「サドベリー教育」について書いた本は数多いが、そのほとんどはエピソード中心の入門の書である。これに対し本書は、著者の「サドベリーの教育哲学」を全面的に展開したものだ。サドベリー・バレー校での経験から生み出された著者の教育理論の全結晶である。

物理学者であり科学史家でもある著者は、独自の視点で、古代ギリシャの自然哲学をはじめ歴史、言語、経済などさまざまな領域に分け入り、「自由な学び」を土台から再構築する。上意下達のピラミッド型組織から、対等な水平組織へ！ 新たな「この時代」の、

現実的な学校理論として、「自由とデモクラシーの教育哲学」を提起している。(2010.9)

【内容構成】

- I 恐怖が消えて行く／知識と不確実性／ポスト・モダンの時代に考える／遊び／一人とみんなをつなぐもの／卓越さの追求とデモクラティック・スクール
- II 子どもたちと大人たち一人間行動をめぐるエッセイ／後記
- III サドベリーと「現実世界」／サドベリーと二つのエコノミー／マネー・取引・経済秩序の進化
- IV 教育の意味／学ぶこと、教えること、そして教師であることについて／関心を持つということ



ドイツ環境教育教本 環境を守るための宝箱

ティルマン・ラングナー著
染谷有美子訳
四六判上製 356頁 2800円
ISBN978-4-8461-0917-2 C0037 ☆*

環境教育の重要性が声高に叫ばれていても、子ども達に何を教え、どうやって重要性を認識させるかは大変難しいものである。ともすれば、牧歌的な自然体験や技術的な解決策がもてはやされ、環境問題への社会批判的な視点がおろそかにされている。

本書は、環境政策先進国、ドイツの環境教育のための教本で、小学校高学年から高校1年までの生徒を対象に42単元を紹介している。具体的なきっかけ作りを集め、単元毎に、ねらい、対象グループ、準備と実施、専門との関連、経験と成果というように目的を明確にし、環境教育に役立ち、成果の上がる授業

内容になっている。教育者のみならず社会教育や家庭でも活用できるマニュアルだ。

(2010.2)

【内容構成】

- まえがき
日本語版への序文
- 第1章 エネルギー、大気、気候
 - 第2章 ごみ、原料、物質の流れ
 - 第3章 水
 - 第4章 自然とその保護
 - 第5章 モビリティと交通
 - 第6章 環境と健康
 - 第7章 学校や地方公共団体における参加参考文献／訳者による補足参考文献およびインターネットサイト／訳者による解説／専門との関連による教科と対象学年の一覧（ページ）／索引



自由な学びが見えてきた サドベリー・レクチャーズ

ダニエル・グリーンバーグ著
大沼安史訳
四六判上製 232頁 1800円
ISBN978-4-8461-0801-4 C0037

本書は、『世界一素敵な学校』（下掲）の続編ともいべき書。同校の自由教育を回顧し、基本理念を再検討、「デモクラシー教育」の本質をより鮮明な視野で捉え返す。また、「ポスト産業社会」の教育の在り方を平易で、透明な言葉使いで、書き出す。(2008.1)



世界一素敵な学校
サドベリー・バレー物語

ダニエル・グリーンバーグ著
大沼安史訳
四六判上製 316頁 2000円
ISBN4-8461-0608-X C0037

☆☆

カリキュラムも、点数も、卒業証書もない世界一自由な学校と言われる米国のサドベリー・バレー校の物語である。人が本来持っている好奇心や自由を追い求める姿勢を育むことこそが教育であるとの理念を貫くまさに、21世紀のための学校だ。(2006.4)



ホームスクーリングに学ぶ

リンダ・ドブソン・著
遠藤公美恵訳
四六判並製 364頁 2300円
ISBN4-8461-0809-0 C0037

☆☆

今やアメリカでは、ホームスクーリングは優秀な生徒を多く排出している。本書は、草分け的存在である著者が、そのエッセンスを披露。手法や勉強のこつを具体的に伝授。ホームスクーリングをめざす親のみならず、すべての親に必読の書。(2008.7)



『ホームスクーリングに学ぶ』書評
子供の自立性を最大限重視

アメリカでは現在200万から250万人がホームスクール（在宅教育）で初等中等教育を受けている。驚異的な数字である。80年ごろにはほとんどの州で認められていなかったが、長年の運動の結果、現在はすべての州で合法化されている。これも驚きである。本書は、このようにアメリカですでに定着したホームスクーリングにおいて、「教師」を実践している多数の親に向けてそのあるべき姿を説き、一般の親にもその気になれば誰でもよい教師になれることを訴えている。

ホームスクーリングの実践者の多くは実は宗教保守派であり、公立学校の世俗的性格に不満を持つ親たちである。本書はそうした背景には触れていないが、社会的認知を受けるのがいかに困難であったかについては力説している。大学入試の成績が通常の教育を受けた子供と同じ程度であることを自ら証明することができて初めて、受け入れられたというのが実情である。

日本ではホームスクールに関して、不登校生

徒との関係で若干の関心があるのみであり、実践者はほとんどいない。しかし、親として子供の教育にどのようにかかわるべきかという観点から、多くのことを本書から学ぶことができる。とくに子供の自立性を最大限重視し、親（同時に教師）に対して「先生」であるよりも「ファシリテーター」（進むべき道を開けてあげる人）であるように説く議論は傾聴に値する。

同時に本書は痛烈な公立学校教育批判でもある。著者によれば、「現代のホームスクーリング運動は、教育を家庭や地域に戻そうとするもの」である。そして「教育というものが、比較的シンプルで、お金のかからない、家族中心の、楽しいプロセスだということ」に気がついて欲しいというのが著者の願いである。

市民の力で政府の責任と考えられていることを実行してしまうアメリカの政治文化の強韌（きょうじん）さ、教育における政府の役割と同時に、教育そのものの性格について根源に立ち返って考えるためにも、きわめて興味深い書である。訳書が出たことを喜ぶたい。

●久保文明氏評『朝日新聞』2008年8月31日

現代社会と宗教



解放の宗教へ

菱木政晴著
四六判上製 260頁 2200円
ISBN4-8461-9822-7 C0014

宗教とは何か。宗教はいかに支配イデオロギーとなるのか。「国家神道」「靖国」の問題や、仏教の戦争責任を問うことを通じて、脅しと癒しの支配イデオロギーとしての宗教を克服し、「批判原理としての浄土」を根拠に解放の宗教を目指す。(1998.12)

【内容構成】

- 第Ⅰ部 宗教とはなににか
- 第Ⅱ部 宗教はいかに支配イデオロギーとなるか
「靖国」という問題／国家神道の宗教学的考察／遺族の声とどく—公式参拝違憲—京都・大阪靖国神社公式参拝違憲訴訟と戦没者遺族—一九九〇年即位の礼・大嘗祭とは何であったか／日本仏教による植民地布教—東西本願寺教団の場合／日本仏教の戦争責任
- 第Ⅲ部 解放の宗教に向けて—真宗の場合
解放の真宗の前提／解放の真宗の基盤／解放の真宗の実践



青春を奪った統一協会 青春を返せ裁判(東京)の記録

青春を返せ裁判(東京)原告団・弁護団 編著
A5判上製 548頁 5800円
ISBN4-8461-0011-1 C0036

統一協会の「神」に万物=お金を捧げることによって人は救われると信じて、人参濃縮液を1本8万円で、大理石の壺を何百万円もの値段で売る若い信者たち。青春のすべてを捧げて活動して、裏切られ、疑問をもち、脱会した元信者たちが、統一協会を告発、青春

を返せと訴えた訴訟の全記録。(2000.11)

【内容構成】

- まえがき 神学博士・元東北学院大学教授 浅見定雄
- 「青春を返せ裁判」は何だったのか 弁護団 弁護士 山口 広
- 私たちの主張
- 【原告陳述書・調書】
- 【被告証言】



検証・統一協会 靈感商法の実態

山口広著
四六判並製 358頁 2400円
ISBN4-8461-9366-7 C0036

統一協会の被害にあった人は皆まじめな人ばかり…だから私は許せない。全国靈感商法対策弁護士連絡会の事務局長として、靈感商法による被害者の救済に奔走してきた弁護士がまとめた、靈感商法・統一協会告発の書！(1993.3)

【内容構成】

- 第一章 何が問題か
- 第二章 なぜ信者になるのか
- 第三章 靈感商法の実態
- 第四章 靈感商法の背景
- 第五章 統一協会とは
- 第六章 靈感商法と統一協会の未来
- 第七章 弁護士としての法律上の対策
- 第八章 なぜ靈感商法はなくならないか



統一協会信者を救え 杉本牧師の証言

杉本誠／名古屋「青春を返せ訴訟」弁護団編著
四六判並製 259頁 1900円
ISBN4-8461-9371-3 C0036

杉本牧師は、山崎浩子さんなどマインドコントロールされた信者の説得・救出活動を永年、展開してきたベテラン牧師である。本書は、靈感商法に利用された元信者がおこした「青春を返せ訴訟」で、同氏が語った救出証言。(1993.10)



統一協会合同結婚式の口と実態

全国靈感商法対策弁護士連絡会／
日本基督教団統一原理問題連絡会／
全国原理運動被害者父母の会編著
A 5判並製 272頁 2500円
ISBN4-8461-9715-8 C0036

タレント信者の参加と脱会で注目を集めた統一協会合同結婚式が97年、更に大規模に行われた。本書は統一協会の被害者救済にあたる三つの団体が、資料と証言をもとに、式典の実態を明らかにし、その危険性を強く訴える。(1997.9)



宗教名目による悪徳商法 日弁連報告書にみるその実態と対策

宗教と消費者弁護団ネットワーク編著
A 5判並製 256頁 2500円
ISBN4-8461-9607-0 C0036

宗教を装いしのびよる悪徳商法その他による被害はあとを絶たない。本書は長年被害者救済に携わってきた弁護士グループが、その実例と問題点、対応策を提示。日弁連の三報告書と併せて、その被害の根絶を世に訴える。(1996.5)



論争・宗教法人法改正

第二東京弁護士会・消費者問題対策委員会編
四六判並製 245頁 1800円
ISBN4-8461-9597-X C0036

オウム真理教による宗教に名を借りた犯罪、統一協会等の靈感商法、霊視商法といった詐欺的商法による被害の続出。こうした事態を招いた一因は、宗教法人法にあるとして改正問題が急浮上した。本書は改正の是非を問う。
*



『検証・統一協会』書評 あくまで被害者や元信者、家族などの 証言と証拠をして事実を語らしている

昨年の山崎・桜田の合婚騒動以来、統一協会報道はまさに汜濫状態。多すぎる情報を整理し、統一協会と靈感商法の実態を集大成したのが、『検証・統一協会——靈感商法の実態』。

靈感商法での印鑑、壺のセールスの実態。街頭アンケートを使った信者リクルート。統一協会の国内外での活動。表面は関係ないと偽って活動する統一協会の隠れ団体から、被害にあった時の返金方法にいたるまで、統一協会に関す

る必要にして十分な情報が網羅されている。

著者の山口広は、靈感商法対策弁護士連絡会の事務局長として、6年間にわたって統一協会の被害者救済にあたった弁護士。

執筆に当たっては全国300名の弁護士や7000名の被害者から集めた膨大な情報を、再構成したという。

紹介されている一つ一つの内容自体、衝撃的な事実が並ぶ。が、その記述は法律家らしく抑制が利き、あくまで被害者や元信者、家族などの証言と証拠をして事実を語らしている。

●『週刊文春』1993年4月5日号より抜粋。



『論争・宗教法人法改正』書評 意見の違いをめぐって 激しいやりとりも

オウム真理教事件をきっかけに、大きな焦点となっている宗教法人法問題。改正の是非をめぐり論議が巻き起こっているが、本書は第二東京弁護士会が開催した同法についての研究討論

集会の内容を収録した。

集会は、慎重派、促進派がそれぞれの立場から問題を提議し、会場から質疑を受け付ける形で進行。意見の違いをめぐって激しいやりとりもあり、白熱した討論となっている。巻末には、宗教法人法そのものをはじめ、諸外国の法律とその適用例なども収録。

●『京都新聞』1995年10月1日付より抜粋。

働き方を考える



日産自動車の盛衰 自動車労連会長の証言

塩路一郎著
四六判上製 480頁 2200円
ISBN978-4-8461-1214-1 C0036

かつてトヨタと共に日本の二大総合自動車メーカーとして発展し、「技術の日産」「輸出の日産」と言われた日産自動車が、4兆円超の有利子負債を抱えて経営が破綻、フランスの国営企業ルノーに救済を求め連結子会社になるまでに凋落した。

いったい何があったのか。英国工場進出で労組が反対の記者会見をして以来、労使の対立抗争がマスコミを賑わせたが、やがて会社が仕掛けたスキャンダルで表舞台から去った自動車労連会長の証言。いまその歴史の真実が明らかになる。(2012.8)

【内容構成】

- 第一部 形成期 昭和28年～39年(1953～1964)
- 第二部 発展期 昭和40年～51年(1965～1976)
- 第三部 挫折期 昭和52年～61年(1977～1986)
- 第四部 塩路後の日産

参考資料

『基調報告』(IMF日産・トヨタ世界自動車協議会結成に当たって 1973年9月27日)



メンタルヘルスの労働相談

メンタルヘルス・ケア研究会著
四六判並製 244頁 1800円
ISBN978-4-8461-1112-0 C0036

本書は、SOSを発している相談者に寄り添い、相談を受ける側の心構え、相談の仕方、会社との交渉、労災申請、会社の協力の下での職場復帰プロセス、アフターケアなどを具体的に簡明に解説。メンタルヘルス・ケアの労働相談マニュアルの決定版。(2011.7)

【内容構成】

- 第一章 職場いじめの労働相談
- 第二章 職場いじめとは
- 第三章 どう対処するか
- 第四章 社会的問題となったメンタルヘルス・ケア
- 第五章 精神疾患の労災認定と問題点
- 第六章 職場復帰を成功させるには
- 第七章 自殺願望者・若者へのメンタルヘルス
- 第八章 労働相談のメンタルヘルス・ケア
- 第九章 私の叫びを私たちの叫びに
- 第一〇章 メンタルヘルス・ケアの課題



プロブレムQ&A ひとりでも闘える労働組合読本 [三訂増補版] 〔リストラ・解雇・倒産の対抗戦法〕

ミドルネット著
A5判変並製 280頁 1900円
ISBN978-4-8461-0716-1 C0336

派遣・契約・パートなどの非正規労働者問題を増補。個別労働紛争救済機関新設など改正労働法制に具体的に対応。労働条件の切り下げや解雇・倒産に、どう対処したらいいのか? ひとりでも会社とやり合うための60箇条。(2007.11)

【内容構成】

- 労働組合づくりはどちらがいいか
- 管理職組合のつくり方
- 非正規労働者と正規労働者の働き方は違うのですか
- 労働者を守る法律は?
- 労働者を守る救済機関は?
- 弁護士はどんな手助けをしてくれますか
- 組合はどう闘ったらいいのか
- 倒産・企業再編とどう闘うか
- 組合運営はどちらがいいか
- 読まれるピラや機関誌のつくり方
- 組合と上部団体、政党とはどういう関係ですか



プロブレムQ&A
「解雇・退職」対策ガイド [増補改訂版]
[辞めさせられたとき辞めたいとき]

金子雅臣／龍井葉二著
A 5判変並製 264頁 1900円
ISBN4-8461-0316-1 C0336

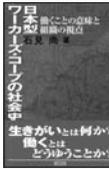
長引く不況の下、リストラ、解雇、倒産に伴う労使間のトラブルは増え続けている。解雇・配置転換・レイオフ・肩たたきにどう対応すればいいのか？ 労働相談のエキスパートが新たな倒産法制や改正労働基準法を踏まえ、解決法を完全ガイド。より分かりやすく

なった増補改訂版。

(2005.3)

[内容構成]

解雇への対応の基本
こんな解雇は許される？—法律の定め
こんな解雇は許される？—普通解雇
こんな解雇は許される？—懲戒解雇
経営問題を理由とする解雇
問題解決のための手段と方法
損をしない退職の仕方
退職時の保険と年金



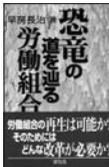
日本型ワーカーズ・コープの社会史
働くことの意味と組織の視点

石見尚著
四六判上製 264頁 2400円
ISBN978-4-8461-0703-1 C0036

資本家も労働者もなく、人がその仕事に意味を見出して共に働いて成果を共に分け合い得ないのか？ 本書は研究の第一人者が、日本のワーカーズ・コープの歴史と運動史を総括、近未来の労働と社会のあり方を考える力作。
(2007.3)

[主内容]

序章 本書の視点
第一章 日本協同組合同盟の理想と現実
第二章 生産合作社運動
第三章 GHQの対日労働政策と日本の生産管理闘争の結果
第四章 企業組合と農事組合法人
第五章 日本の労使関係
第六章 労働者自主生産と協同組合化の道
第七章 市民事業型の協同労働の発展



恐竜の道を進む労働組合

早房長治著
四六判並製 216頁 1800円
ISBN4-8461-0411-7 C0036

リストラの嵐が吹き荒れるような状況でこそ、最も頼りになるはずの労働組合が雇用を守ることができず、勤労者の信頼を失い、組織率は20%を割ってしまった。連合評価委員会を組織し、あるべき姿を模索し続けた著者が、抜本的改革の必要性を語る。
(2004.7)

[主内容]

第1章 劣悪化する労働環境
第2章 労働組合は、なぜ無力なの第3章 労組はこの三〇年間、何をしたか
第4章 いま、労組の中で起きていること(1)
第5章 いま、労組の中で起きていること(2)
第6章 「労組のあるべき姿」連合評価報告書はこう作られた(1)
第7章 「労組のあるべき姿」連合評価報告書はこう作られた(2)
第8章 労働組合の再生は可能だ、そうせねばならない



『恐竜の道を進む労働組合』書評
後は「自滅への道だけ」と
深刻な現状を指摘

全国の労働組合の推定組織率が昨年、戦後初めて20%を切った。著者は、15%を割ったら「回復は不可能」で、後は「自滅への道だけ」と深刻な現状を指摘する。
正社員のリストラ。パート・派遣労働者の激

増。労働条件の切り下げ。そんな中でも、個々の組合は企業生き残りを最優先する経営側と一体化し、非正規の社員を見捨てたまま。労働環境の変化に対応できていない。

各組合がエゴを捨て、中央・産業別組織との役割を見直し、労働界を再生するよう、本書は、提言している。

●『京都新聞』2004年8月22日付



転形期の日本労働運動
ネオ階級社会と勤勉革命

東京管理職ユニオン・編
四六判上製 233頁 2200円
ISBN4-8461-0314-5 C0036

ネオ階級社会と呼ばれ、社会は富める者と貧しい者に二極分解し、パートや契約、派遣社員が増える中、労働運動はどのように転換していけばいいのか？ 本書は、一人一人が自立した連合をめざす管理職ユニオンが、今後の展望と運動のありかたを提議。(2003.12)



職場いびり
アメリカの現場から

ノア・ダベンポート、ルース・ディスラー、シュワルツ、ゲイル・パーセル、エリオット著／アカデミックNPO監訳 四六判上製 328頁 2400円 ISBN4-8461-0214-9 C0034

問題を提議した基本図書。(2002.10)

【内容構成】

序章 忍耐を超えてしまったとき／第一章 職場いびりとはどのようなものでありどのようにして起こるのか／第二章 なぜ職場いびりが発生し、なくなるのでしょうか／第三章 職場いびりが及ぼす影響／第四章 職場いびりに立ちまかうには／第五章 家族と友人／第六章 組織／第七章 もめごと解消への挑戦／第八章 職場いびりと法律／第九章 自覚すること／終章 洗練された労働文化をつくること

肩たたきを始めとする職場におけるいじめは不況の中で益々増えてきている。欧米では「モビング」という言葉でいじめが研究され、多くの書籍が刊行されている。本書はアメリカにおいて職場いびりによって会社をやめざるをえなかった、3人の体験から職場いびり



ユニオン・バスター
米国労務コンサルタントの告白

マーティン・ジェイ・レビット／テリー・コンロウ著 渡辺勉／横山好夫訳
四六判上製 464頁 2500円
ISBN4-8461-0002-2 C0034

「労務屋」「争議ゴロ」といわれる米国のユニオン・バスター。そのスペシャリストとして、経営の代理人として、夥しい数の組合潰しをした著者が、悪行の数々を労働組合のために告白。アメリカ労使関係の裏面史として興味深い1冊 (2000.4)



米国自動車工場の変貌
「ストレスによる管理」と労働者

マイク・パーカー／ジェイン・スローター編著／戸塚秀夫監訳
四六判上製 427頁 3800円
ISBN4-8461-9586-4 C0036

米国自動車産業の巻き返しがはじまった。その背景には、「ストレスによる管理」といわれる日本型生産管理の導入による厳しい労働管理の展開がある。本書は、米国労働者の日本型生産管理との闘いを実証的に分析した書。(1995.3)



労働のメタモルフォーズ
働くことの意味を求めて 経済的理性批判

アンドレ・ゴルツ著／真下俊樹訳
四六判上製 413頁 3200円
ISBN4-8461-9701-8 C0010

【内容構成】

第一部 労働のメタモルフォーズ
第二部 経済的理性批判
経済的意味での合理的労働
第三部 方向づけと提案(意味を求めてIV)
労働時間短縮、争点と政策
付録 労働組合員などの左翼活動家のための要約
1 労働の危機
2 労働の危機、社会の危機
3 皆が働くために働く量を減らす
4 労働量から切り離された所得

現代産業社会の中で労働の解放はどのように構想されるのか？ マルクスの労働論からイリイチ、ハーバーマスら現代思想に至る労働観を総括し、労働する人間の自律と解放を考える、フランス現代思想家の注目の書。(1997.3)



『職場いびり』書評
組合などの勉強会によさそう

アメリカで「モビング」と呼ばれるのは群衆が誰かをつるし上げること。もとは子どものいじめ現象の分析から出た概念だったという。自

然発生的なモビングと企業が故意に戦略的に職場に持ち込むものがあるが、セクハラと見分けにくいのでアメリカでも認知されてこなかったという。本書では職場いじめの種々の例を紹介し、訴訟を含めた対応策を挙げる。(抜粋)

●『日刊ゲンダイ』2003年11月6日付



プロBLEM Q & A
パート・アルバイトのトラブル対処術
 [いざという時のために]

金子雅臣／小川浩一著
 A 5判変並製 244頁 1800円
 ISBN4-8461-9705-0 C0336

パートタイマーやアルバイトだからといって勝手に時給を下げられたり、辞めさせられてはかなわない！ 短時間労働者がどのような法律によって守られているかなどの知識を身につけて、会社の「理不尽」に立ち向かうための必勝本！ (1996.6)



[プロBLEM Q & A ⑬]
働く女性のお助け本
 [職場のトラブル対処術]

金子雅臣／龍井葉二著
 A 5判変並製 186頁 1700円
 ISBN4-8461-9602-X C0336

均等法から10年以上経ってもまだ女性であることで不利益なことが多すぎる！ 職探しから待遇差別、出産・育児・介護休業、セクハラ・お茶くみ・お局さま対策まで網羅した、女性が元気に働きつづけるためのお助け本！ (1996.6)



プロBLEM Q & A ⑦
仲間とはじめる「会社」プラン
 [ワーカーズ・コレクティブ入門]

宇津木朋子著
 A 5判変並製 200頁 1800円
 ISBN4-8461-9484-1 C0336

同じ志の仲間と一緒に事業資金を出し合い、自らが労働者として働き、かつ経営者として責任を持つ、新しい時代の新しい働き方「ワーカーズ・コレクティブ」。その起業から運営までを伝授する。 (1994.12)



ワーカーズ・コレクティブ
 その理論と実践

メアリー・メロー／ジャンネット・ハナ／ジョン・スターリング著 佐藤紘毅／白井和宏訳
 四六判上製 384頁 3200円
 ISBN4-8461-9256-3 C0036

労働者協同組合＝ワーカーズ・コレクティブ運動は、資本の論理に対抗し、労働と生活の質を変える社会運動として注目されている。本書は、ワーカーズ・コレクティブ運動の歴史と現状、理論と実践の課題をまとめたもの。 (1992.4)



労働者の対案戦略運動
 社会的有用生産を求めて

ワーカーズ・コレクティブ調整センター編
 四六判並製 328頁 2500円
 ISBN4-8461-9591-0 C0036

平成大不況の中で、企業の論理と対決する労働者の対案戦略運動が注目されはじめた。本書は、労働の質を問い直し、社会的有用生産とは何かを考える労働者生産協同組合の理論と清掃・水道など現場の対案戦略の実践を報告。 (1995.5)



ルークス・プラン
 「もう一つの社会」への労働者戦略

ヒラリー・ウェインライト／ディブ・エリオット著／田窪雅文訳
 A 5判並製 357頁 4000円
 ISBN4-8461-8730-6 C0036

「景気後退と人員整理に対する積極的代案」を掲げて起ちあがったルークス労働者の闘いの全体像を明らかにした本書は、大失業時代に抗する労働運動の方向を示すばかりでなく、「もう一つの社会」への展望をも構想する。 (1987.10)



クリティカル・サイエンス⑤
I T 革命の虚構

緑風出版編集部編
 A 5判並製 220頁 2000円
 ISBN4-8461-0120-7 C0340

I T 革命（情報技術革命）は、急速な勢いで私たちの暮らしから世界までを激変させている。そのプラス面と同時に、デジタル犯罪、個人情報管理の強化などマイナス面も大きくなっている。本書は I T 革命の問題点を切る！ (2002.1)



先端産業社会の夢と現実

渡辺鋭氣／森董樹編著
 四六判上製 222頁 1700円
 ISBN4-8461-8413-7 C0050

コンピュータリゼーションに象徴される先端技術革命をテコに、ドラスチックに変貌する日本産業の高度化は、人間と社会に何をもたらすのか？ 六人のジャーナリストが主要先端産業を取材し、その夢と現実を鋭くえぐる。 (1984.5)

*

国際労働問題叢書



国際労働問題叢書 [1] 日本の労働組合 国際化時代の国際連帯活動

ヒュー・ウィリアムソン／戸塚秀夫監訳
A 5判並製 445頁 4500円
ISBN4-8461-9801-4 C0036

*

日本の企業の海外進出、多国籍が進む中で、日本の企業別労働組合、そして「連合」などのナショナルセンターは、国際的にどのような影響力を及ぼしつつあるのか？ 英国の労働運動研究者がその動向と実態を分析する。(1992.4)

[内容構成]

第1章 日本と冷戦——戦後労働運動の国際関係史／第2章 総評、同盟、IMF-JCの国際関係史／第3章 ナショナルセンター／第4章 奇跡に立ち向かう——民間労組の国際活動／第5章 多国籍企業対策——日本、アジアそして国際連帯／第6章 労働組合の権利をめざして闘う公共部門の組合／第7章 労働外交——日本のスタイル／第8章 国際労働財団——労働者の国際協力の強化／第9章 JILAFの招待プログラム／第10章 労働組合の国際協力／第11章 国際労働問題に関わる労働組合以外の団体／第12章 結論——奇跡に立ち向かう



国際労働問題叢書 [2] 新世紀の労働運動 アメリカの実験

グレゴリー・マンツイオス／戸塚秀夫監訳
A 5判並製 364頁 4000円
ISBN4-8461-0114-2 C0336

*

アメリカ最大の労働組合であるアメリカ労働総同盟・産業別労働組合会議（AFL-CIO）での、ニューボイス（新しい声）グループの勝利によって、アメリカの労働運動は革新的な方向に大きく変化している。本書は、その新しい考え方を紹介する。(2001.12)

[内容構成]

第1部 民主主義、イデオロギー、変革
第2部 未組織を組織化する
第3部 多様性と多様性の包括
第4部 政党と政治
第5部 国際問題
あとがき
訳者による注
解題 米国労働運動の新しい波



国際労働問題叢書 [3] 社会運動ユニオンズ アメリカの新しい労働運動

国際労働研究センター編著
A 5判並製 384頁 3200円
ISBN4-8461-0518-0 C0336

*

労働運動の低迷と社会的影響力の後退、組織率の低下など労働運動の危機が叫ばれて久しい。アメリカ労働運動のニューボイスの登場とアメリカ労働総同盟・産業別労働組合会議（AFL-CIO）でのニューボイス派の勝利、そして運動の昂揚と分裂に至る理論と実践を

総括。社会運動ユニオンズとしての新しい労働運動の可能性を提起する。(2005.11)

[内容構成]

第1部 ニューボイスの歴史的 position
第2部 グローバル化の下での労働運動の戦略
第3部 改革派の運動
第4部 労働者教育の広がり
第5部 日米のつながり
第6部 アメリカ労働運動から学ぶ
あとがき 山崎 精一
国際労働研究センター研究会一覧

暮らしのトラブル



喘息・花粉症・アトピーを絶つ 真の原因を知って根本から治す

渡辺雄二著
四六判並製 172頁 1600円
ISBN978-4-8461-1109-0 C0036

喘息の原因はダニなのか？ 杉花粉の多い山里に花粉症が少ないのはなぜか？ アトピー性皮膚炎の原因は何なのか？ 食物アレルギーの原因は本当に食べ物なのか？

喘息や花粉症は自動車排ガスなどの大気汚染に真の原因があるなど、悩みを抱える読者の疑問にやさしく答える。ステロイド剤は症状を悪化させる、喘息治療に良いのは空気の綺麗なところへ引越す、アトピー性皮膚炎を治したいなら洗剤使用を止める、など具体的な治療法や対策を伝授する。(2011.7)

[内容構成]

- 第1章 アレルギーは病気ではない
- 第2章 喘息は根本原因を取り除いて治す
- 第3章 花粉症の真の原因は「花粉」ではない
- 第4章 アトピー性皮膚炎を治したいなら、洗剤使用をやめなさい
- 第5章 食物アレルギーの原因は本当に食べ物か？
- 第6章 葉でアレルギーを抑えてはいけない
- 第7章 アレルギーの真の原因を知って根本から治す



プロブレムQ&A あなたの「町内会」総点検 [三訂増補版] [地域のトラブル対処法]

佐藤文明著
A5判並製 232頁 1900円
ISBN978-4-8461-1016-8 C0336

事実上の強制加入で、役所や警察、消防など行政の下請けのようになっていく町内会など自治組織の在り方などに、日頃から疑問を持っている人は多い。そうしたあなたの疑問に答える、唯一の町内会・自治会問題の入門書。あなたの地域の疑問を総点検し、どうす

れば住民本意のものに改革できるかを考える。94年初版以来、大好評ロングセラーの三訂増補版！ (2010.12、旧版1994.8)

[Qの例]

- 自治会に入らないうと、どんな不利益があるの？
- 町内会と自治会はどこがどうちがうの？
- 町会費から神社への寄付はおかしくないの？
- 警察官の巡回調査に応じる義務はあるの？
- 半強制的な町内会の募金集めはおかしいのでは？
- 暮らしの覗き・国勢調査を拒否したらどうなるの？
- ゴミ当番や持回り役員の任務が果たせないときは？



ファブリーズはいらない 危険な除菌・殺虫・くん煙剤

渡辺雄二著
四六判並製 176頁 1500円
ISBN978-4-8461-0914-1 C0036

「ファブリーズ」を背広やカーテン、カーペットなどにスプレーしているテレビCM——「でも、どこかおかしい」「汚れやニオイはどうなるの？」除菌・消臭スプレーのほかに、トイレ用消臭スプレー、くん煙剤、ゴキブリ退治スプレー、殺虫剤、防虫剤など、

除菌や殺虫、防虫のための製品が、ドラッグストアやスーパーなどには溢れんばかりに陳列されています。しかし、それらは安全なものなのでしょうか？ また、本当に必要なものなのでしょうか？

本書は、こうした商品をひとつひとつ総点検します。(2009.11)

[内容構成]

P&G「ファブリーズ」は使ってはいけない／「トイレその後に」は化学物質過敏症の原因となるか？／「バルサン」に含まれるあぶない成分／蚊取り線香は必要か？／無臭防虫剤の危険性／入浴剤はほとんど効果なし！



花王「アタック」はシャツを白く染める
 蛍光増白剤・合成界面活性剤は危ない

渡辺雄二著
 四六判並製 176頁 1500円
 ISBN978-4-8461-0815-1 C0036

スーパーやドラッグストアには、洗濯用洗剤、台所用洗剤などが山のように積まれている。これらには、驚くほど多くの化学物質が含まれているが、共通しているのが合成界面活性剤である。これは人間の皮膚や粘膜を刺激し、また河川や湖沼を汚染して、魚やプラ

ンクトンにダメージをあたえる。また蛍光増白剤などいわくつきの化学物質だ。

石けんさえあれば、ほとんど用が足りる。本書ではこうした製品を一つ一つ取り上げ、その成分を検証し、安全性や毒性を明らかにする。(2008.11)

[内容構成]

花王「アタック」はシャツを白く染める／「部屋干しトップ」はなぜ部屋干しできるのか／薬用ボディシャンプーは使ってはいけない／リンスは効果があるのか／必要ないものは使わず、経済的で快適な生活を!



プロブレムQ&A
アレルギーの人の家造り
 [シックハウス・住宅汚染の問題と対策]

足立和郎著
 A 5判並製 204頁 2000円
 ISBN4-8461-0812-0 C0352

危険性を含め、自然素材やエコ建材、自然住宅やエコ住宅の問題点、室内汚染を回避するための方法や対策、いざというときの対処法、空気清浄器や代替品、アレルギーを起す物質を封止する方法についても紹介。患者の目線にたったのはじめての建築本。(2008.9)

*

シックハウス法は何も解決していない。シックハウスを回避し、改善するための建材として注目されてきた、エコ建材や自然素材・天然素材までもが、アレルギー疾患や化学物質過敏症の人にとっては、症状を悪化させる要因になる。本書は、有害建材や一般住宅の

[内容構成]

- I シックハウスは何も解決していない
- II エコ建材・自然素材を再度検証する
- III アレルギーがある人・ニオイに敏感な人の住まいづくり



配偶者暴力対策ガイド

矢野輝雄 著
 A 5判並製 200頁 1800円
 ISBN978-4-8461-0720-8 C0036

DV(ドメスティック・バイオレンス)防止法が制定されたが、十分活用されない。本書は、DVへの対処法、相談や保護命令の申立、生活保障などを解説すると共に、離婚に至ったときのやり方も詳細に解説。Q&A形式ですぐに役立つ実用本。(2007.12)



生活保護獲得ガイド

矢野輝雄 著
 A 5判並製 176頁 1600円
 ISBN978-4-8461-0712-3 C0036

生活保護なしに生活できない人が急増している。しかし行政は財政難から、逆に保護を受けさせないように、「水際作戦」などを展開している。本書は、こうした生活保護行政の妨害を突破して、生活保護を獲得する方法を懇切丁寧に説明している。(2007.7)



介護保険活用ガイド

矢野輝雄 著
 A 5判並製 220頁 1700円
 ISBN4-8461-0621-7 C0036

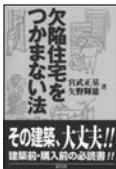
超高齢社会の日本で、少ない年金で生活するには、今後、介護保険の上手な活用が鍵となる。親の介護はもちろん、自分の老後を賢く設計するためにも、介護保険のしくみを理解しておくことが必要だ。本書は、多数の図解とともに、活用法をガイド。(2006.12)



絶対に訴えてやる!
 訴えるための知識とノウハウ

矢野輝雄 著
 A 5判並製 188頁 1900円
 ISBN4-8461-0410-9 C0032

「絶対に訴えてやる!」と息巻いても、弁護士に断われたり、費用や煩雑さから尻込みすることも多い。だが、ルールさえ分かれば、ひとりでも可能だ。本書は、民事訴訟、家事事件での要な理論と書式、手続を解説。マニュアルとしても利用可能。(2004.7)



欠陥住宅をつかまない法

宮武正基・矢野輝雄 著
A 5 判並製 196頁 1900円
ISBN4-8461-0605-5 C0052

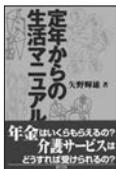
前著、『欠陥住宅被害・対応マニュアル』でも詳説したように、一度欠陥住宅をつかむと後の対応は本当に大変だ。では、どうすればよいのか？ 本書は、一級建築士等が、一戸建て、建売、マンションなどのチェックの仕方や見方を見本付きで解説。(2006.2)



欠陥住宅被害・対応マニュアル

矢野輝雄・宮武正基 著
A 5 判並製 176頁 1900円
ISBN4-8461-0414-1 C0052

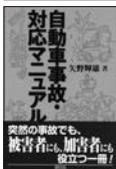
欠陥住宅に泣く人は後を絶たない。原因究明や解決は時間も金もかかり、難しい。本書は一級建築士らが、建築の素人である一般市民でも聞えるように、業者に対抗する知識とノウハウをQ&A形式でやさしく解説している。(2004.9)



定年からの生活マニュアル

矢野輝雄 著
A 5 判並製 220頁 1900円
ISBN4-8461-0515-6 C0036

定年後の長い期間を過ごすため、また生活設計をするためには、少なくとも社会保険制度の理解が必須のことと言える。だが、複雑な年金制度やその他の仕組みを理解するのは難しい。本書はQ&A方式でわかりやすく解説している。(2005.9)



自動車事故・対応マニュアル

矢野輝雄 著
A 5 判並製 188頁 1900円
ISBN4-8461-0420-6 C0036

交通事故死傷者数100万人、関係検挙者数は刑法上の全犯罪の70%以上。誰もが被害者となり、加害者となる可能性がある。本書は、被害者、加害者双方の立場から、交通事故や保険の基礎知識のほか、発生時から損害賠償の最終的解決までの対応を解説。(2004.11)

☆



プロブレムQ&A③ 大疑問・交通取締り 〔教習所では教えない運転術〕

浜島望 著
A 5 判並製 176頁 1800円
ISBN4-8461-9589-9 C0365

根拠不明の規則や不当な交通取締りに泣き寝入りすることはない。交通安全を錦の御旗に、全国で進められる路上監視カメラ群の整備に警察国家への危惧を深める著者が、対応法の数々を完全披露。(1995.5)



プロブレムQ&A③ アニマルライト犬との暮らし方全書 〔あなたの犬は本当に幸せ!?〕

動物との共生を考える会 著
A 5 判並製 188頁 1800円
ISBN4-8461-9587-2 C0361

血統書・ブリーダー・予防注射・動物医療など構造的な問題から躰け・事故・病気・失踪・供養・旅行の案内に至るまで、「犬たちは私たち人間の最高のセラピスト」という愛犬家たちが披露する、初の問題提起型愛犬読本！(1995.3)



プロブレムQ&A③ 55歳からの生き方教室 〔高齢者時代をのりきる40問40答〕

マインド21 著
A 5 判並製 224頁 1800円
ISBN4-8461-9480-9 C0336

「もっと働きたい」「悠々自適の生活をした」「健康が不安」などと老後への思いはさまざま。でもそのための準備はしていますか？ 健康や生きがい、死の問題から年金・保険・財産管理まで、気になるテーマを総ざらえ。(1994.11)



図書館づくり運動実践記 三つの報告と新・図書館づくり運動論

扇元久栄・栗原進・盛泰子・漆原宏・共著
四六判上製 352頁 2400円
ISBN4-8461-9713-1 C0000

図書館が身近になれば…町・村で図書館づくり運動は盛んだ。本書は仙台・鶴ヶ島・伊万里における実践を報告。また図書館カメラマン漆原宏氏のネットワーク運動論を紹介。(1997.9)

健康と医療を考える



前立腺がん予防法 [改訂新版] 正しい食事とライフスタイル

伊藤晴夫著
A 5判並製 128頁 1600円
ISBN978-4-8461-1215-8 C0047

男性に特有な副性器の一つの前立腺にできる悪性腫瘍、前立腺がんが激増しています。自覚症状の現れにくいこのがんは、高齢化と食生活の欧米化によるものと考えられます。したがって、生活習慣を見直し、食事療法をすれば予防可能です。また、不幸にして前立腺がんになっても、がんの進行を抑え、免疫系を強化するなどの具体的方法を分かります。 (2012.8)

[内容構成]

PART 1 前立腺がんの特徴
日本で激増している前立腺がん/前立腺は

男性特有の臓器/男性ホルモンと前立腺/潜伏がんと偶発がん/骨に転移する可能性/遺伝性前立腺がんについて/双生児研究から見えてきた遺伝性因子/海外での頻度/過体重や肥満はリスクが高い/感染、炎症の影響について/前立腺がんの治療法/画期的な検診方法PSA/がんのリスクを減らすための10か条

PART 2 日常生活の工夫
病気の発生を予防する/海外の状況/食生活の変化/若いときから始めたい食事療法/日光浴による前立腺がん予防/運動の効用/喫煙の影響/アルコールの影響/免疫系を強化する
PART 3 前立腺がんを予防する食事
なぜ食事が重要なのか?/発症を予防する食事内容と生活習慣/食事による予防のポイント/がんを予防する栄養素と食べ物/前立腺の健康に推奨される食事 ほか
参考文献/あとがき



サリドマイド事件全史

川俣修壽著
A 5判上製 544頁 8400円
ISBN978-4-8461-1003-1 C0036

本書は、被害者原告の支援者として40年間事件を追いつけた著者が、原資料を綿密に調べあげ、当事者に取材し、サリドマイド事件の全貌、とりわけ和解交渉の内幕を初めて明らかにする。その後も続く公害・薬害事件に大きな影響を与えた事件全史。 (2010.5)

[内容構成]

第一章 サリドマイドの開発と被害の拡大
第二章 原因追究に動き出す被害者家族
第三章 提訴と準備手続き
第四章 口頭弁論の攻防
第五章 和解工作
第六章 和解交渉開始と賠償金額の決定
第七章 確認書の文言
第八章 訴外者の和解とその後
資料
確認書/覚書/長期継続年金実施要綱/厚生省、法務省文書の内訳/国会質疑/参考文献/サリドマイド事件全史年表



医療現場は今

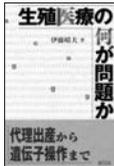
小笠原信之著
四六判並製 276頁 1900円
ISBN4-8461-0619-5 C0036

超高齢社会入りを目前に、今、日本の医療が大きく揺れている。医師の卒後臨床研修を必修化、「尊厳死」の基準づくり、看護師や介護福祉士の海外からの受け入れ……どれもこれも、医療費削減や高齢社会へのシフト転換が背景にある。

本書は、そんな医療周辺の問題に敢然と踏み込み、丁寧な取材を通してそれぞれの課題を鋭くあぶりだしていく。 (2006.10)

[内容構成]

第1部 問われる医療の在り方
病院ランキングの波紋/正念場を迎えた生体補助医療/足踏みつづくジェネリック医薬品
第2部 揺れる医療システム
もう一つの「混合診療」論議/「労働開国」迎える看護と介護
第3部 後手、後手の厚生行政
高まる新型インフルエンザ発生の脅威/広がるアスベスト汚染への不安



生殖医療の何が問題か

伊藤晴夫著
四六判並製 210頁 1700円
ISBN4-8461-0620-9 C0047

☆☆

生命科学・生殖医療の進展はめざましい。生殖医療は、確かに不妊で悩むカップルへの福音たりうる。しかしたとえば、代理出産は男女の産み分けや障害児の排除へつながる可能性がある。無制限な生殖医療の応用がはじまり、その果てにデザイナー・ベビーが誕生

しないとも限らない。いったい、「いのち」の操作は、どこまで許されるべきなのか。

本書は、日本不妊学会の理事長を務めた第一人者が生殖医療の現状と問題点を分かりやすく解説しつつ、その限界を問う。(2006.11)

【内容構成】

序章 ヒトがヒトをつくることについて
第1章 なぜ、いま考えなければならないのか
第2章 いま、「いのち」のなにが問題なのか
第3章 私が考える「いのち」の原則
終章 人類の未来とわれわれの「選択」



プロブレムQ&A どう考える? 生殖医療 〔体外受精から代理出産・受精卵診断まで〕

小笠原信之著
A 5判変並製 208頁 1700円
ISBN4-8461-0505-9 C0336

*

人工受精、体外受精、代理出産、はてはクローンと生殖分野の医療技術の発展はめざましいものがあるが、さまざまな問題も浮上してきている。国によって規制も違う。本書は、これらの疑問や問題を整理し、生命の尊厳を踏まえ、どうすべきかを考える。(2005.3)

【Qの例】

代理出産が日本でも話題になっていますね。何が問題なのですか？
精子や卵子、子宮を借りた場合に、誰が子どもの親になるのですか？
男女の産み分けに出生前診断が利用されているって本当ですか？
中絶をめぐる、女性と障害者の運動の間で論争があったと聞きましたが？
女性の自己決定権って何ですか？ クローンや再生医療も体外受精と関係があるって、本当ですか？



プロブレムQ&A ここが危ない! アスベスト〔新装版〕 〔発見・対策・除去のイロハ教えます〕

アスベスト根絶ネットワーク著
A 5判変並製 168頁 1800円
ISBN4-8461-0513-X C0336

アスベストの危険性は周知の事実だ。しかしどこにあり、どう対処すればいいのだろうか。本書では発見の方法、除去に対する様々な援助制度などを紹介する。実践的アスベスト根絶マニュアル! 売り上げ好評につき新装版発行。(2005.8)

【Qの例】

アスベストって何ですか？
アスベストはどうやって調べるのですか？
肺がんがふえているのはアスベストが原因？
水道水やお酒にもアスベストが入っている？
マンション・ビル・工場にも使われている？
ビルを解体するときのアスベスト対策は？
地震に備えてアスベスト対策は必要？



プロブレムQ&A 許されるのか? 安楽死 〔安楽死・尊厳死・慈悲殺〕

小笠原信之著
A 5判変並製 264頁 1800円
ISBN4-8461-0313-7 C0336

高齢社会が到来し、終末期医療の現場では安易な「安楽死ならざる安楽死」も噂される。本書は、安楽死や尊厳死をめぐる諸問題について、その定義から歴史、医療、宗教・哲学まで、わかりやすいQ&Aで答える。あなたなら、どうするか？ (2003.11)



ホメオパシー医学哲学講義

ジェームズ・タイラー・ケント著
松本文二・永松昌泰訳
四六判上製 440頁 3200円
ISBN4-8461-0506-7 C0047

物質論的な現代西洋医学の限界を乗り越えようとするホメオパシー(類似療法)医学の古典的名著『オルガノン』。その第一級解説書として名高い、ジェームス・タイラー・ケントの『ホメオパシー医学哲学講義』の翻訳。ホメオパシー医学の基本教本。(2005.4)



がん患者が共に生きるガイド

袖原君子著
A 5 判並製 212頁 2000円
ISBN4-8461-0105-3 C0047

がんは寛解率（一時的に治る事）も50%をこえ、がんと共に生きていく時代になった。すべてのがん患者のためにがん患者会をレポート。はじめてのアンケート調査をもとに全国の患者会を紹介。がんで悩むすべての人のためのがん患者会ガイド！（2001.4）



がんサバイバル 生還者たちの復活戦

S・ネッシム/J・エリス共著
小笠原信之訳
四六判上製 302頁 2200円
ISBN4-8461-9616-X C0047

がん治癒率はいまや五割を越えている。その体験者たちが抱えているストレスや、再発の恐怖、社会復帰の障害への立ち向かい方を、アメリカで大反響と共感を呼んだ自助・支援グループの創設者である著者が示す、初めての生還ガイド。（1996.7）



プロブレムQ&A ⑩ がん告知、から復帰まで 〔疑問と不安 完全ケア〕

小笠原信之著
A 5 判変並製 164頁 1700円
ISBN4-8461-9596-1 C0347

あなた、あるいは家族がガンと告知、された時、どうすればいいのか。告知・治療・痛みについて、またホスピス、社会復帰・保険と費用、自助・支援組織など、ガン闘病に関する疑問と不安のすべてにQ&Aで応える。（1995.7）



プロブレムQ&A 「たばこ病」読本 〔禁煙・分煙のすすめ〕

渡辺文学著
A 5 判変並製 168頁 1500円
ISBN4-8461-0007-3 C0336

本書は、世界の趨勢に20年以上も遅れているという日本のたばこ事情の問題点を考えるとともに、たばこがなぜ健康に良くないのか、どうせれば禁煙できるかを分かりやすくQ&A解説する。（2000.8）

☆



老い路遥かなり 老人コミュニティを訪ねて

岩尾 徹著
四六判並製 228頁 1700円
ISBN4-8461-0406-0 C0036

本書は、永年、老人問題に携わってきた著者が、10年以上にわたって、2つの老人コミュニティをルポし、そこで暮らす老人たちのありのままの人間模様を描いたドキュメントである。老いを考えるための様々な示唆を提供している。（2004.4）



私こそ私の主治医

橋本行生/多々良志共著
四六判並製 268頁 2200円
ISBN4-8461-0103-7 C0077

本書は、臨床医の著者がガンに対する免疫療法を中心に、自らの意志や力で諸病を予防・治療するための考え方、ガンに備える生活術、その他埋もれている有用な民間療法などについて、診療上の具体例を示しながら述べたもの。（2001.4）



『先端医療の何が問題か』紹介 膨らむ願望と商業主義に 倫理的歯止めを

体外受精、代理出産、着床前診断と進展めざましい生殖医療だが、少子化、不妊対策を口実とした男女産み分けや障害児排除へつながら

る可能性がある。さらに無制限な生殖医療の応用の果てには、遺伝子操作によるデザイナー・ベビーの誕生ももはや夢物語ではない。日本不妊学会の理事長を務めた著者が、現状と問題点を分かりやすく解説し、「いのち」の操作はどこまで許されるのかを世に問う。

●『メディカル朝日』07年1月号より。

IV 現代の政治と社会の本

現代世界を読む



諜報ビジネス最前線

エイモン・ジャヴァーズ著
大沼安史訳
四六判上製 464頁 2800円
ISBN978-4-8461-1113-7 C0034

*

秘密のヴェールに包まれた、現代の「諜報企業」による、産業化した「諜報活動」——。その暗躍の実態はしかし、闇の奥に潜んでいる、私たちには皆目、見当が付かない。路地裏の探偵ならイメージも湧こうが、世界的な「諜報企業」による「諜報活動」となると、一体どんな人物が、どこで何をやっているものなのか想像すらできない。

しかし、グローバル化した経済においては、より重大かつ危険な「秘密」や「情報」が企業活動の成否を決めており、諜報ビジネスは、企業の世界的な活動にとって今や不可欠なものとならされている。

本書は、米国の調査報道ジャーナリストの第一人者がその全貌を世界で初めて明らかにする。(2011.8)

[内容構成]

プロローグ

第1章 暗号名はユッカ

第一部 賈金島とディープ・チョコレート

第2章 高貴なる天職

第3章 すべては金のため

第4章 あの男が消えた!

第5章 悪党バスターズ

第6章 チョコレート戦争

第二部 テクニック・テクノロジー・タレント

第7章 戦術的行動評価

第8章 エディ・マーフィ戦略

第9章 名なしのニック

第10章 クレージーが勢ぞろい

第11章 この国はそれでも偉大な国か?

エピローグ 寒い国から来たスパイ

訳者あとがき



ビルケナウからの生還 ナチス強制収容所の証言

モシェ・ガルバーズ、エリ・ガルバーズ著
小沢君江訳
四六判上製 404頁 3200円
ISBN978-4-8461-1009-3 C0022

☆☆

著者は生還が不可能と言われたアウシュヴィッツ・ビルケナウ他、数カ所のナチス強制収容所で、1942年から45年まで3年間、生き抜いた。本書はその苛酷で想像を絶する体験を、イディッシュ語と拙いフランス語で記憶の無数の破片を書きとめつづけた証言をも

とに、40年後に息子のエリ・ガルバーズが、フランス語の文章にまとめ上げた証言の書。

本書は、過去の証言としてではなく、ナチスの計画したユダヤ人殺戮・絶滅計画がくり広げられた強制収容所のそのただ中で生き抜いたひとりのポーランド系ユダヤ人の身体に刻まれた実体験として、東西に関係なく人びとが半世紀、1世紀後もその現実を直視し、読み継ぐべき衝撃的なホロコーストの証言と言える。(2010.7)



9・11の矛盾

9・11委員会報告書が黙殺した重大な事実

デヴィッド・レイ・グリフィン著
加藤しをり・きくちゆみ訳
四六判上製 552頁 3400円
ISBN978-4-8461-1005-5 C0031

9・11事件の真相を解明する『9・11委員会報告書』が2004年に公表された。しかしこの公式最終報告書は、事件当時報道された政府機関・公的機関などの説明、公人や当事者の証言、映像などの事実とあまりに多くの点で重大な矛盾、食い違いがある。また公人

や当事者が見解を変えるなどの自己矛盾が数多くある。

本書は、9・11事件に関する膨大な報道記録と資料を調べ上げ、客観的に事実関係を綿密に比較分析し、主要な25項目にしぼって、矛盾を検討し、米国議会とマスコミに対し、それについての説明と真相の解明を求めている。予断を排し、科学的・論理的視点から事実に迫る内容は、9・11事件の本質を浮き彫りにする。(2010.7)



9・11事件は謀略か 「21世紀の真珠湾攻撃」とブッシュ政権

デヴィッド・グリフィン著
きくちゆみ・戸田清訳
四六判上製 438頁 2800円
ISBN978-4-8461-0713-0 C0031

米政府の公式説明は矛盾に満ちている。ペンタゴンに激突したのは本当に旅客機だったのか？ 本書は 9.11事件をめぐるさまざまな疑惑を検討し、ブッシュ政権の共犯性を示す証拠24項目を列挙し、真相解明のための徹底調査を求める全米話題の書！ (2007.8)



戦争の家 [上] ペンタゴン

ジェームズ・キャロル著
大沼安史訳
四六判上製 672頁 3400円
ISBN978-4-8461-0904-2 C0031

本書は「戦争の家」と「核」、そしてアメリカの上におも荒れ狂う「戦争」に関する物語である。そして、その力に歯止めをかけようとして挫折した多くの人びとの証言の記録である。 (2009.3)

1941年9月11日、ペンタゴンは「戦争の家」の起工式が執り行われた。このアメリカの戦争マシーンが、第二次世界大戦、原爆投下、核の支配、冷戦を通じて、いかにして合衆国の主権と権力を篡奪し、軍事的な好戦性の下、世界の悲劇の「爆心」になっていったのか？

[内容構成]

- プロローグ
第一章 1943年 ある週の出来事
第二章 絶対兵器 第三章 冷戦、始まる
第四章 現実化する被害妄想
第五章 転換点



戦争の家 [下] ペンタゴン

ジェームズ・キャロル著
大沼安史訳
四六判上製 688頁 3500円
ISBN978-4-8461-0915-8 C0031

は、大統領さえ翻弄する……。本書〔下巻〕では、ケネディ以降、ブッシュに至る、米国及び世界の戦争と破局の危機の現代史を追い、知られざる歴史の内幕と世界支配を狙う「アメリカ帝国」化の道を照らし出す一方、平和の扉を開こうとする人びとの闘いを浮き彫りにする。 (2009.12)

「戦争の家」＝ペンタゴン（国防総省）は、東西冷戦の頂点「ベルリンの壁」「キューバ危機」の勃発で、核攻撃を大統領に迫り、世界は破局の瀬戸際に立つ。今やモンスターと化した「アメリカ帝国」の司令部、ペンタゴ

[内容構成]

- 第五章 転換点【続き】
第六章 悪魔祇い
第七章 流れに抗して
第八章 終わりなき戦争



アメリカの暗殺者学校

ジャック・ネルソン-ポールミヤー著
安倍陽子訳/戸田清監訳
四六判上製 304頁 2600円
ISBN978-4-8461-1004-8 C0031

[内容構成]

- 第一章 公式の歴史と民衆の物語
第二章 銃と強欲とグローバリゼーション
連続性と変化
第三章 SOAに注目
第四章 証拠と戦術
第五章 さらなる証拠と重要な疑問点
第六章 地政学とSOA/WHINSEC
外交政策の第一段階
第七章 地政学とSOA/WHINSEC
外交政策の第二段階から第四段階
第八章 経済のグローバル化と強欲
第九章 薔薇は別の名前にしてても

「暗殺者学校」と呼ばれるアメリカ陸軍米州学校(SOA)の活動は、アブグレイブ刑務所などでも垣間見えたようにイラク戦争、アフガン戦争にも及んでいる。本書は、数十万の犠牲者を出したと言われるその活動の実態をあきらかにする。 (2010.4)



『9・11事件は謀略か』書評 公式見解を信じない人が多い理由

NYタイムズとCBSの共同調査で、アメリカ政府の公式見解をそのまま信じている人はわずか16%、政府が何か隠していると思う人が53%、ウソをついていると思う人が28%。政

府の公式見解にはあまりに多くの矛盾が存在して、信用できないのだ。この本は、ブッシュ政権があつた事件に何らかの意味でからんでいたことを示す40の疑問点をあげている。読めば読むほど謎は深まる。公式見解を信じない人が多い理由がわかる。

●立花隆評『週刊文春』2007年9月27日付。



大統領チャベス

クリスティーナ・マルカーノ／アルベルト・パレーラ・ティスカ著 神尾賢二訳
四六判上製 520頁 3000円
ISBN978-4-8461-0902-8 C0031 *

2009年2月、大統領の無期限再選制を成立させ、長期政権を目指すベネズエラのウーゴ・チャベス大統領。彼は革命家なのか、ポピュリストの独裁者にすぎないのか？ そして何をを目指すのか？ 関係者への膨大なインタビューと調査により実像を活写。(2009.3)



ラムズフェルド イラク戦争の国防長官

アンドリュー・コバーン著
加地永都子監訳
四六判上製 344頁 2600円
ISBN978-4-8461-0813-7 C0031 *

本書はペンタゴンのトップとして二度にわたり君臨し、武力外交を展開したネオコンのリーダー、ラムズフェルド米国防長官の実像を浮き彫りにし、大企業・財界の利益に左右される米国政治、ブッシュ政権の内幕を活写した力作。(2008.12)



灰の中から サダム・フセインのイラク

アンドリュー・コバーン／パトリック・コバーン著／神尾賢二訳
四六判上製 484頁 3000円
ISBN978-4-8461-0806-9 C0031 *

サダム・フセインによる1990年のクウェート侵攻、湾岸戦争とその後の国連制裁下の10年間にわたるイラクの現代史を、国際的に著名な兄弟のジャーナリストが、中近東とアメリカをそれぞれに取材して得られた、興味深い事実とともに報告する。(2008.5)



占イラク 戦争と抵抗

パトリック・コバーン著
／大沼安史訳
四六判上製 376頁 2800円
ISBN978-4-8461-0707-9 C0031 *

イラクの現状は真に内戦状態にあり、人々は常に命の危険にさらされている。本書は、開戦前からイラクを見続けてきた国際的に著名なジャーナリストの現地レポートの集大成。なぜ、ここまで悪化したのか？ その答えがこの本にはある。(2007.4)



石油の隠された顔

エリック・ローラン著
神尾賢二訳
四六判上製 452頁 3000円
ISBN978-4-8461-0708-6 C0031 *

国際石油資本と産油国は、石油の枯渇が間近いことをひた隠しにしている。本書は、カダフィ大佐、イラン・パーレビ国王、チェイニー米副大統領、石油の世界の黒幕、石油をめぐる興亡のキーマンに直接取材した、世界石油戦争のドキュメント。(2007.6)



石油資源の支配と抗争 オイルショックから湾岸戦争

宮嶋信夫著
四六判上製 213頁 1900円
ISBN4-8461-9151-6 C0033 ☆*

石油を支配するものが世界を制する。現代史は文字通り石油資源をめぐる支配と抗争の歴史でもあった。本書は国際石油資本と中東産油国との抗争が激化した、オイルショックから湾岸戦争後の現局面までの歴史を総括する。(1991.8)



世界のマフィア

ティエリ・クルタン著／上瀬倫子訳
四六判上製 384頁 2800円
ISBN8461-0606-3 C0036 *

[内容構成]

- 第一章・世界のマフィアと大型犯罪組織
アルバニア、コンゴ、マケドニア／中南米／メキシコ／コロンビア／ロシアとC I S 諸国／ロシアの大型犯罪組織の概要／トルコ／極東／中国系の黒社会／日本／米国／イタリア／シチリア他
- 第二章・マフィアの定義
マフィアの特徴／凶徒の結社、大型犯罪組織、マフィア
- 第三章・マフィアが社会に及ぼす影響
マフィアと政治、国家／マフィアと経済／マフィアと防衛／マフィアと法 他

本書は、フランスの司法官として実地で犯罪対策にあたっている著者が、膨大なデータをもとに、マフィアの定義、歴史と現況、組織構成と活動分野、国内外の拠点など、世界のマフィアの全体像を初めて明らかにした研究書である。(2006.7)



海に消えた星の王子さま

ジャック・プラデル／リュック・ヴァンレル著
神尾賢二訳
四六判上製 256頁 2000円
ISBN978-4-8461-0907-3 C0036 ☆*

『星の王子さま』の作者としてあまりにも有名なサンテグジュペリ——。1944年7月31日朝、対独レジスタンスを戦う自由フランス空軍飛行中隊司令官アントワヌ・ド・サンテグジュペリは、ドイツ占領下の南フランスの偵察飛行のためコルシカ島から単機で離

陸、任務中に消息を絶った。

本書は、第二次大戦における連合軍最年長の伝説の現役飛行士でもあるサンテグジュペリの行方不明の真相を解明するため、情熱に燃えた数人の小さなグループが、あきらめることなく続けた捜索活動のドキュメントである。小さな手がかりから、真相究明に確実に迫っていくダイナミズムは、読者を引きずり込んでやまない。果たせるかな、半世紀以上にわたって様々な人々によって執拗に続けられてきた、『星の王子さま』の作者の最後の謎が遂に解明される。(2009.5)



永遠の絶滅収容所 動物虐待とホロコースト

チャールズ・パターソン著
戸田清訳
四六判上製 396頁 3000円
ISBN978-4-8461-0706-2 C0036 *

動物の家畜化、奴隷制からジェノサイドまで、人類による虐待と殺戮の歴史を辿る。罪なき犠牲者である動物を護ることこそが、ある生命は他の生命よりもっと価値があるという世界観を克服し、搾取と殺戮の歴史に終止符を打つことができると説く。(2007.4)

【内容構成】

- 第1章 大いなる分断 人間の優越性と動物の搾取
- 第2章 狼、類人猿、豚、ネズミ、害虫 他者を動物として中傷する
- 第3章 屠畜の工業化
- 第4章 群れの改良 家畜育種からジェノサイドへ
- 第5章 涙の誓いなしに アメリカとドイツにおける殺戮センター
- 第6章 私たちも同じだった
- 第7章 この境界なき屠畜場
- 第8章 ホロコーストのもうひとつの側面



難民を追いつめる国 クルド難民座り込みが訴えたもの

クルド人難民二家族を支援する会編著
四六判並製 236頁 1700円
ISBN4-8461-0511-3 C0036

欧米では年に数千人から万単位の難民認定をするのに比べ、わずか十数人しか認定しない難民鎖国の日本。2歳の子どもを含む2家族が、難民認定を求め、国連大学前に座り込んだ。強制退去を迫る当局と支援の輪から見えてきたものは。(2005.7)



『イラク占領』書評 翻訳者の力と熱さが伝わる

イラクほど現地からの報道が難しい場所も少ない。次々とジャーナリストが誘拐され殺害されているからである。特に外国人のジャーナリストは危ない。そのイラクに2003年3月の開戦以前から入り、現在に到るまで報道を続ける英『インディペンデント』紙のパトリック・コバーンの存在は大きく、その発言は重い。そのコバーンの最新作が本書『イラク占領』である。本書を際立たせるのは、その詳細である。イラク各地、ワシントン、ロンドンでの取材を縦糸に、数多くのインタビューを横糸に織り上げられた叙述は緻密である。あたかも手織りの絨毯を見るかのようなのである。庶民の声なき声が、権力者のいがみあい、兵士ののりしが、引用され、肉体の吹き飛ばすテロの現場が詳述され

る。読み進むうちに読者は、著者と共にイラクの現代史を直接現場で経験しているような感じにとらわれるだろう。

コバーンが達意の文章で織り上げた絨毯に浮かび上がっているデザインは、アメリカの無謀、無知、無能であり、傲慢さである。その傲慢さが無数の悲劇を生みだし、それがイラク人のアメリカへの怒りの源泉となっている。グリーンゾーンというバグダッドの中心部に立てこもり、イラクを知らず知ろうともしないアメリカ人と、その外で苦しむイラク人のコントラストは鮮明である。しかも権力争いと腐敗に明け暮れるイラク人の指導者たちの姿がある。

この本を読んで、まだイラクでアメリカが勝てると思うのは相当に難しいだろう。訳文は流麗であり、翻訳者の力と熱さが伝わる。

●『日本経済新聞』2007年5月13日より抜粋



**WTO—シアトル以後
下からのグローバリゼーション**

石見 尚・野村かつ子著
四六判上製 180頁 1800円
ISBN4-8461-0404-4 C0036

*

WTO（世界貿易機関）はなぜかくも紛糾するの？ 本書は特に、シアトル以後の会議を通して、WTOの問題点を掘り下げるとともに、下からのグローバリゼーションの運動に焦点を当てて、今後の展望を打ち出している。（2004.5）



誰のためのWTOか？

パブリック・シティズン／ロリー・M・ワラチ／ミッシェル・スフォーザ著、ラルフ・ネーダー監修 海外市民活動情報センター監訳
A 5 判並製 336頁 2800円
ISBN4-8461-0109-6 C0031

WTOは国際自由貿易のための世界基準と考える人が少なくない。だが実際には超大国アメリカの利益や多国籍企業のために利用され、厳しい環境基準等をもつ国の制度の改変を迫るなど弊害も多い。本書は現状と問題点を明らかにする。（2001.11）



**フランサフリック
アフリカを食いものにするフランス**

フランソワ＝グザヴィエ・ヴェルシャヴ著／大野英士、高橋武智訳
四六判上製 544頁 3200円
ISBN4-8461-0211-4 C0031

数十万にのぼるルワンダ虐殺の影にフランスが……。歴代大統領が絡むフランスの巨大なアフリカ利権とスキャンダルを暴き、新植民地主義の事態を明らかにし、欧米を騒然とさせた問題の書、遂に邦訳。（2003.3）



**アジアの眼
NGOからの反グローバリズム**

モハメド・イドリス著／安藤栄雄監訳／中本健一訳
四六判上製 264頁 2400円
ISBN4-8461-0303-X C0036

*

多国籍企業によってアジアは破壊されている。それは新植民地主義そのものである。マレーシアのベナン消費者協会の会長である著者が、反グローバリズムの立場から森や生活基盤を破壊する開発や環境破壊を告発。イスラムの経済システムを提言する。（2003.3）



途上国支援と環境ガイドライン

国際環境 NGO FoE-Japan 編
A 5 判並製 216頁 2800円
ISBN4-8461-0205-X C0031

ODA実施機関であるJBIC（国際協力銀行）が融資するプロジェクトが現地できざまな社会・環境問題を引き起こしている。世界各地の事例を挙げ問題点を指摘し、必要な提言をしている。（2002.5）



**有機農業大国キューバの風
生協の国際産直から見えてきたもの**

首都圏コープ事業連合編
四六判並製 248頁 1800円
ISBN4-8461-0204-1 C0061

*

今静かなキューバ・ブームが起きている。それはゲバラでもなくサルサでもなく、有機農業大国として。経済封鎖のなか化学肥料もないキューバは有機農業を選ばざるをえず、それが生協産直でブームに。本書は現地を見て、苦労話をまとめたもの。（2002.4）



アジア小農業の再発見

岩崎美佐子／大野和興編著
四六判並製 269頁 2200円
ISBN4-8461-9806-5 C0061

☆

「農業近代化」の波がアジア農業をより大規模に浸食しつつある中で、各地の小農民たちの手で「もうひとつの農業」への試みが進められている。NGOなどで広く活動する著者らが現況を報告、その可能性を展望する。（1998.4）



**草の根から経済システムをつくる
ネグロスからケララへ・出会いの記録**

日本ネグロス・キャンペーン委員会編
四六判並製 340頁 2500円
ISBN4-8461-9803-0 C0036

☆

資本のグローバル化とIMF＝世銀体制の下、第三世界各国が絶望的な債務危機に瀕する中で、そこに暮らす民衆の自立は展望できるのか。アジア各国のNGO・個人によってもたれた2回の国際的「寄り合い」の報告を通じ、これを考える。（1998.2）



新台湾の奇跡

杉岡碩夫著
四六判上製 198頁 1900円
ISBN4-8461-0110-X C0033

大国・中国の目前でコンピューター産業を軸にアジアのシリコンバレーとして急成長を続ける台湾。この台湾の奇跡を生み出した中小企業の活力、民進党などの台湾政治のしたたかな動きなどを分析。現代の台湾の動向を知るための書。(2001.8)



戦火・自由そして死 カンボジア難民収容所日記

池原征夫著
四六判上製 262頁 1700円
ISBN4-8461-8204-5 C0036

美本なし

病める現代の象徴ともいべきカンボジア難民の悲惨な姿を凝視し、その叫びを聴くなかで、著者は怒り、迷い、苦しみ、悩む。カンボジア難民救援活動の半ばでマラリアに倒れた、若きフリーランスライターのレクイエム。(1982.1)



金日成後の朝鮮半島

前田康博著
四六判上製 270頁 2000円
ISBN4-8461-9481-7 C0030

金日成後の朝鮮半島はどうなるのか？金正日体制は確立するのか。米朝国交回復は成るのか。日朝交渉の行方は？本書は、元毎日新聞ソウル支局長の著者が、マスコミの軽薄な分析を両断し、これらの疑問に明快に答える。(1994.10)



北朝鮮とは何か 南北統一と日朝交渉

中川信夫著
四六判上製 221頁 2000円
ISBN4-8461-9259-8 C0030

☆☆

金日成独裁、世襲、テロ・謀略国家、経済危機など、マスコミが流布する北朝鮮のマイナス・イメージは枚挙にいとまがない。本書はこうした現実をふまえ、北朝鮮の論理と行動を分析して、南北統一と日朝正常化を考える。(1992.7)



激動の朝鮮半島 日朝新時代と90年代統一

中川信夫著
四六判上製 249頁 1900円
ISBN4-8461-9046-3 C0031

*

日朝国交回復へ向けての政府間交渉がはじまり、日朝新時代の幕が開いた。戦前の植民地支配と戦後の北朝鮮敵視政策に対し、日本は何を償い、何をなすべきか。北朝鮮は何を目指すのか。南北朝鮮の90年代統一は可能か？(1990.12)



現代と朝鮮 [上] ソ連崩壊後の朝鮮社会主義

鎌倉孝夫監修／社会科学研究所編著
A 5判上製 425頁 5800円
ISBN4-8461-9370-5 C1033

未だ分断されたままの朝鮮半島の再統一はなるのか？戦後世界史のなかに現代朝鮮を位置付け、その政治経済学的総括とともに、ソ連崩壊後の北朝鮮社会主義の理論的特徴を解明し、南北朝鮮の統一の方向を探った大著！(1993.11)



レ・タン・モデルヌ50周年記念号

クロード・ランズマン編／記念号翻訳委員会訳
A 5判並製 384頁 2700円
ISBN4-8461-9816-2 C0010

サルトル、ボーヴォワールが主宰し筆権を振った『レ・タンモデルヌ(現代)』誌の50周年記念号。クロード・ランズマン、ジャック・デリダ、ジャン・フランソワ・ルウエット、ジャネット・コロネルなどの現代フランスの知の最前線が大集合の一冊。(1998.10)



戦争の翌朝 ポスト冷戦時代をジェンダーで読む

シンシア・エンロー著／池田悦子訳
四六判上製 372頁 2500円
ISBN4-8461-9904-5 C0036

冷戦は本当に終わったのか。40年もの間冷戦を支えてきたものは安全保障問題だけではない。米国クラーク大の女性学・政治学教授が、ランボー、強姦、湾岸戦争、女性兵士などに視点を向け戦争・軍事化をジェンダー分析する。(1999.4)



シリーズ東欧革命①
チェコスロバキア 東欧のエコロジー

「シリーズ東欧革命」編集委員会編
四六判並製 238頁 2000円
ISBN4-8461-9042-0 C0331

☆*

東欧の反体制運動情報を最も系統的・網羅的に発信してきた『イースト・ヨーロピアン・レポーター』（ロンドン）と『ラ・ヌーベル・アルテルナティブ』（パリ）との特約の下に、生の資料で東欧情勢を分析するシリーズ。
(1990.7)



シリーズ東欧革命②
ハンガリー 東欧の民族問題 ブルガリア

「シリーズ東欧革命」編集委員会編
四六判並製 412頁 3000円
ISBN4-8461-9149-4 C0031

☆*

東欧の反体制運動情報を最も系統的・網羅的に発信してきた『イースト・ヨーロピアン・レポーター』（ロンドン）と『ラ・ヌーベル・アルテルナティブ』（パリ）との特約の下に、生の資料で東欧情勢を分析するシリーズ。
(1991.6)



東西ドイツを超えて
共産主義からエコロジーへ

ルドルフ・バーロ著／増田裕訳
四六判上製 325頁 2500円
ISBN4-8461-9040-4 C0030

*

ベルリンの壁が崩壊し、東独は西独に飲み込まれる形で統一ドイツが歩みだした。本書は、東独に生き西独へ追放された著者が、その体験的な「社会主義」批判と資本主義批判を通じて、東西ドイツを超える新たな道を語る。
(1990.3)

現代日本を読む



マイナンバーは監視の番号 徹底批判まやかしの共通番号制度

やぶれっ！住基ネット市民行動著
四六判並製 276頁 2000円
ISBN978-4-8461-1210-3 C0036

いま作られようとしている共通番号制度は、住民登録のある全ての国民に強制的に付番され、様々な「限定番号」をつないで広範な事務に汎用的に使用される「共通番号」である。

プライバシーに深く関わり、差別的扱いの原因となるおそれのあるセンシティブ情報や、住基ネットでは提供されない世帯情報も、情報提供ネットワークを通して提供される。

本書は監視社会や管理強化、プライバシー侵害などの問題からの批判だけでなく、現実に作られようとしている制度やシステムに内在する矛盾や問題点も検討する。(2012.6)

【内容構成】

- はじめに
- 第一章 民主党政権で番号制度はどのように検討されてきたか
- 第二章 「大綱」の考える共通番号制度と問題点
- 第三章 なぜ共通番号制度をいまつくろうとしているのか
- 第四章 「大綱」後の番号制度導入に向けた動き
- 第五章 国民総背番号三法案が国会提出
- 第六章 共通番号制度の問題点
- あとがき
- 本書資料について



記者クラブ 情報カルテル

ローリー・アン・フリーマン著／橋場義之訳
四六判上製 360頁 3000円
ISBN978-4-8461-1018-5 C0036 *

日本のメディアは記者クラブや新聞協会、メディアグループなどがつくり出す「情報カルテル」が支配している。結果「報道の自由」が事実上制限され、民主社会の発展が阻害されている。本書は日本の情報カルテルの実態を実証的、批判的に明らかにする。(2011.1)

【内容構成】

- 第1章 メディアを取り込む
- 第2章 歴史にみるプレス、政治、市民
- 第3章 日本の情報カルテル—第1部 競争と排除
- 第4章 日本の情報カルテル—第2部 規約と制裁を通じた関係の構築
- 第5章 網の目の拡大
- 第6章 なぜ情報カルテルが問題なのか
- 補遺A 国会記者会規約
- 補遺B 北見記者会司法クラブ規約
- 補遺C 宮内庁雑誌記者クラブ協定の足跡
- 補遺D イギリスのロビーとの比較



ペンの自由を貫いて 伝説の記者・須田禎一

小笠原信之 著
四六判上製 304頁 2,500円
ISBN978-4-8461-0913-4 C0036 ☆*

敗戦日本の針路を決める講和条約には全面講和論を最後まで貫き、「60年安保」では在京「七社共同宣言」の事なかれ主義を徹底批判した伝説の記者、須田禎一・生誕100年の今、やせ細るばかりのジャーナリズムに送る「再生の書」。(2009.11)

【内容構成】

- 序章 須田禎一と私
- 第1章 生い立ち
- 第2章 ジャーナリストに
- 第3章 教師に、そして道新へ
- 第4章 政治・外交の社説を書く
- 第5章 コラム「卓上四季」の筆鋒
- 第6章 “鮭の回遊”
- 第7章 晩年
- 須田禎一の著書・訳書・関連資料
- 本書執筆で主に参考にした本・資料
- あとがき



**プロブレムQ&A
あきれる裁判と裁判員制度**
(裁判官は、なぜ信用できないのか)

矢野輝雄著
A 5 判変並製 184頁 1800円
ISBN4-8461-0617-9 C0336

裁判は公平で、正しいものと思っている人も多いが、どうみてもおかしい判決や冤罪があとをたたない。本書はあきれる裁判の実例をあげ、具体的に検証する。また新たに導入された裁判員制度がどのような制度で、どのような問題があるのかも検討する。(2005.3)



地域を変える市民自治
井手敏彦の実践と思想

井手敏彦選集刊行会編
四六判上製 248頁 1900円
ISBN4-8461-0522-9 C0036

日本で初めて自治体レベルでのゴミの分別収集に取り組み、石油化学コンビナート建設を阻止するなどの活躍をした元沼津市長の功績は、いまでも色あせることはない。本書は、井手氏の足跡を辿りつつ、先駆者としての実践や思想を多角的にとらえる。(2006.2)

*



わたしの消費者運動
野村かつ子評論集

野村かつ子著/石見 尚編
四六判並製 328頁 2800円
ISBN4-8461-0306-4 C0036

日本の消費者運動を常にリードし、93歳にしてなおその可能性を探求している著者の生涯を懸けた思索と実践による評論集。本書は、運動が形成される過程の歴史的な貴重かつ生きた証言。確かなオルタナティブを求める消費者・市民運動関係者の必読の書(2006.5)

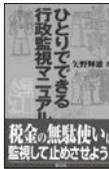
*



公務員の個人責任を迫る法

矢野輝雄著
A 5 判並製 240頁 2000円
ISBN4-8461-0610-1 C0032

複数の公務員や民間業者が関与して行なわれることが多い裏金作り、カラ出張、収賄等を告発するには、どんな方法があるのか。本書は、公務員の犯罪行為やその他の違法行為を効果的に追及する方法を個別、具体的に説明している。(2006.4)



ひとりできる行政監視マニュアル

矢野輝雄著
A 5 判並製 260頁 2200円
ISBN4-8461-0508-3 C0032

税金の無駄遣いの監視は、各自治体の監査委員や議会がすべきだが、「眠る議会と死んだ監査委員」といわれるように、何も監視しない状況が続いている。本書は、市民がひとりでも行政監視できるように、丁寧に様々な監視手法を説明。(1999.4)

*☆



行政監視本人訴訟マニュアル

矢野輝雄著
四六判並製 264頁 1800円
ISBN4-8461-9905-3 C0032

美本なし

カラ出張、カラ接待といったあの手この手の公金不正支出から贈収賄と、役人の不正は止まるところを知らない。こうした輩をやっつけるために、市民がひとりでもできる行政監視の方法やカネのかからない訴訟の方法を解説。(1999.4) (美本なし)



個人情報保護法の狙い

臺 宏士著
四六判並製 264頁 1900円
ISBN4-8461-0112-6 C0036

この法案は、個人情報に関して民間分野に初めて法の網をかけると共に、言論・出版・表現の自由の封殺をもくろむ悪法である。本書は、法案の背景、政府・与党の狙い、法案をめぐる動きと法案の問題点を、第一線の新聞記者が追う。(2001.10)



『地域を変える市民自治』書評
市民派市長の足跡本に

「市民自治の実現」と「地域主義」を訴え続けた「反骨の思想」が伝わる。(中略)
雑誌のインタビュー(91年)で市長時代を

振り返り、「職員に絶対に本省という言葉を使っ
てはいかんと、お前さんたちは国とも県とも対
等なんだ、という意識を育てることに苦労し
た」。さらに「本省意識にとらわれていては分
別収集は生まれない」と力説している。

●朝日新聞静岡版06年2月2日

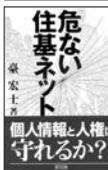


**プロブレムQ&A
個人情報を守るために**
〔瀕死のプライバシーを救い、監視社会を終わらせよう〕

佐藤文名著
A 5判変並製 256頁 1900円
ISBN4-8461-0107-X C0336

☆

IT時代といわれ、簡単に情報を入手できる現在、個人情報やプライバシーを護るにはどうしたらよいのか？ 本書は人権に関する現状や法律を踏まえ、自分を護るための方法を分かり易く提示。
(2001.7)



危ない住基ネット

臺 宏土著
46判並製 264頁 1900円
ISBN4-8461-0216-5 C0036

住民基本台帳ネットワークシステムの稼動により行政にプライバシーが握られると、悪利用がされるおそれがある。本書は住基ネットの内容、個人情報がどのように侵害されるのか、など第一線記者があらゆる角度から危険性にメスをいれる。
(2002.10)



**プロブレムQ&A
これなら勝てる市民運動**
〔いかに悪徳行政と闘い開発を止めるか〕

岩田 薫著
A 5判変並製 240頁 1900円
ISBN4-8461-0003-0 C0336

☆

国などによる無駄な公共事業が、後を絶たない。役人の不正腐敗も花盛り！横暴を止めさせるには、市民が立ち上がるしかない。本書は、豊富な市民運動の経験者で元地方議員であった著者が、運動の立ち上げ方から必勝法を完全ガイド。
(2000.7)



堤義明との5700日戦争

岩田 薫著
四六判上製 224頁 1700円
ISBN4-8461-0519-9 C0036

著者が軽井沢に移り住み、ゴルフ場計画に反対したことから始まった堤義明のコクド、西武グループとの戦争。闘いは、オリンピック招致と長野新幹線反対から、別荘疑惑、株偽装告発へと続き、遂に彼を逮捕へと追い込む。市民による壮絶な闘いの記録。
(2005.11)



石原慎太郎が総理大臣になったら

久慈力著
四六判並製 232頁 1700円
ISBN4-8461-0020-0 C0031

国民のフラストレーションは高まる中、いま日本で最も総理大臣になってもらいたい人物ナンバー1が、石原慎太郎東京都知事だ。だがタカ派・国家主義者の石原ほど危険な人物もいない。その危険性を分析、総理への可能性を考える。
(2000.11)



政界の仕掛人 亀井静香放言録

久慈力著
四六判並製 244頁 1800円
ISBN4-8461-9802-2 C0031

亀井静香——その評価はさておき、`保保派、として、現在の日本政治を動かす「キーマン」である。本書は、亀井氏の爆発力のある「発言」の緻密な検証を通し、日本政界の動静を診断し、権力の座についた暁の「問題性」を追及する。
(1998.1)



これでいいのか首都機能移転

久慈力著
四六判並製 232頁 1900円
ISBN4-8461-9706-9 C0036

92年に成立した「国会等の移転に関する法律」に基づく、首都機能の移転計画とは何か？ どこに移転するのか？ 国会・省庁・司法機関、はたまた皇居は移転するのか？ 本書はその問題点をひとつひとつ明らかにする。
(1997.5)



平松・大分県政の検証

地方分権研究会編
四六判並製 228頁 1600円
ISBN4-8461-9825-1 C0031

一村一品運動など地方分権の旗手として有名な平松守彦大分県知事。だが、5期20年にわたる県政に対する批判が、地元から吹き出している。地域開発の失敗とムダ遣い、財政赤字など放漫県政を徹底検証。
(1999.1)



暴走を続ける公共事業

横田 一著
四六判並製 232頁 1700円
ISBN4-8461-0312-9 C0036

諫早干拓、沖縄・泡瀬干潟埋立、九州新幹線、愛知万博、ケニアODAなど、暴走を続ける公共事業。本書は公共事業の利権構造にメスをいれるとともに、土建国家から決別しようとしている田中康夫長野県政もルボした渾身の力作.. (2003.10)



経済学入門 経済の不思議に答える

名和隆央著
A 5 判並製 144頁 1900円
ISBN4-8461-0402-8 C0033

経済は不思議に満ちている。自分中心に動く市場経済でも、社会的には皆がそれなりに生活している。本書は経済現象に含まれるさまざま不思議さをテーマにすえ、経済学の基本を分かりやすく解説。現代の不況を解明するための入門書。(2004.3)



国権と民権 山川暁夫＝川端治 論文集

山川暁夫著
山川暁夫＝川端治論文集刊行委員会編集
A 5 判上製 496頁 6000円
ISBN4-8461-0101-0 C0031

70年安保と沖縄返還、金大中拉致など日韓関係、グラマン疑惑など構造汚職、55年体制から日本の保守支配体制、日米安保体制とアメリカなど、60年代から世紀末まで、政治・軍事評論家として鋭い分析を展開してきた著者の主要論文を集大成した一冊。(2001.3)



住民自治で未来をひらく

住民自治の拡大をめざすネットワーク編
四六判並製 230頁 1900円
ISBN4-8461-9593-7 C0031

役人たちの権力が肥大化し、官僚支配による行政は、やりたい放題。特に公共事業の名で行われる利権事業で、生活も自然も大きく破壊されている。住民による住民のための政治を取り戻すにはどうすればいいかを考える。(1995.7)



戦後期の地方自治

佐藤俊一著
四六判上製 347頁 2500円
ISBN4-8461-8519-2 C0031

敗戦は抑圧されていた民主化と自治へのエネルギーを一気に噴出させた。地方自治事件を点描しつつ、官公庁民主化、知事・市町村長・教育委員・公安委員の公選、自治体警察といった地方自治の諸改革と挫折を活写する。(1985.9) (美本なし)



地域と自治の復権

石川錬治郎著
四六判上製 225頁 1700円
ISBN4-8461-8307-6 C0036

減農反政と乱開発の中で、いま静かに進行する農山村破壊の現状と実態を解明。過疎・過密に象徴される農山村と都市の問題の解決を、地域と自治の復権の論理により展望する。農業問題研究者で元秋田市長の手による変革の書。(1983.7)



農と食の政治経済学

大野和興著
四六判上製 304頁 2400円
ISBN4-8461-9476-0 C0061

コメの自由化はどのように日本の農業を壊滅させるのか？ 本書は、日本の農と食をめぐる現状と問題点を分析、その全面的解体ともいべき状況がなぜ生まれたかを考え、土を生かした農業の再生と自立の方向を探る！ (1994.5)



85年体制への序章

中曽根・行革・レフチェンコ・大韓機事件を撃つ
山川暁夫著
四六判上製 238頁 1700円
ISBN4-8461-8311-4 C0031

中曽根政治とは何か、行政改革の狙いは、著者を「スパイ」と名指したレフチェンコ証言のカラクリとは、大韓航空機撃墜事件の謎とは——膨大なマスコミの行間を読み、右傾化の焦点を抉り、支配の側の八五年体制を衝く。(1984.12)



新たるなる戦前

山川暁夫著
四六判上製 285頁 1800円
ISBN4-8461-8310-6 C0031

人民ジャーナリスト＝山川暁夫の政治評論集。反動化を強める今日の内外情勢は「新たるなる戦前」といっても過言ではない。本書は現代帝国主義を統合帝国主義として総括、反戦・反核、反原発を環とする変革を提起する。(1983.8)



自主管理の政治学

前野良著
四六判上製 285頁 2200円
ISBN4-8461-8309-2 C0031

高度工業社会の管理抑圧構造からの人民の自己解放はどうあるべきか。本書は、グラムシの思想を軸にブダベスト学派や西欧自主管理社会主義の諸理論を摂取しつつ、労働と生活、人間と自然を貫く新たな自主管理論を提起。(1983.7)



85年体制とは何か 中曽根政治を料理する

いいだもも著
四六判上製 245頁 1800円
ISBN4-8461-8415-3 C0031

右傾化の道を暴走する中曽根改造内閣は、臨調行革と教育臨調をつゆ払いに、恐るべき総合安保国家づくりを今めざしている。軍拡と改憲のこの「85年体制」は何をもたらすのか。危機の時代とどう対決すべきかを解明する。(1984.11)



教育と国家I 「教育改革」を撃つ

鎌倉孝夫著
四六判上製 270頁 1900円
ISBN4-8461-8729-2 C0037

臨教審「教育改革」の政治・経済、社会的背景と狙い、政府・財界による教育再編成の内容と方向は何なのか？ 各答申はどう読むべきか？ 「教育自由化」と国家主義的な管理強化の関連は？ これらの疑問を解く。*(1987.6)



教育と国家II 自由と統制

鎌倉孝夫著
四六判上製 422頁 2800円
ISBN4-8461-8831-0 C0037

「教育改革」は、何をもちたらすのか？ 今日の教育問題はその専門領域に限定しては問題を解明しえない。臨教審「教育改革」は新自由主義と新国家主義によるという観点から、全問題を検討し、教育の再生を展望する。*(1988.1) (美本なし)



危ない 抵当証券

山一抵当証券被害回復の記録

小西慶太著
山一抵当証券被害弁護団
四六判並製 256頁 1900円
ISBN4-8461-0102-9 C0033

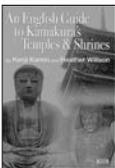
「元本保証で高利回りですから抵当証券をご購入下さい」という営業マンの勧誘に、老後資金などをつぎ込んだ市民たち。そこに寝耳に水の山一証券の破綻。危ない抵当証券のカラクリをドキュメント。(2001.3)



電波メディアの神話

木村愛二著
四六判並製 309頁 2200円
ISBN4-8461-9478-7 C0065

電波の希少性を根拠に国家管理され続け、形式的公平さを装ってきた電波メディア。マルチメディア時代を迎え、企業と国家による管理と支配が更に強まるなかで、どうすれば電波メディアを市民の手に取り戻せるかを考える。*(1994.7)



An English Guide to Kamakura's Temples & Shrines

by Kenji Kamio and Heather Willson
B 6 判並製 184 頁 1500 円
ISBN978-4-8461-0811-3 C0026

鎌倉のすべての寺と神社の歴史と仏像など見どころを写真付きで完全ガイド！ 各エリアの地図、歩き方、コースタイム付きで丁寧な作られた、初の本格的な英語版鎌倉ガイドブック。(2008.7)

安全保障を考える



安保「再定義」と沖縄 アジアの視点から

剣持一巳編
四六判並製 240頁 2000円
ISBN4-8461-9702-6 C0036

米軍基地は土地問題、兵士の暴行事件等、さまざまな社会問題をもたらし、またアジアの人々にとって脅威である。本書はグローバル化する日米安保と基地の問題を、日本とアジアの論客が多角的に撃つ (1997.3)



プロブレムQ&A 「基地・軍隊」と私たちの安全 「新ガイドライン」時代の反戦と平和

派兵CHECK編集委員会著
A5判並製 272頁 1800円
ISBN4-8461-9810-3 C0336

「冷戦」後も「テロやゲリラ」などの危険地域紛争などに対処するために軍隊は必要だという。しかし兵士による暴力事件・性犯罪の続発、環境破壊、税金の無駄遣いは止まらない… 基地・軍隊が私たちの安全を脅かす現実から「真の安全」を問う。 (1998.4)



派兵国家日本の進路

派兵チェック編集委員会編
四六判並製 284頁 2200円
ISBN4-8461-9595-3 C0031

日本政府はPKO協力法成立以降、世界各地に自衛隊を送り出すなど「国際貢献」に積極的である。しかし国連の名の下の国際平和とは何なのか。反戦・反派兵市民運動の手によるPKO派兵の背景を分析。 (1995.6)



カンボジアPKO違憲訴訟

「PKO法」違憲訴訟の会 編著
四六判並製 339頁 2600円
ISBN4-8461-9812-X C0036

湾岸戦争を契機に政府は「PKO協力法」を強行成立させ、戦後初の海外派兵を実現した。本書は、この自衛隊派兵を、憲法を踏みにじり平和の生存権を侵害するものとして、カンボジアPKO違憲訴訟に立ち上がった市民の記録である。 (1998.6)



国際利権を狙うPKO

木村愛二著
四六判上製 220頁 2000円
ISBN4-8461-9373-X C0031 ☆*美本なし

PKO(国連平和維持作戦)は、米国等の大国が国連を通じて冷戦後の国際利権の再配分、資源と市場の奪取を狙ったものだ。本書は、マスメディアが報道しない、PKOの真実を明らかにし、「国際貢献」の虚構を撃つ! (1994.1)



カンボジアPKO [分析と資料]

緑風出版編集部編
四六判並製 273頁 2200円
ISBN4-8461-9262-8 C0031

国連によるカンボジアの占領、統治ともいえるカンボジアPKO。カンボジアPKOはたしてカンボジア民衆のためなのか。本書はカンボジアPKOをさまざまな視点から分析し、パリ和平協定など基本資料を収録した書。 (1992.11)



PKO派兵 [分析と資料]

剣持一巳著
四六判並製 245頁 2000円
ISBN4-8461-9260-1 C0031

PKO法の成立によって自衛隊のPKO派兵がはじまった。PKO法(国連平和維持活動協力法)とは何か。それは何を狙っているのか。PKO派兵をめぐる問題点を洗い出し、PKO法全文など豊富な資料を加えた入門書。 (1992.9)



PKO問題の争点 [増補版]

[分析と資料]

緑風出版編集部編

四六判並製 352頁 2500円

ISBN4-8461-9257-1 C0031

☆

PKO=国連の平和維持活動とは何か。その歴史と現状はどうなっているのか。PKOは国際貢献になるのか。自衛隊の海外派兵は許されるのか。PKO問題をめぐる疑問をあらゆる角度から分析した書。PKO法案を増補。(1992.4、旧版1991.9)



湾岸戦争と海外派兵

[分析と資料]

剣持一巳・宮嶋信夫・山川暁夫編著

四六判並製 298頁 2000円

ISBN4-8461-9147-8 C0031

☆*

湾岸戦争は「終結」したが、問題は何も解決してはいない。本書は、湾岸戦争の政治・経済的背景と本質を明らかにし、湾岸戦争と日本の対応について、国会論戦、関連法令、イラク情報文化省資料など基本的な資料を収録する。(1991.2)



ピース・アクション・ハンドブック

イギリス市民運動の手引

ギャビン・スコット著/近藤和子訳

四六判並製 222頁 1500円

ISBN4-8461-9041-2 C0030

☆

イギリスの反核市民運動のノウハウをやさしく紹介した市民運動のためのマニュアル。政党・議員・組合・マスコミの利用法、スピーチの仕方、ビラ作りや集会やデモのやり方、問題人物対処法など、すぐに役立つ内容！(1990.5) (美本なし)

天皇制と戦争責任を問う



プロブレムQ&A
お世継ぎ問題読本
【どこへ行く？ 女性天皇論争】
佐藤文明著
A 5判変並製 248頁 1800円
ISBN978-4-8461-0704-8 C0336

この間、皇太子夫妻に男子が生まれなかったことから、女性天皇を容認する典範改正を図ろうとしました。これを巡って賛否の論争が行なわれましたが、秋篠宮家の男子出産でひとまず棚上げになっています。この問題が何を意味するのかを明確にする必要があります。

す。夫婦の幸せにとって、また、女性や子ども
の幸せにとって、天皇家の家長としての地位はプラスなのか、天皇制を維持することがプラスなのか。本書は、歴史を踏まえ、この問題に厚みのある論点を提供しています。
(2007.3)

【主内容】

- 1 どこへ行く女性天皇論争
 - 2 日本の源流と女性の役割
 - 3 天皇の継承と戦争の関係
- 資料 有識者会議報告



私たちが中国でしたこと [増補改訂版]

星徹著
四六判並製 282頁 2300円
ISBN4-8461-0613-6 C0030

本書は「旧日本軍が中国で何をどのように行なったのか」を、加害将兵らの証言を通じて明らかにする。なぜ多くの日本人青年が数々の蛮行を起こすに至ったのか、後にどのような過程を経てその罪を深く悔いるようになったのか。生々しい、慟哭と悔恨の告白が

示す衝撃の事実。増補改訂版では、本書の証言者たちに現在の思いを取材。
(2006.7)

【内容構成】

- 第Ⅰ部 中国へ「帰郷」した日本人戦犯たち
- 第Ⅱ部 時代に翻弄されて
- 第Ⅲ部 出世のためか、天皇のためか、憂さ晴らしのためか
- 第Ⅳ部 憲兵、軍医、そして七三一部隊
- 第Ⅴ部 将校の矜持
- 第Ⅵ部 彼らはなぜこのようなことをしたのか？
- 第Ⅶ部 日本はどこへ向かうのか



戦争責任 過去から未来へ

アジアに対する日本の戦争責任を問う民衆法廷準備会編著
四六判上製 447頁 3200円
ISBN4-8461-9804-9 C0030

日本の戦争責任に「時効」はない。本書は未来に向け、市民的権利・義務としての「不服従」「抗命」の権利の確立を訴える。
(1998.2)

【内容構成】

- 第Ⅰ部 アジア民衆法廷大法廷の記録

第Ⅰ章 戦争責任論半世紀の展開——反省と展望／第Ⅱ章 いま考える戦争責任／第Ⅲ章 「私は戦争当事者ではないから反省する必要はない」という意見に、私はなぜ与しないか など
第Ⅱ部 アジアに対する日本の戦争責任を問う 民衆法廷〈大法廷〉判決文／前文／主文
メディアの戦争責任—占領地新聞を中心に—
音楽・美術の戦争責任／児童文化に見る戦争責任／教育の戦争責任（／体育・スポーツの戦争責任／宗教の戦争責任／司法の戦争責任／経済にみる戦争責任／香港軍票の戦争責任／など



時効なき戦争責任 [増補版] 裁かれる天皇と日本

アジア民衆法廷準備会編
四六判上製 290頁 2200円
ISBN4-8461-9815-4 C0030

アジアに対する日本の戦争責任に時効はない。天皇と日本の戦争責任を市民の立場から追及することを宣言し、そのさきがけになった、アジア民衆法廷論集「戦後50年国会決議」「自由主義義観」以後の戦争責任論を増補。
(1998.7)

【内容構成】

- I アジア民衆法廷へ向けて
東京裁判が考えさせてくれたもの／歴史を
獲得するための提起 他
- II 天皇制と戦争
『神・天皇制』はいつ作られたのか／新軍

- 国主義の台頭と天皇制／天皇と憲法をどう
するか／沖縄から天皇制を撃つ 他
- III 戦争犯罪の発掘
明らかになった日本軍による毒ガス戦／細菌
戦部隊・南京「栄」一六四四部隊の戦争犯罪
【増補】持続した「戦争責任」追及への課題



問い直す東京裁判

アジア民衆法廷準備会編
四六判上製 272頁 2200円
ISBN4-8461-9585-6 C0030

【内容構成】

- 「問い直す東京裁判」の刊行にあたって（内海愛子）
- 第一章 東京裁判を考える（粟屋憲太郎）
 - 第二章 「勝者の裁き」論再考（住谷雄幸）
 - 第三章 極東国際軍事裁判と「小国」の立場
——フィリピンの場合（永井均）
 - 第四章 ニュルンベルク裁判の構造と展開
（芝健介）
 - 第五章 戦後ドイツの「過去の克服」の歩み
（佐藤健生）
 - 第六章 東京裁判再検討の視角（吉田裕）
 - 第七章 占領期の戦争責任論（吉田裕）

侵略戦争を指導した東条英機らが裁かれた東京裁判が極東国際軍事裁判が、改めて問い直されている。東京裁判がはらむ問題点を様々な角度から総括。（1995.1）



「戦争の記憶」その隠蔽の構造
国立戦争メモリアルを通して

田中伸尚著
四六判並製 347頁 2500円
ISBN4-8461-9717-4 C0036

戦争遺児への慰藉が目的だとする「戦没者追悼平和祈念館（仮称）」の建設が始まった。だがアジア諸国に対する戦争責任を曖昧にしたままで良いのか。日本遺族会が国に要望した祈念館構想と背景・経緯を探り、建設の意味を問う。（1997.12）



天皇制に挑んだ一七〇〇人
「即位の礼・大嘗祭」違憲訴訟の記録

『即・大』いけん訴訟団編著
四六判並製 290頁 2400円
ISBN4-8461-9501-5 C0036

「即位の礼」「大嘗祭」は政教分離規定に違反の疑いあり、との画期的判決が95年大阪高裁で出された。信教・思想・良心の自由を求めて1,700人近くも原告が名を連ねたこの裁判闘争の意味をさまざまな観点から考える。（1995.12）



裁判の中の天皇制

靖国・天皇制問題情報センター編
四六判並製 281頁 2400円
ISBN4-8461-9620-8 C0036

天皇代替わりの前後に様々な「事件」が起こり、また行事・儀式に多額の国・公費（税金）が使われ、そして多くの裁判が起こされた。本書では10件の訴訟を通じて、天皇制がはらむ問題と、自由と人権を守る闘いの意味を探る。（1997.1）



プロブレムQ&A
「日の丸」「君が代」「元号」考
起源と押しつけの歴史を問う

佐藤文明著
A 5判変並製 204頁 1800円
ISBN4-8461-9719-0 C0336

「日の丸」「君が代」を「国旗」「国歌」とする法律が成立した。本書は「元号」も含め、これらの起源を探り、生活の中にひそむ「天皇制」の問題を明らかにしながら、その変革の可能性を問う。目から鱗の落ちる情報も満載！（1997.12）



資料「君が代」訴訟

「君が代」訴訟をすすめる会編
A 5判上製 596頁 6200円
ISBN4-8461-9908-8 C0032

小・中学校の入学式・卒業式での「君が代」強制は、思想・良心の自由を侵害するとして、保護者・市民・教員らが京都市教委を訴えた「君が代」訴訟の全記録。精神的自由の観点から、体系的理論を提起し、「君が代」訴訟が何を問うたのかを明らかにする。（1999.6）

ドキュメント

昭和天皇(全8巻)

田中伸尚著

揃20600円

膨大な一次資料と綿密な取材で昭和史のタブーに挑み、昭和天皇の戦争責任を鋭く問う、大河ドキュメント遂に完結！「類書中、群を抜くできればである」(毎日新聞88年10月8日夕刊)と大好評！その他各紙誌も絶讃。



第一巻 侵略

四六判上製 350頁 1900円 ISBN4-8461-8414-5 C0021

泥沼の中国侵略から太平洋戦争前夜に至る激動の時代を、昭和天皇を頂点とする宮中と政府・軍部の動きを克明に描きながら、国民の埒外で謀略的に推進された戦争政策を明らかにし、天皇の侵略責任、戦争責任を鋭く追及する。

(1984.7)

【内容構成】

プロローグ

- 第一章 侵略と追認
- 第二章 対米戦も辞せず
- 第三章 東条に大命
- 第四章 宮中の激論
- 第五章 無言の決断



第二巻 開戦

四六判上製 406頁 2200円 ISBN4-8461-8518-4 C0021

東条首相の自信に満ちた発言を最後に、会議は終わった。終始無言ではあったが、東条らの説明にいちいち頷いていた天皇は席を立つ。「開戦の聖断」は下った。すでに機動部隊は東進し、パール・ハーバーに照準を合わせた。

(1985.4)

【内容構成】

- 第一章 日米交渉
- 第二章 毒ガス戦
- 第三章 41年晩秋
- 第四章 交渉決裂
- 第五章 前夜
- 第六章 開戦



第三巻 崩壊

四六判上製 454頁 2400円 ISBN4-8461-8521-4 C0021

緒戦の勝利に酔う42年正月の華麗な宮中。「戦果が早く挙り過ぎるよ」と相好を崩す天皇。だが6月のミッドウェー海戦大敗以降は敗勢覆うべくもなく、「米軍をピシャリと叩けぬか」と叫ぶ中で大日本帝国の崩壊が始まる。

(1986.1)

【内容構成】

- 第一章 華麗な元旦
- 第二章 神々の侵略
- 第三章 驕慢と油断
- 第四章 敗兆
- 第五章 焦慮と怒り
- 第六章 崩壊



第四巻 敗戦〔上〕

四六判上製 542頁 2800円 ISBN4-8461-8728-4 C0021

敗戦が決定的になったにもかかわらず、天皇の戦意は衰えない。天皇制の崩壊を恐れた宮中グループは密かに「終戦工作」を開始する。「もう一度戦果を」と呟く天皇を嘲笑うように、連合軍は本土を連日空襲し沖繩に迫る。

(1987.4)

【内容構成】

- 第一章 東条放逐
- 第二章 決戦への幻想
- 第三章 「戦局ノ危急」
- 第四章 連合艦隊の潰滅
- 第五章 特攻
- 第六章 天皇の動揺
- 第七章 ヤルタ
- 第八章 首都炎上



第五卷 敗戦〔下〕

四六判上製 618頁 3200円 ISBN4-8461-8832-9 C0021

「沖縄島は一木一草焦土と化せん。沖縄県民かく戦えり」と海軍守備隊は訣別電を打つ。遂に戦争を断念した天皇は国体護持のための「終戦」を決意。皇族会議で「たのむたのむ」と結束を訴え、「聖断」のシナリオを演ずる。(1988.5)

【内容構成】

- 第一章 沖縄
- 第二章 ヒトラーの最期
- 第三章 攻囲された日本
- 第四章 「和平」工作
- 第五章 ポツダム
- 第六章 「聖断」神話
- 第七章 敗戦



第六卷 占領

四六判上製 274頁 2000円 ISBN4-8461-9043-9 C0021

美本なし

「聖断神話」の流布、軍隊の武装解除、初の皇族内閣の組織など「国体護持」のため必死の工作が進められる中で、占領軍が進駐し、降伏文書が調印され、東条ら戦犯が逮捕される。遂に天皇はマッカーサー元帥を訪問する。(1990.10)

【内容構成】

- 第一章 武装解除
- 第二章 進駐
- 第三章 降伏文書調印
- 第四章 マ元帥訪問



第七卷 延命

四六判上製 342頁 2500円 ISBN4-8461-9255-5 C0021

裕仁天皇は、天皇制と自らの延命を賭け、短波放送に耳をそばだて連合国の動向を探る。そして木戸内大臣ら宮中グループと対策を練り次つぎと手を打っていく。しかし、米国本土を中心に戦争責任追及の声が高まってくる。(1992.2)

【内容構成】

- 第一章 改憲への深謀
- 第二章 天皇を救う人びと
- 第三章 内大臣府廃止
- 第四章 戦犯と天皇
- 第五章 藩屏たちの運命



第八卷 象徴

四六判上製 509頁 3600円 ISBN4-8461-9364-0 C0021

新憲法作成をめぐる保守・革新勢力、政府とGHQの攻防の中、宮中グループは、天皇制の延命と護持に向けて、必死の工作を続ける。象徴天皇の成立への波乱のドラマは頂点を迎える。昭和天皇の実像に迫り、その戦争責任を問う大河ドキュメント遂に完結！(1993.3)

【内容構成】

- 第一章 神格
- 第二章 神性の否定
- 第三章 緊急電
- 第四章 天皇の戦い
- 第五章 象徴
- 第六章 巡幸のなかで
- 第七章 不訴追



『ドキュメント 昭和天皇』書評

10年の歳月挑んだ労作

10年の歳月をかけて完結したこの大河ドキュメントは、事実をもって語らしめながら、その関係の根幹を衝く大労作である。

「天皇裕仁の政治的なディテールにこだわる方法論」によって書かれたこのドキュメントで一貫しているのは、昭和天皇の戦争責任の追及である。

著者は第3巻の「崩壊」で、敗色濃くなった昭和19年8月5日に、天皇が参謀総長の杉山元に、

「米軍をピシヤリと叩くことは出来ないのか」と言ったのを引く。昭和天皇を平和主義者と呼ぶ人間が少なくないが、こうした発言はそのイメージをくつがえすものだろう。第5巻の「敗戦(下)」では、いわゆる終戦の「聖断」についても、事実を示して疑問を投げかけている。

この大著は読みごたえをもって読者に天皇制への再考を迫るものである。

●佐高信氏評、『信濃毎日新聞』1993年5月9日号より抜粋。

日本軍性奴隷制を裁く(全6巻)

2000年女性国際戦犯法廷の記録
VAWW-NET Japan編・揃18700円



第1巻 戦犯裁判と性暴力

内海愛子・高橋哲哉責任編集、
VAWW-NET Japan 編
四六判上製 335頁 2800円
ISBN4-8461-0006-5 C0030

強かんや強制売春はれっきとした戦争犯罪である。過去の戦犯裁判は戦時下での女性への性暴力をどう裁いたのか。本書は、過去の戦犯裁判だけでなく、現在の各国における紛争時の人権侵害をも明らかにし、ジェンダーの視点から問い直す。(2000.5)



第2巻 加害の精神構造と戦後責任

内海愛子・高橋哲哉責任編集、
VAWW-NET Japan 編
四六判上製 320頁 2800円
ISBN4-8461-0010-3 C0030

戦争という異常な状況の中で、兵士達は何ぞ、あのような残虐行為に走ってしまうのか? 第1巻に続き、加害者の倫理と戦後責任を問う。(2000.8)



第3巻 「慰安婦」・戦時性暴力の実態 I

内海愛子・高橋哲哉責任編集、
VAWW-NET Japan 編
四六判上製 352頁 3000円
ISBN4-8461-0017-0 C0030

従軍「慰安婦」制度の分析に加え、日本・台湾・朝鮮の各地における実態を实地調査をもとに明らかにする。北朝鮮における実態も報告。(2000.11)

☆



第4巻 「慰安婦」・戦時性暴力の実態 II

内海愛子・高橋哲哉責任編集、
VAWW-NET Japan 編
四六判上製 335頁 3400円
ISBN4-8461-0022-7 C0030

従軍「慰安婦」制度の分析に加え、中国・東南アジア・太平洋の各地における証言を地道な調査で掘り起こし、その被害と加害の実態を詳細に検証している。(2000.12)



第5巻 女性国際戦犯法廷の全記録 I

内海愛子・高橋哲哉責任編集、
VAWW-NET Japan 編
四六判上製 388頁 3400円
ISBN4-8461-0206-8 C0030

戦時・性暴力不処罰の悪循環を断ち切るため、被害女性の期待に応え、国際的な民間法廷として開廷された日本軍性奴隷制(「慰安婦」制度、戦時性暴力)を裁く2000年女性国際戦犯法廷。本書は法廷の記録と意義を収録した前編。(2002.5)



第6巻 女性国際戦犯法廷の全記録 II

内海愛子・高橋哲哉責任編集、
VAWW-NET Japan 編
四六判上製 388頁 3900円
ISBN4-8461-0207-6 C0030

戦時性暴力不処罰の悪循環を断ち切るため、被害女性の期待に応え、国際的な民間法廷として開廷された女性国際戦犯法廷。法廷の資料が膨大となり1巻に収めきれず、やむなく2巻に分け、本書では主に判決を中心に収録。(2002.7)

【あ】

I T革命の虚構 (クリティカル・サイエンス⑤)……………58
 アイヌ共有財産裁判……………46
 アイヌ近現代史読本……………46
 アイヌ差別問題読本 [増補改訂版] (Q & A)……………46
 赤と緑……………9
 あきれる裁判と裁判員制度……………74
 朝日連峰の自然と保護……………15
 アジア・オセアニア (世界の環境問題 第八巻)……………37
 アジア小農業の再発見……………70
 アジアの環境破壊と日本 (ドキュメント日本の公害 第十三巻)……………39
 アジアの眼……………70
 足尾・水俣・ビキニ (ドキュメント日本の公害 第四巻)……………38
 あなたの「町内会」総点検 [増補改訂版] (Q & A)……………60
 アニマルライト犬との暮らし方全書 (Q & A⑧)……………62
 危ないオール電化住宅 [増補改訂版] (Q & A)……………25
 危ない携帯電話 [増補改訂版] (Q & A)……………26
 危ない住基ネット……………75
 危ない抵当証券……………77
 新たな戦前……………77
 アメリカの暗殺者学校……………67
 アレルギーの人の家造り (Q & A)……………61
 安全な暮らし方事典……………34
 安保「再定義」と沖縄……………78
 An English Guide to Kamakura's Temples and Shrines……………77

【い】

「慰安婦」・戦時性暴力の実態Ⅰ (日本軍性奴隷制を裁く 第3巻)……………84
 「慰安婦」・戦時性暴力の実態Ⅱ (日本軍性奴隷制を裁く 第4巻)……………84
 石原慎太郎が総理大臣になったら……………75
 遺伝子組み換えイネの襲来 (クリティカル・サイエンス④)……………35
 遺伝子組み換え企業の脅威 [増補版]……………31
 遺伝子組み換え食品の危険性 (クリティカル・サイエンス①)……………34
 遺伝子組み換え食品の争点 (クリティカル・サイエンス③)……………35

遺伝子組み換えナタネ汚染 (クリティカル・サイエンス⑥)……………31
 遺伝子操作時代の権利と自由……………29
 生命 (いのち)……………29
 イラク占領……………68
 医療現場は今……………63
 飲料水・海水汚染 (ドキュメント日本の公害 第十巻)……………39

【う】

ウォーター・ウォーズ……………13
 海 (自然保護事典②)……………18
 海に消えた星の王子さま……………69
 海の放射能汚染……………1
 埋立問題の焦点……………20

【え】

永遠の絶滅収容所……………69
 エイリアン・スピーシーズ……………19
 エコ社会主義とは何か……………8
 エコロジーから自治へ……………9
 エコロジーとマルクス主義……………9
 エコロジーの歴史……………12
 エコロジカルな暮らし方……………14
 エコロジスト宣言……………9
 エネルギー倫理命法……………7
 冤罪と国家賠償……………45
 延命 (ドキュメント昭和天皇 第七巻)……………83

【お】

古い路遥かなり……………65
 O-157と無菌社会の恐怖……………35
 教えて！ガス化溶融炉……………22
 教えて！バイオハザード (Q & A)……………29
 お世継ぎ問題読本 (Q & A)……………80
 終りなき狂牛病……………34
 終りのない惨劇……………2

【か】

「解雇・退職」対策ガイド [増補改訂版] (Q & A)……………56
 介護保険活用ガイド……………61
 開戦 (ドキュメント昭和天皇 第二巻)……………82
 解放の宗教へ……………53
 花王「アタック」はシャツを白く染める……………61
 加害の精神構造と戦後責任 (日本軍性奴隷制を裁く 第2巻)……………84
 核燃料サイクルの黄昏 (クリティカル・サイエンス②)……………6
 核廃棄物は人と共存できるか……………6
 カネミ油症 過去・現在・未来……………19

金持ちが地球を破壊する	10
がれき処理・除染はこれでよいのか	1
がん患者が共に生きるガイド	65
環境危機はつくり話か	12
環境行政の岐路（ドキュメント日本の公害 第十一巻）	39
環境庁（ドキュメント日本の公害 第二巻）	38
環境を破壊する公共事業	17
ガン告知、から復帰まで	65
監獄法改悪	45
がんサバイバル	65
カンボジアPKO	78
カンボジアPKO違憲訴訟	78
【き】	
危険な食品・安全な食べ方（Q&A）	32
気候パニック	13
記者クラブ	73
北朝鮮とは何か	71
「基地・軍隊」と私たちの安全（Q&A）	78
9・11事件は謀略か	67
9・11事件の矛盾	66
「教育改革」を撃つ	77
狂牛病	34
行政監視本人訴訟マニュアル	74
恐竜の道を辿る労働組合	56
極地・カナダ・中南米（世界の環境問題 第六巻）	37
金日成後の朝鮮半島	71
【く】	
空港公害（ドキュメント日本の公害 第八 巻）	39
草の根から経済システムをつくる	70
暮らしの中の電磁波測定	25
クルマが鉄道を減らした [増補版]	40
グローバルな正義を求めて	11
【け】	
経済学入門コース	76
刑事事件お助けガイド	42
携帯電話でガンになる!?	24
激動の朝鮮半島	71
欠陥住宅被害・対応マニュアル	62
欠陥住宅をつかまない法	62
健康食品は効かない!?	31
健康を脅かす電磁波	26
検証・ガス化溶融炉 [増補版]	22
検証・カネミ油症事件	19
検証・ダイオキシン汚染	23
検証・統一協会	53
検証・リポート開発 [東日本篇]	18
検証・リポート開発 [西日本篇]	18

現代と朝鮮 [上]	71
原発の即時廃止は可能だ（Q&A）	6
原発は地球にやさしいか（Q&A）	5
原発閉鎖が子どもを救う	3
原発問題の争点	7
【こ】	
高圧線と電磁波公害 [増補改訂版]	27
公害の激化（ドキュメント日本の公害 第 一卷）	38
高速増殖炉の恐怖 [三訂増補版]	2
高速増殖炉もんじゅ事故	6
交通公害（ドキュメント日本の公害 第九 巻）	39
公務員の個人責任を追及する法	74
国際利権を狙うPKO	78
「国鉄改革」を撃つ	41
告発・電磁波公害	26
ここが危ない! アスベスト [新装版]（Q &A）	64
55歳からの生き方教室（Q&A⑥）	62
個人情報保護法の狙い	74
個人情報を守るために（Q&A）	75
戸籍って何だ（Q&A） [増補改訂版]	43
国権と民権	76
国立感染研は安全か	30
ゴミ問題の焦点 [増補版]	23
これでいいのか高速道路	41
これでいいのか首都機能移転	75
これなら勝てる市民運動（Q&A）	75
【さ】	
在日「外国人」読本 [三訂増補版]（Q & A）	43
在日韓国・朝鮮人読本（Q&A⑫）	44
裁判の中の天皇制	81
ザ・ラスト・グレート・フォレスト	18
サリドマイド事件全史	63
【し】	
時効なき戦争責任 [増補版]	80
自主管理の政治学	77
自然史思想への招待	14
自然保護の神話と現実	14
持続可能な交通へ	40
実は危険なダイオキシン	21
自動車事故・対応マニュアル	62
死の電流	28
資本主義からの脱却	10
市民のための疫学入門	33
市民のための道路学	40
社会運動ユニオニズム	59
宗教名目による悪徳商法	54

10代からのセイファーセックス入門 (Q & A)	49	世界が見た福島原発災害	2
自由と統制	77	世界が見た福島原発災害 2	3
自由な学びが見えてきた	51	世界が見た福島原発災害 3	3
自由な学びとは	51	世界食料戦争 [増補改訂版]	32
住民自治で未来をひらく	76	世界のマフィア	68
首都圏の公害 (ドキュメント日本の公害 第六卷)	38	世界は脱クルマ社会へ	41
主役に育つエコ・エネルギー	6	石油資源の支配と抗争	68
「障害者」と街で出会ったら [増補改訂版] (Q & A)	50	石油の隠された貌	68
象徴 (ドキュメント昭和天皇 第八卷)	83	絶対に訴えてやる!	61
職場いびり	57	戦火・自由そして死	71
食品汚染読本	32	戦後期の地方自治	76
食不安は解消されるか	34	全国監獄実態 [四訂版]	44
植物誌入門	16	戦争責任 過去から未来へ	80
食料主権	34	戦争の家 [上]	67
女性国際犯罪法廷の全記録 I (日本軍性奴 隷制を裁く 第5卷)	84	戦争の家 [下]	67
女性国際犯罪法廷の全記録 II (日本軍性奴 隷制を裁く 第6卷)	84	「戦争の記憶」その隠蔽の構造	81
白神山地の入山規制を考える	16	戦争の翌朝	71
資料「君が代」訴訟	81	戦争はいかに地球を破壊するか	11
新・白神山地—森は蘇るか	16	喘息・花粉症・アトピーを絶つ	60
新世紀の労働運動	59	先端産業社会の夢と現実	58
新台湾の奇跡	71	戦犯裁判と性暴力 (日本軍性奴隷制を裁く 第1卷)	84
新東京タワー	27	前立腺がん予防法 [改訂新版]	63
新・部落差別はなくなったか? (Q & A) ..	43	占領 (ドキュメント昭和天皇 第六卷)	83
新・水俣まんだら	19	【そ】	
侵略 (ドキュメント昭和天皇 第一卷)	82	総合開発 (ドキュメント日本の公害 第五 卷)	38
【す】		増補改訂 遺伝子組み換え食品	35
スキー場はもういらぬ	18	それは6歳からだった	42
杉並病公害	22	【た】	
【せ】		ダイオキシン汚染地帯	23
西欧 (世界の環境問題 第二卷)	36	ダイオキシンは怖くないという嘘	21
政界の仕掛人 亀井静香放言録	75	大規模開発 (ドキュメント日本の公害 第 七卷)	38
生活保護獲得ガイド	61	大規模林道はいらぬ	17
政治が定める公共事業	17	大疑問・交通取締り (Q & A ⑨)	62
政治的エコロジーとは何か	8	大雪山のナキウサギ裁判	19
政治的エコロジーの歴史	8	大統領チャベス	68
青春を奪った統一協会	53	「逮捕・起訴」対策ガイド	44
生殖医療の何が問題か	64	逮捕・拘禁セキュリティ (Q & A ⑩)	45
性同一性障害って何? [増補改訂版] (Q & A)	47	脱原発の経済学	8
性同一性障害と戸籍 (Q & A)	47	脱原発の市民戦略	7
性なる聖なる生	49	脱ダムから緑の国へ	16
生物多様性と食・農	32	「たばこ病」読本 (Q & A)	65
生命操作事典	30	WTO——シアトル以後	70
生命特許は許されるか	30	ダムとの闘い	15
世界一素敵な学校	52	誰でもわかる電磁波問題	27
		誰のためのWTOか?	70
		【ち】	
		地域と自治の復権	76

地域を変える市民自治	74
チェコスロバキア 東欧のエコロジー (シリーズ東欧革命①)	72
チェルノブイリと福島	3
チェルノブイリの惨事 [新装版]	4
地球環境の危機 (ドキュメント日本の公害第十二巻)	39
地すべり災害と行政責任	17
中国 (世界の環境問題 第七巻)	37
中・東欧 (世界の環境問題 第三巻)	36
謀報ビジネス最前線	66
【つ】	
堯義明との5700日戦争	75
【て】	
DNA鑑定 [増補改訂版]	44
ディーゼル車公害	41
低線量内部被曝の脅威	4
定年からの生活マニュアル	62
デジタル公害	27
転形期の日本労働運動	57
電磁波汚染と健康	28
電磁波・化学物質過敏症対策 (Q&A)	25
電磁波過敏症	25
電磁波過敏症を治すには	24
電磁場からどう身を守るか	28
電磁波はなぜ恐いか [増補改訂版] (Q&A)	28
電磁波の何が問題か	24
天皇制に挑んだ一七〇〇人	81
電波メディアの神話	77
電力線電磁場被曝	28
【と】	
ドイツ環境教育教本	51
ドイツと北欧 (世界の環境問題 第一巻)	36
問い直す差別の歴史	43
問い直す東京裁判	81
問い直す「部落」観	43
統一協会合同結婚式の手口と実態	54
統一協会信者を救え	53
どう考える？ 生殖医療 (Q&A)	64
東京湾アクアラインの検証	41
どう超えるのか？ 部落差別 (Q&A⑩)	44
東西ドイツを超えて	72
どうする旧国鉄債務	41
どうする？ 鉄道の未来 [増補改訂版] (Q&A)	40
どうする？ 放射能ごみ (Q&A)	5
同性愛って何？ (Q&A)	49
同性パートナー生活読本 (Q&A)	48
どう創る循環型社会	22

東電の核惨事	4
どうなくす？ 部落差別	42
どう身を守る？ 放射能汚染	4
ドキュメント クロム公害事件	20
ドキュメント チェルノブイリ [新装版]	5
所沢ダイオキシン報道	22
途上国支援と環境ガイドライン	70
図書館づくり運動実践記	62
【な】	
仲間とはじめる「会社」プラン (Q&A⑦)	58
ナショナル・トラストの軌跡	18
ナショナル・トラストの誕生	18
ナショナル・トラストへの招待	17
なぜ脱原発なのか？ (Q&A)	5
なぜダムはいらないのか	16
成田空港って何だろう [新装版]	41
難民を追いつめる国	69
【に】	
ニームとは何か [増補改訂版]	12
日産自動車の盛衰	55
日本型ワークス・コープの社会史	56
日本の労働組合	59
【の】	
農と食の政治経済学	76
【は】	
パート・アルバイトのトラブル対処術 (Q&A)	58
パートナーシップ・生活と制度 (Q&A)	47
バイオバイラシー	13
バイオハザード原論	29
バイオハザード裁判	30
配偶者暴力対策ガイド	61
敗戦 [下] (ドキュメント昭和天皇 第五巻)	83
敗戦 [上] (ドキュメント昭和天皇 第四巻)	82
ハイテク食品は危ない [増補版] (Q&A)	34
灰の中から	68
働く女性のお助け本 (Q&A)	58
破綻したプルトニウム利用	5
85年体制とは何か	77
85年体制への序章	76
ボックス	48
派兵国家日本の進路	78
バリアフリー入門 (Q&A)	50
反核シスター	11
ハンガリー 東欧の民族問題 プルガリア (シリーズ東欧革命②)	72
反原発運動マップ	6

【ひ】		【め】	
PKO派兵……………78		メンタルヘルスの労働相談……………55	
PKO問題の争点 [増補版]……………79		【や】	
ピース・アクション・ハンドブック……………79		薬害・食品公害 (ドキュメント日本の公害	
人クローン技術は許されるか……………30		第三卷)……………38	
ひとりでもできる行政監視マニュアル……………74		野生生物保全事典……………16	
ひとりでも闘える労働組合読本 [三訂増補		ヤマザキパンはなぜカビないか……………31	
版] (Q & A)……………55		山と森林 (自然保護事典① [増補版]) ……18	
「日の丸」「君が代」「元号」考 (Q & A) ……81		【ゆ】	
百年のチャランケ……………46		有機農業大国キューバの風……………70	
平松・大分県政の検証……………75		雪印の落日……………33	
ビルケナウからの生還……………66		ユニオン・バスター……………57	
【ふ】		ユビキタス社会と電磁波 (Q & A)……………26	
ファブリーズはいらない……………60		許されるのか? 安楽死 (Q & A)……………64	
フランサフリック……………70		【よ】	
【へ】		よみがえれ! 清流球磨川……………15	
米国 (世界の環境問題 第五卷)……………36		【ら】	
米国自動車工場の変貌……………57		ラムズフェルド……………68	
ペンの自由を貫いて……………73		【る】	
【ほ】		ルーカス・ブラン……………58	
崩壊 (ドキュメント昭和天皇 第三卷) ……82		ルポ・東北の山と森……………17	
崩壊したごみリサイクル……………21		ルポ・日本の川……………17	
放射性廃棄物……………1		【れ】	
放射線規制値のウソ……………4		レインボー・フォーラム……………49	
暴走を続ける公共事業……………76		レ・タン・モデルヌ50周年記念号……………71	
ホームスターリングに学ぶ……………52		【ろ】	
ポスト・グローバル社会の可能性……………10		労働者の対案戦略運動……………58	
ホメオパシー医学哲学講義……………64		労働のメタモルフォーズ……………57	
本州のクマゲラ……………19		ロシアと旧ソ連邦諸国 (世界の環境問題	
【ま】		第四卷)……………36	
マイナンバーは監視の番号……………73		論争・宗教法人法改正……………54	
【み】		【わ】	
水戦争……………20		ワーカーズ・コレクティブ……………58	
緑の政策事典……………8		私こそ私の主治医……………65	
緑の政策宣言……………8		私たちが中国でしたこと [増補改訂版] ……80	
`緑のダム、の保続……………16		私たちの仲間……………50	
水俣病闘争の軌跡……………20		わたしの消費者運動……………74	
未来は緑……………8		湾岸戦争と海外派兵……………79	
【む】			
むだで危険な再処理 (Q & A)……………5			

『昭和天皇』 広告拒否訴訟で小社が中日新聞社に逆転勝訴

「昭和天皇の戦争責任を鋭く問う」という広告文が「時節柄まずい。右翼を刺激する。広告企画の趣旨に合わない」などの理由で、出版広告の掲載を拒否された緑風出版が、昭和天皇の死亡直後の1989年1月18日、中日新聞社を相手取って契約不履行による損害賠償を求めている事件で、東京高等裁判所（小川英明裁判長）は、一審判決を変更、同社に賠償を命じる逆転判決を去る（94年）2月28日、言い渡した。

小社は、中日新聞社が発行する東京新聞1月18日付別刷『昭和史』特集保存版へ「ドキュメント昭和天皇」（田中伸尚著、全八巻）、の広告出稿を同社広告局から直接勧誘を受け、これに応じた。ところが、ゲラ校正が済んだ後になって、昭和天皇の死亡直後の異様な`追悼・自粛、ムードに畏怖した同社が、「右翼のウォッチャーがしっかりみているから困る」など冒頭の理由を言い立てて、突然、広告掲載を拒否してきたため、小社が東京地裁に訴えていた。この時、同様の理由で同紙に拒否された出版社が、他に二社あった。

91年11月26日の第一審判決は、広告契約の成立自体を認めず、小社の請求が棄却されたため、これを不服として控訴していた。高裁判決は、「遅くとも広告文が最終的に決定された」時点、つまり小社のゲラの責任校了の時点で契約が成立したと認定した上で「控訴人（緑風出版）と被控訴人（中日新聞社）との間で控訴人が主張するとおり広告掲載契約が成立したものというべきであり、被控訴人は、同月18日発行の『昭和史』特集保存版に『ドキュメント昭和天皇』の広告を掲載しなかったものであるから、控訴人に対し債務不履行の責任を免れないものというべきである」と判示し、一審判決を全面的に否定した。

また、「被控訴人は、本件広告の掲載を拒絶した理由として、本件企画の趣旨は昭和天皇の追悼をすることであり、本件広告文は右趣旨に合わなかったからであると主張する。しかし、仮に被控訴人において本件企画をそのように予定していたとしても、本件企画書には、そのような趣旨の記載はなく、他に本件契約成立前に被控訴人から控訴人に対しその趣旨を伝えたことを認めるに足る証拠はなく、かえって証人西田の証言及び控訴人代表者尋問の

結果によれば、西田を含む被控訴人の社員等も控訴人代表者に対し、最後に（中略）本件広告を掲載できない旨を連絡する際に、本件企画が右趣旨のものであることを告げるまでそのことを一切言っていないことが認められるのであって、本件広告の掲載契約が成立した後になってその掲載を拒絶することを正当化しうるものではなく、被控訴人は、これによって債務不履行の責任を免れ得るものではない」と断じ、小社の主張を認めた。その上で一審判決を変更し、中日新聞社に1万5000円の支払いを命じた。

請求額は大幅に減額されたものの、1円でもとれれば勝ちという裁判で、小社の主張が全面的に認められた逆転勝訴であった。

裁判は債務不履行による損害賠償請求事件という形をとりながら、実は「昭和天皇の戦争責任を鋭く問う」という広告文を理由に、出版広告の掲載を拒否できるのかという言論、表現の自由の問題が問われていた。それは同時に、日本出版学会会長で、ピンクチラシ裁判の弁護人でもあった清水英夫氏が「出版の自由は印刷、広告から流通まで確保されて初めて成り立つ」（『朝日新聞』1989年2月26日付読書欄）と語るように、出版の自由と天皇制とのせめぎあいでもあった。そして、読者の立場に立ってみれば、広告を通じて出版物を知るという知る権利が侵されたという問題でもある。『東京新聞』のこの別刷特集は、国民統合の象徴である昭和天皇の崩御に際して発行される日本有数の日刊紙の特集であるという性質上、一般社会通念上からも、社会慣行上からも、国民の総意を踏まえ、天皇追悼の趣旨を根底とする企画であったことは明らかである」（被控訴人準備書面第五）などという主張を、中日新聞社は繰り返した。

この裁判は、日本の新聞マスコミが天皇制に対してどのようなスタンスをとっているかを、改めて白日の下に晒した、内外二千数百万人の死に直接に責任のある昭和天皇の戦争責任を問えないジャーナリズムが、はたしてジャーナリズムの名に値するのであるだろうか？

（『図書新聞』1994年4月4日付より転載）

* 附記／完敗した中日新聞社は結局、上告を断念、緑風出版の勝訴が確定した。

* 小社刊行物のご購入方法 *

- 全国どの書店でもご購入いただけます。
- 店頭がない場合は、なるべく**最寄りの書店を通じて**ご注文下さい。
- お急ぎの場合は直接、電話・ファックス（下記 FAX 購入申込書に、書店へのお届けか、直送かをお選びの上お送りください）でお申し込み下さい。また、Eメール（info@ryokufu.com）か、小社ホームページ（URL://www.ryokufu.com/）からのご注文も承っております。その際、**書名・注文部数、及び、ご氏名・郵便番号・ご住所・お電話番号**をお知らせ下さい。
- 直送を希望される場合は、**代引き料込みの送料350円(全国一律)**が加算されます。

代金 = (目録記載の定価 + 税〔5%〕) + 送料350円

キリトリ線

FAX購入申込書 (FAX03-3812-7363)		* 1. 書店お届け 2. 直送	
書 名	定 価	注 文 冊 数	
ご氏名 (歳)		取次店・番線 (小社にて記入)	
ご住所 〒			
TEL ()			
書店名・所在地 (書店お届けご希望の場合のみ記入)			
TEL ()			

キリトリ線

